

特20
84 No. 11596

ELEMENTARY HISTORY
OF
THE UNITED STATES.

林朴堂譯述

多訂正
亦氏增補
合衆國史真譯

明治二十一年
第七月出版

岡島寶文館藏

例言

一本書ハ千八百八十七年即明治十年出版北米合衆國人クワツケンボス氏著、エレメンタリー、ヒストリー、チヴ、ヅエ、ユナイテッド、ヒストリート題スル書ヲ直譯シタルモノナリ

一書中人、地及ビ國名等世上慣用ノ譯字アル者ハ漢字ヲ用ヒ否ラザル者ハ總テ片假名ヲ用ヒタリ蓋シ杜撰ニ陥イランヲ恐レテナリ尙ホ人名ハ右單柱ヲ欲シ地國名等ハ左單柱ヲ欲シテ之レカ區別ヲ明カニセリ

一關係代名詞ハ可成復讀セザルヲ可トス故ニ譯文中力メテ再讀セザラムヲ期シタリト雖モ止ムヲ得サルキハ字ノ右傍ニ、、、、(圈)点ヲ欲シ之ヲ區別ス

一字ノ右傍ニ○○○(丸白圈点)アルモノハ原文中主眼ノ字句ニシテ黒字ヲ用ヒアル處ナリ

一文中ノ(星標)欄上ニ熟字掲載シアル符ナリ

明治廿一年六月

譯者識

增訂 小合衆國史直譯目次

章	原書頁數	本書頁數
第一章 四百年以前	5	1
第二章 クリストファー・コロンブス	7	4
第三章 亞米利加之發見	10	10
第四章 コロンブス之最終ノ航海	13	15
第五章 ハルボ	16	20
第六章 佛蘭西人ノ發見○デント	19	25
第七章 亞米利加之印度人	22	31
第八章 最初ノ殖民地	27	38
第九章 甲比丹・ジョン・スミス	31	44
第十章 ヴァージニア殖民地	33	49
第十一章 和蘭人殖民地	37	54
第十二章 ビュグリアム・ヴァーザース	39	60

目次

●目次

第十三章	プリムリース殖民地	42	本書頁數	六十五
第十四章	他ノ新英蘭ノ殖民地	45		七十
第十五章	コンネチカット○ペコッド戦争	48		七十四
第十六章	メリーランド	51		八十
第十七章	フロリダ王ノ戦争	55		八十五
第十八章	ヴァージニア	58		九十一
第十九章	ケアロリナ	62		九十六
第二十章	印度ノ傳教	64		百〇一
第二十一章	維廉王ノ戦争	68		百〇七
第二十二章	アン女王ノ戦争	70		百一十
第二十三章	華盛頓ノ遠行	74		百十八
第二十四章	佛人及ビ印度人ノ戦争	76		百廿三
第二十五章	佛人及ビ印度人ノ戦争結局	79		百廿七

第廿六章	太守トノ葛藤	83	原書頁數	百三十二	本書頁數
第廿七章	革命ノ原由	85		百三十七	
第廿八章	革命ノ始	88		百四十一	
第廿九章	チコンデローガ之略取	92		百四十六	
第三十章	ハンカー、ヒル之戦	94		百五十一	
第三十一章	加那陀之侵襲○波士頓之攻圍	98		百五十六	
第三十二章	チャールレストン之攻撃○獨立之布告	100		百六十一	
第三十三章	ロングアイランド之戦	103		百六十六	
第三十四章	華盛頓之退軍	106		百七十一	
第三十五章	ブル、エーン之出陣	109		百七十七	
第三十六章	フランザイウアイン	113		百八十三	
第三十七章	モンマウス之戦	116		百八十八	
第三十八章	ボール、シヨン	119		百九十四	

●目次

第六十五章	此役ノ終尾ノ舉動	原書頁數 204	本書頁數 三百三十三
第六十六章	シヨソソソソ之管理	206	三百三十七
第六十七章	クランフトノ管理	209	三百四十三
第六十八章	ヘーヌ之管理	213	三百四十八
第六十九章	アーサー之管理	215	三百五十二
第七十章	クリーヴランド之管理	218	三百五十六

增訂補正 小合衆國史直譯目次畢

增訂補正 小合衆國史直譯

米國 シー、ビ、クワッケンボス氏 原著
 シヨソ、ディー、クワッケンボス氏 訂正
 日本林 朴 堂 譯述

第一章

四百年以前

- (1) Eastern Continent 大陸 東
- Western " 大陸 西
- Atlantic Ocean 大洋 大
- Pacific " 洋 平
- (2) United States 衆國 合

(1) 地球ハ球ノ如ク圓クアル。其レガ大陸ト稱セラレタル陸地ノ二ツノ大ナル區別ヲ有ツ。一ガ東ニ於テ在リ而シテ東大陸ト稱セラル。他者ガ西ニ於テ在リ而シテ西大陸ト稱セラル。此等ノ二ツノ大陸ガ一方ニ於テハ廣キ大洋ニ依リテ而シテ他方ニ於テハ尙ホ廣クアル處ノ大洋ニ依テ區分サル。上ニ與ヘラレタル地圖ガ此等ノ大陸及ビ大洋ヲ示ス

(2) 合衆國其レニ於テ吾人等ガ居住スル處ノ合衆國ガ北亞米利加ノ一部アリ而シテ西大陸ニ於テ在ル。歐羅巴亞細亞亞弗利加ガ東大陸

- (4) fall off
- (5) curling up sailing vessel
- (6) In place giant tree thick wood

ル揚船ニ
ツキ前リ木林
墮捲帆代番茂

- (2) either...or have to
- (8) went away way back

若クハ
……子バナラヌ
行去リシ
歸路

●四百年以前

チ成ス。一ノ大陸ヨリ他ノ者大陸ヲニマテ行クベク要スル所ノ其等ハ
大西洋。若クハ大平洋ヲ横過シテ許多ノ里數ヲ航セ不バナラヌ
(3) 今ヤ吾人等ノ勇敢ナル水夫アフロスカスノ如キ航海ヲ成ス。一ニ就キテ何事
トモ思考セヌ。然レモ其處ニ最モ大胆ナル者アレバテ大洋ノ上遙カニ
出テ、試ムルヲ恐懼シテアリシ時ノ時ガアリシ。彼等ノ船舶ハ我
々ノ(物)ノ如ク左様ニ大キク又左様ニ善ク形造ラレテアリシ。而
シテ彼等ハ若シモ彼等ガ陸地ヨリ餘リ遙カニ。行去リシナラバ、彼等
ガ決シテ歸路ヲ發見セヌ。デアラウチ恐レシ
(4) 四百年以前ニ人々ハ彼等ガ今ナス如ク地球ニ就テ左様ニ多クチ知
リナサハリシ。彼等ハ其レガ圓キノ代リニ平坦ニアリシヲ思考セ
シ。彼等ハ西大陸ニ付テ何事ヲモ知ラザリシ。彼等ハ廣キ大洋ニ就テ
恐怖シテアリシ。彼等ハ西ニ航シテ續ケシ所ノ其等ガ地球ノ端ニ達
シ而シテ墮ツルカ或ハ恐ロシキ強風及ビ渦水ト出逢ウデアラウチ

チ推想セシ。或者ハ西ノ方ノ知ラレザル水ハ恐ロシキ怪物ヲ以テ充
滿シテアリシ。及ビ其處ニ航海スルベク試ムノ其レガ惡シクア
リシヲ想ヒシ。其故ニ彼等ガ大概穿鑿セヌニ大西洋ヲ殘セシ。西ニ
方ツテ知ラレシ處ノ最モ隔リタル陸地ハ葡萄牙國ノ西大約八百哩
ナルアゾールスト呼バレル島デアリシ
(5) 四百年前ニ余輩ガ住居スル陸地米國ヲハ其レガ現今ナス見ナスト處ノ
者トハ甚ダ違ツテ見ヘシ。其處ニ其時其レニ於テ一ノ大都府波立ツ
所ノ穀物ノ郊野ヲ以テ一ノ大ナル田畑。彼等ノ煙筒ノ頂ヨリ捲キ
揚ガル所ノ煙ヲ以テ一ノ愉快ナル家屋牧場ニ於テハ一ノ馬又ハ
家畜一ノ墻垣一ノ橋梁一ノ道路。河ノ上ニハ一ノ漁船又ハ帆前船、
万物ニマテ生氣ヲ與フベキ一ノ白哲人ガアラザリシ
(6) 此等ノ代リニ其處ニ喬木茂林及ビ溶ル所ノ廣原ガアリシ。鹿熊及ビ
狼ガ充滿セシ。其處ニ美ナル流河ガアリシ。然レモ出精ナル海狸ヲ除

●四百年以前

- (1) early age
various countries
took fire
had to
(2) Whichever way
carry round
- 若各失年國火...
何旋方回...
セシバナラナンダ
セシバナラナンダ
セシバナラナンダ

- (6) Here and there
blush-wood
(7) great number
came over
cut down
(8) had it not been
- 此處彼處ニ
處樹數來截
大越伐若
シ...微リセバ

キテハ彼等ノ上ニ生氣ノ一ノ微ガアラザリシ。此處彼處ニ樹皮又ハ獸皮ヲ以テ蔽ハレタル粗末ナル小舎ガアリシ。淺黒キ半裸体ナル人ガ紛亂シタル矮樹ヲ通シテ潛行セシ。

(7) 而シテ何が邦國ノ外見ヲ左様ニ變化シタカ、歐羅巴人ニ依テ其レノ發見ヨリナリ。彼等ガ豐饒ニ且ツ愉快ナル陸地ト其レヲ見出セシ。彼等ガ大數ニ於テ其レニマデ越來リシ。彼等ハ森林ヲ伐截シ田畑ヲ設ケ土地ヲ耕ヤシ而シテ村落及ビ都府ヲ建テシ。彼等ハ不毛地ヲシテ薔薇ノ如ク花咲カシメシ。

(8) 然レモ若シ一人ノ英才微リセバ西大陸ハ今日マデ歐羅巴人ニマデ知ラレズニ残り得タ。亞米利加ノ發見者ナル其豪傑ハクリストフア、コロンブスデアリシ。

第二章

クリストフア、コロンブス

(1) コロンブスハ歐羅巴ノ一國ナル以太利國ニ於ケルセノア全國ノ北西ノ海濱ニアリニ於テ生レシ。彼レノ兩親ガ貧困デアリシ然レモ彼レヲ善ク教育シタリシ。若年ニ於テ彼レガ海ニマデ行キシ而シテ各國ヲ訪問ヒシ。或ル時機ニ於テ船其レニ於テ彼レガ務メシ所ノ船ガ失火セシ而シテ彼レガ彼レノ生命ノ爲ニ彼レ躬ヲ海中ニ投ケ且ツ泳ガネハナラナンダ。

(2) 多クノ航海ヲナスコノ後コロンブスハ地球ガ圓クアリシト及ビ西ニ航スルコトニ依ツテ彼レガ終ニ陸地ニ達スルデアラウトナ感信シテナリシ。若モ汝ガ橙子ニ記シツケ而シテ反對ノ側ニ汝ノ指ヲ措クナラハ何方ニ汝ガ汝ノ指ヲ旋回スルニ記点ニ達スルデアラウ。其故ニコロンブスハ西ニ航スルコトニ依ツテ彼レハ彼レガ東ニ行クコトニ依テアラウト云フ意ナリ。如ク恰度左様確カニ亞細亞ニ於テ到着スルデアラウトナ考ヘシ。彼レハ西大陸ニ就テハ何事モ知ラザリシ然レ

他彼レハ其レガナスヨリハ餘程遙東ニ廣ガリシヲ推想セシ面マ
テ彼レハ穿鑿サレザル大洋ノ上ニ乗出スヲ依ツテ其レニ達スル
ヲ試ミルベク決定セシ

(3) 余輩ガ云フタ如クアゾールスハ其時ニ於テ知ラレタル最西方ノ陸
地デアリシ。却テ諸島ニ於テ漂着シテアリシ。歐羅巴及ビ亞弗利加ノ人民ヨリハ容貌
ニ於テ甚ダ異リタル二人ノ体が亦其處ニ投ゲラレタリシ。此等ノ事
實ガ彼レノ信用ニ於テコロンブスヲ確メシ而シテ彼レヲシテ發見
ノ航海ニ於テ出發スルベク尙ホヨリ多ク渴望セシメシ

(4) 然レ何處ニ彼レガ手段ヲ得ルベクアリシカ。彼レガ貧困デアリシ
而シテ彼自身ノ一ノ船舶ヲ有セザリシ。彼レガ唯ダ歐羅巴ノ諸王ノ
面前ニ彼レノ考案ヲ示メシ而シテ彼レ等ノ助力ヲ乞ヒ得シ。最初ニ
彼レハセノア人ナル彼レノ國人ニ試ミシ然レハ成效ナカリシ。然ル

ト
カス
ナ
カ
リ
シ
出時拔發王功
乘其引出諸成

(2) launching out
(8) that day
torn up by the roots
set out
(4) different power
without success

後ニ彼レガ葡萄牙國ニマテ行キシ。此國ノ王ガ彼レノ議論ヲ聽キシ。
然レ全ク彼レ躬ヲニマテ發見ノ名譽ヲ有ツベク望ム所ア彼レガ
鄙劣ニモコロンブスヲ欺キシ而シテ他ノ指揮者ノ下ニ開陳サレタ
ル進路ニ於テ船舶ヲ派遣セシ。然レ此遠行ハ其レガ爲スベク相應
セシ通リ失敗セシ

(5) コロンブスが次ギニ西班牙ニマテ向ヒシ其レハ其時有名ナルフヘル
ダイナンド及ビ彼レノ妻イサベラニ依ツテ支配セラレシ。彼レハ此時
ニ其朝廷ニマテ彼レノ途中ニ於テ彼レガ彼躬ヲ及ビ彼レノ小サキ
子息ノ爲メニ麵包ヲ乞ハネマナラヌ程左様ニ貧困ニナリシ。彼レ
ノ到着ニ於テ彼レハムール人ト大戰争ニ於テ係リタル王及ビ后ヲ
見出セシ。彼等ハ貧困ナル水夫其人ヲ各人ガ嗤笑セシ所ノ貧困ナル
水夫ニマテ傾聽スルベク一ノ時ヲ有タザリシ。猶ホコロンブスハ見
棄メデアラウ。彼レノ大ナル思考ニ就テ充テテ彼レガ地圖及ビ海圖

(5) had to big for
give up 乞ハ子バナヲメ
見棄テル

ヲ製スルコトニ依ツテ彼自身ヲ支ヘル所ヲ尙好都合ノ時ニ向ツテ積
チシ

(6) 終ニ彼レガフルチナンドノ耳ヲ得シ而シテ彼レガ殆ンド王ヲ信服

サセシコト程左様ニ熱心ニ彼レノ趣意ヲ辨論セシ。然レモ永キ戦争

ガ國帑ヲ費耗シタリシ而シテ不確實ナルコトニ於テ冒險スベキ金錢ガ

餘リ乏シクアリシ。其故コフルチナンドハ彼レノ王國ノ賢者ノ商

議ヲ採ルベク決意セシ。コロンプスハ彼レノ抱キタル考案ヲ説明ス

ルベクサラマンカニ於テ彼等ノ學者ヲ前ニ現ハレシ

(7) 議員ノ前ニ 然レモ西班牙ノ賢者ハ貧困ナル水夫ハ彼等ガ爲セ

シヨリハ尙多ク知リシコトヲ信シ得ザリシ。如何ニ地球ガ圓クアリ能

ヒシカト彼ラガ尋ネシ。若モ其レガアリシナラバ然ラバ反對ノ側ニ

於テ雨ガ上ノ方ニ降ルデアラウ、木ガ彼等ノ枝ヲ以テ下ニ生ズルデ

アラウ、而シテ各物ガ顛倒シテアルデアラウ。其レノ表面ニ於テノ

ルテ
スシルリ
格倒ツボル
國冒願墮上歸

(6) royal treasury
risks on
(7) topsy-turvy
fall off
climb up
get back

物ガ確カニ反對ノ側ニ離レテ墮ツルデアラウ、而シテ若シモ船ガ西
ニ航スルコトニ依ツテ廻リテ其處ニ達セシナラバ其レガ決シテ地球
ノ側ニ登リ而シテ再ビ歸ルベク能ウデアラウ。如何ニ船
ガ丘上ニ航シ能ヒシカ

(8) 斯ノ如キモノガ賢者ノ理論デアリシ。彼等ノ商議ニ依リテ王ハ彼レ

ガ要セシ船ヲコロンプスニ給スルコトヲ嫌ヒシ。左様ニ幾多ノ年ヲ待

ツコノ後、彼レノ失望ヲ何人が記シ能ウカ。其處ニ尙一ノ機會ガアリ

シ。蓋シ女王イサベラガ尙多クノ惠ミヲ以テ彼レニマテ聽クデアラ

ウ。彼レハ彼女ト會晤ヲ得シ。嗚呼彼女ガ亦彼レヲ拒ムベク説キ勸メ

ラレタシ

(9) 殆ント失望シテコロンプスが永ク西班牙國ヲ去ラントシテアリ

シ其時后ガ彼女ノ心ヲ變ジタリシコトノ喜ハシキ消息ヲ以テイサマ

ヲヨリノ文書ガ彼レヲ朝廷ニマテ呼還セシ。彼女ハ縱ヒ彼女ガ必用

●議員ノ前ナル「コロンプス」

●千四百九十一年

九

climb up
get back
(9) was on the point of

登ル
カヘル
トシテアリシ

fit out 準備スル
(1) present day 現時

●亞米利加ノ發見 ●千四百九十一年
ナル金銀ヲ作ルヲメニ彼女ノ寶玉ヲ質入レセネバナラヌデスヲモ此
ノ企業ノタメニ三艘ノ船ヲ準備スルベク決定セシ
インクイナライズ

第三章

亞米利加ノ發見

(1) 西班牙ノ船舶 反對ノ頁ニ於テ大ナル發見者彼レ自身ノ繪像ト
共ニコロンブスノ時ニ於テノ三ツノ船ノ圖ガアル。彼等ガ現時ノ船
舶ヨリハ全ク違フテ見ユル。船體ガ當時ノ船舶ノ其等ヨリハ尙多ク
水ノ外ニヨリ高クアル而シテ前面ニ於テ左様ニ尖リテアラヌ。網具
モ亦違ウテアル。汝ハ前桅ノ頂点ニ近ク小サキ圓キ箱ヲ見ル。此處ニ
水夫ガ看守ヲ保ツベク置カレシ、而シテ戰爭ニ在ツテハ人ガ敵ノ
版上ニ現レシ處ノ其等ヲ射ルベク其處ニ置カレシ
コロンブスノ第一航海 三艘ノ斯ノ如キ船舶其レノ二艘ガ一ノ
甲板ヲ有セザリシ處ハ三艘ハ斯ノ如キ船舶ヲ以テコロンブスガ發

(2) to man 乗組スル
(8) to the west 西方ニシ
stood out 乗出テシ
Day after day 日々
looked out 看守セシ

(3) 彼等ノ船ノ一ツヲ修復スル爲ニカナリト島 亞非利加ノ四大ニ於テ滞留
スルコトノ後コロンブス及ビ彼レノ人々ガ大胆ニ大洋ノ上西方ニ乘
出テシ。日々彼等ガ天空及ビ海ノ外觀ヘニ於テ何ニモチ持タズニ彼等
ノ進行ニ於テ續ケシ。水夫ガ熱心ニ陸地ニ向ツテ看守セシ、然レモ何
モ見エザリシ故ニ彼等ハ恐ロシク恐怖サレテナリシ而シテ後還ヘ
ルベク要メシ。此レヲコロンブスガナサヌデアラウ。彼レハ若シモ彼
等ガ成功セシナラハ、彼等ガ得ルデアラウ名譽ト而シテ若モ彼等ガ
彼レノ願ニ反シテ還ヘルデアラウナラハ、ハイサベラ后ノ忿怒トシ彼等

見ノ彼レノ航海ニ於テ出發セシ。彼レハ彼レノ船舶ニ乗込マヌルベ
ク充分ノ水夫ヲ辛ウシテ得能ヒシ一程左様ニ危險ト其レガ思考サ
レシ。終ニ九十人が得ラレシ而シテ此等ト共ニ彼レガ千四百九十二
年八月三日ニ於テ西班牙ノ港ナルバロスヨリ出帆セシ。コロンブ
スガ今五十七歳長シテアリシ

●航海 ●千四百九十二年

ニ示セシ。然レハ時ガ經過スルニ從ウテ彼等ガ段々恐怖シテアリシ。彼等ハ彼等ガ決メテ歸路ヲ發見セヌデアラウトテ恐レシ。彼等ハ加之コロンプスヲ船外ニ投ケルコト而シテ彼等自身西班牙ニマシテ歸ルニ就キ談セシ

(4) 終ニコロンプスガ若シモ陸ガ三日ノ中ニ發見サレテアラザリシナラバ彼レガ歸ルデアラウトテ約束セヌバナラナシ。其時ノ間如何ニ焦思シテ彼レガ熟視セシカ、而シテ陸ノ微シガ實ニ見ヘシ時ニ彼レノ心臓ガ望ヲ以テ如何ニ高ク打チシカヨ。浦心喜悅ニ遊。水ガ淺クナリシ。小鳥ノ群ガ船ノ周圍ニ來リシ。新鮮ナル木實ヲ有ツ處ノ枝ガ海上ニ浮ンデ見出サレシ。嚴密ナル見張リガ保タレシ。十月十二日ニ於テノ夜午前三時陸也々々ノ喜ハシキ叫聲ガ船ノ一カヲ聞カレシ。其レカ他者他ノ船ニ響キデアリシ。水夫ガ今喜悅ヲ以テ狂亂シテアリシ。彼等ハコロンプス其人ヲ少シ前ニハ彼等ガ海ニマテ投ケルコトニ

set before 亦シ
wore on 經過スル
more and more 段々
(8) taking back 率ヒ歸ル

(4) were ready to アリシ
(5) copper colored テノヘシ人度
took.....for シ色違リ上印
brought down ト銅取降天東
superior being
(7) East Indies

就テ語リタリシ所ノコロンプスヲ拜セントシテアリシ
(5) 日ガ曉ケシ時ニ陸地ガ明カニ見ラレシ。愉快ナル陸ヲ其レガアリシ。其處ニ華麗ナル花及ビ彼等ガ決メテ以前ニ見ナンダリシ如キ斯様ナル葉及ビ果實ヲ以テノ高キ樹木ガアリシ。海濱ニ於テ西班牙ノ船ヲ驚愕ニ於テ見詰メル所ノ着服セザル銅色ノ人ガアリシ。彼等ガ船ヲ大島ト取違ヘ白キ帆ヲ彼等承クノ翼ト取違ヘ而シテ西班牙人ヲ彼レノ承ク脊ニ於テ天ヨリ降リシ天上人ト取違ヘシ
(6) コロンプス及ビ彼レノ人々ガ上陸スルメク急ギテ彼等ガ地ヲ嚙吻セシ而シテ彼等ノ成效ナル航海ニ向ツテ謝禮セシ。然ル後コロンプスガ西班牙ノ王及ビ后ノ名ニ於テ國ノ所有ヲ取リシ
(7) 斯ク發見サレタル陸ハ北及ビ南亞米利加ノ中間ナル大西洋ノ中ナルバハマ群島ノ一デアリシ。彼レガ其レヲサン、サルヴァドールト名付ケシ。彼レハ今東印度ニ於テアリシト考ヘル所ヲ彼レガ土人ト

(9) journey
as if
no less
(1) new land

行路
恰如……カノ如ク
ヨリ僅少ナラザル
新地

(8) touched at
(9) sealed up
picked up

通セシ
封セシ
拾上ゲ

(8) 呼ビシ。此地方ノ總テノ島嶼ガ猶西印度トシテ知ラル、
キニハノ發見。コロンブスハ他ノ發見チナスベク直チニサ
ン、サルヴアドールチ去リシ其ノ進路ニ於テ彼レガキニハノ發見
共ニ西印度ニ達セシ。後ノ島ニ於テ彼レガ彼レノ船ノ一ヲ失ヒシ而
シテ殖民トシテ彼レノ人ノ若干ヲ殘セシ。物産ノ見本ヲ集メルヲ
而シテ彼レト共ニ乗船スルベク土人ノ數人ヲ誘導スルヲノ後彼レ
ガ西班牙ニマデ彼レノ進路ヲ引返ヘスベク出發セシ

(9) 歸途ノ航海ニ於テ恐ロシキ暴風ガ起リシ。破船ヲ恐レテコロンブス
ガ彼レノ發明ノ話ヲ書キシ而シテ其レヲ樽ノ中ニ封セシ若シモ
彼及ビ彼人々ガ失ナハレシナラハ其レガ拾ヒ上ゲラレ而シテ世界
ニマデ知ラシメラル、デアラウヲ望ム所デ其レヲ彼レガ海ニマ
デ投セシ。然レモ彼レガ斯ノ如ク死スルデアラウヲ其レガ神ノ意
デアラザリシ。彼レノ船ガ壞レシト雖モ港ニマデ安全ニ彼レヲ携來
シ。

リシ。彼レガ大砲ノ放發ノ間ニ上陸セシ而シテフヘルヤイナント及ビ
イサベラニマデ彼レノ成功ノ報知ヲ運ブベク急ギシ。數千人ガ朝廷
ニマデ彼レノ行路ニ於テ彼レノ周圍ニ集リシ。街道及ビ窓ガ人民チ
以テ覆ハレシ而シテ彼レガ彼レト共ニ携來リシ印度人チ恰モ彼等
ガ月ヨリ來ツタリシカノ如ク、左様ニ大ナル驚愕ヲ以テ眺メテアリ
シ。ヨリ僅少ナラザル驚愕ヲ以テ彼等ガ彼等ノ周リノ奇異ナル形状
ヲ眺メナセシ亞米利加ノ發見ノ日子ヲ記念セヨ千四百九十二年十
月十二日ナリ

第四章

コロンブスノ最終ノ航海○カボット

(1) コロンブスノ發見ノ報知ガ全歐羅巴チ動搖ニマデ投ゲシ。奇異ナル
物語ガ西ニ於ケル新地ニ就テ語ラレシ。多クノ者ハ黄金ガ木ニ於テ
生ズルヲ及ビ金刚石ガ他ノ諸國ニ於テノ石ノ如ク左様ニ尋常ニ其

●「コロンブス」最終ノ航海 ●千四百九十三年

went go far as
 (8) Carried around
 (4) not only

進ミシ
 持廻リシ
 ノミナラズ

(1) To the west! 西ニ
 (8) brought out 運來リ
 went far 進ミシ

●「コロンブス」最終ノ航海 ●千四百九十九年

十六

處ニアリシ石ト全ク様ニ新洲ニハ金トナリト云フ意。以前ニコロンブスチ嗤ヒ
 マリシ處ノ其等ノ人ガ今若シモ彼等ハ彼レガ發見シタリシ土地ニ
 達シ得シノミナラバ彼等ノ身代ガナサル、デアアラウ往サヘスレバ備ト
 ナ思考セシ西ニ西ニガ船舶ヲ備装シ能ヒシ所ノ各ノ大膽ナル航海
 者ノ叫聲デアリシ

(2) コロンブスガ彼レ自身ニ西世界ニマデ尙三度ノ航海チナセシ。千四
 百九十八年ニ於テ彼レノ第三ノ航海ニ於テ彼レガ始メテ南亞米利
 加ニ於ケルオリノコ河ノ口ニ近ク大陸ニ到達セシ

(3) 其間ニ彼レガ連來リタリシ其等ノ者ノ中ニ不平ガ起リシ何トナレ
 ハ彼等ハ彼等ガ期シタリシ如ク左様ニ多量ニ黄金ヲ發見シ能ハザ
 リシ故ニ。コロンブスノ警敵ガ亦西班牙ニ於テ彼レニ就キテ架空
 ノ流言ヲ流布セシ。此等ノ風説ニ動サレ且彼レガナシタリシ總テチ
 忘却シツ、王及ビ后ガ不正ニ彼レノ權力ヲ彼レヨリ觀測セシ。而

テ彼レノ相續者ガ鎖繫ニ於テ彼レチ西班牙ニマデ送り返スベク進
 ミシ。此ノ忘恩ナルコトガコロンブスノ心ニ徹セシ。彼レハ彼レガ何處
 ニ行キシトモ彼レト共ニ彼レノ鎖ヲ持テ廻リシ而シテ若シ彼レガ
 死セシ時ニハ、彼等ハ彼レト共ニ埋メラル、デアアラウコト命ゼシ。彼
 レハ彼レノ無罪ナルコトヲ證明セシト雖モ彼レハ決シテ彼レノ權威
 ニマデ恢復セテレザリシ

(4) 彼レノ第四ノ航海ニ於テ今老人ナルコロンブスガジャマイカ西印度
 ノ海岸ニ於テ破船サレシ。彼レ及ビ彼レノ人々ガ斯ノ如クシテ印
 度人ノ慈悲ニ委ネテレシ。印度人ガ最初甚マ親切デアツタリシ。然レ
 モコロンブスノ不在ノ間ニ西班牙人ガ彼等印度人チ打擲シ勸勞ス
 ルベク彼等チ強迫シ且彼等ノ黄金チ彼ヨリ盗ミタリシ。斯ノ如キ待遇
 ガ復讐ニ向ツタリ。渴望チ惹起シタリシ。其故ニコロンブスガ破船サ
 レシ時ニ彼等ガ飢饉ニマデ彼レ及ビ彼レノ人々チ見捨テシノミナ

●「コロンブス」最終ノ航海 ●千四百九十九年

十七

great man
(7) Among other things
new world

傑中
就新
世界

but even
(5) an eclipse of the moon
took place
shortly before
Great Spirit
very night

又蝕ルシ前ニ
尙月起少天即

fell on their knees
getting back

膝ヲ
キル

●「コロンプス」探検ノ紀 ●千四百九十九年

十八

ラズ。尙又彼等ヲ攻撃スルベシ脅迫セシ。此ノ危急ニ於テコロンプス
ガ天文學ノ彼ノ智識ニ由リテ彼レノ夥伴ヲ救ヒシ

(5) 彼レハ或ル夜ニ於テ月蝕ガ起ルデアラウトナ知リシ。其時ノ少シ前
ニ彼「コロンプ」レノ周圍ニ土人ヲ集メル所デアレハ彼等ガ西班牙人
ヲ助クルヲ欲セヌ故ニ天帝ガ憤怒シテアリシヲ及ビ彼レ天帝ヲハ此
ノ即夜彼等カラ彼レノ面ヲ掩ウデアラウトナ彼レニ語リシ。月ガ次

第々々ニ暗クナリシ而シテ土人ハ上帝ガ斯ノ如ク彼レノ忿怒ヲ示
現シテアリシト信ズル所デアラキシ夥多ノ供給ヲコロンプスニ約
セシ而シテ彼レガ「コロンプ」今一度彼レ天帝ヲノ顔ヲ現出セシトナ天
帝ニマデ願ウデアラウトナ祈リシ。月蝕ガ終ツテアリシ時ニ彼等ハ

彼等ノ言ヲ守リシ。彼等ノ救助ヲ以テコロンプスガヘーナー島ニマ
デ歸ルコトヲ遂ゲシ

(6) 西班牙ニマデ彼レノ歸國ニ於テコロンプスハ彼レノ朋友ナルイサ

ベラ后ガ死シテアリシコトヲ見出セシ。其處ニ今此傑傑ニ歸ルヲナ
スベキ何人モアラザリシ。彼レガ千五百六年ニ於テ貧困デ且ツ見據
ラレテ死セシ。彼レガ發見セシ處ノ大陸アスタ他者ニ從ウテ命名サ
レシ

(7) 新世界ノ名稱 其レノ發見ノ後間モナリ新世界ヲ探問セシ所ノ
其等ノ中ニアメリゴトヴニスプシト呼バレタル以太利人ガアリシ。

歐羅巴ニ彼レノ歸國シタル後彼レガ許多ノ興味アル然レハ謎言ノ
物語ヲ有モツ所ノ彼レノ航海ノ譚ヲ書キシ。就中彼レハ偽リテコ
ロンプスヨリ前ニ大陸ニ達シタルヲ主張セシ。彼レノ書ガ衆人ニ

依ツテ讀マレ且ツ信セラレシ而シテ新世界ガ其レノ眞ノ發見者ノ
榮譽ニ於テコロンプヒアト名付ラル、メニノ代リニ此以太利人ニ從ウ
テアマメリカト命名サレシ

(8) 「カボット」 北亞米利加ニ達セシ所ノ第一ノ航海者ハ英倫ノ王國

●「カボット」 ●千四百〇六年

十九

- (1) fire-arms 火器
 blood-hounds 獵犬
 pushed on 進
 had to stop by 止
 (2) Country's flag 國旗

- (8) in the service 任
 was taken over 來
 taking possessions of in behalf 携
 as far...as 來
 (1) raised about 蔡

理第七世ニ仕ヘテアリシ處ノシモン、カボットデアリシ。千四百九十七年ニ於テコロンプスが大陸ニ達セシ大約一年前ニニューファンドラ
 ノド英領加拿陀ノ東海ノ海岸ヲ穿鑿セシ。彼レハコロンプスが發見シタリマ
 所ノ愉快ナル陸土トハ甚ダ異リテ寒キ且ツ不毛ノ海岸ヲ見出セシ
 (9) 曾テ歐羅巴ニ於テ見ラレシ所ノ最初ノ吐綬鷄ハカボットニ依リテ
 彼レノ歸國ニ於テ携來ラレシ。彼レノ子息セハスチアンガ其後間モ
 ナク新世界ヘ多クノ航海ヲナセシ而シテ此國ヲ英倫王ノロタメニ占
 領スル所ヲ北カロリナ合衆聯邦ノ一マデ南ニ海岸ノ種々ノ場處ニ達セシ

第五章

バルボ ○マゼラン ○コルテツ

(1) 大平洋ハタルイエンノ地峽ニ於ケル西班牙殖民地ノ太守ナルバル
 ボーニ依ツテ千五百十三年ニ於テ發見サレシ。南方ニマデノ水ノ太
 ナル体ニ付キ聞ク所ヲ彼レガ殆ンド二百人ヲ募リシ而シテ土人ノ

案内者ト共ニ其レニ達スルベク出發セシ。バルボー及ビ彼レノ人々
 ガ重キ鎧ヲ着シ而シテ辛ウシテ道ナキ森ヲ通シテ而シテ岩又山ヲ
 越ヘテ彼等ノ路ヲ作り能ヒシ。印度人ノ猛キ種族ガ彼等ノ進行ニ抵抗
 セシ然レモ火器及ビ獵犬ノ助ケヲ以テ此等ヲ打破リツ、彼等ガ進
 ミシ。然リト雖モ多クノ者ハ疾病及ビ疲弊ヨリ途ニ止ラネバナラナ
 ンダ而シテ彼レノ夥伴ノ過半ヨリハ尙少數ト共ニバルボーガ峰其
 レノ頂上ヨリ大ナル水が見ラレ得シ。案内者ガ云ヒシ所ハ峰ヲ
 登リツ、彼レ自身ヲ見出セシ
 (2) 頂上ニ近ヅク時ニバルボーガ駐マルベク彼レノ人々ニ命セシ而シ
 テ唯ダ一人頂上ニマデ登リシ。其處ニ彼レハ眼ガ遠シ能ヒシダケ左
 様ニ遙カ彼方ニ捲ク處ノ大ナル大平洋ヲ見シ。彼レノ最初ノ所爲ハ
 發見ニ就キテ天帝ニ謝スベクアリシ。彼レガ其後海濱ニ降り而シテ
 一ツノ手ニ於テ彼レノ劔ヲ持テ而シテ他ノ手ニ於テ彼レノ國旗ヲ

wading out knee-deep 膝ノ深サ程入込ミツ、
 (4) Cape of Good Hope 喜望峯

●「マゼラン」 ●千五百十三年
 二十二
 持テ水中ニ膝ノ深サ程入込ツ、西班牙王ノ名ニ於テ其レテ領地ト
 ナシテ而シテ彼レハ彼レノ武器ヲ以テ其レテ防禦スルデアラウイナ
 布告セシ

(3) 「パシフヒツク」ハ平和ヲ意味ス。バルボニー依ツテ發見サレタル大洋
 ハ大西洋ト比較シテ暴風雨ヨリ其レノ自由ノ緣由ニ於テ此名ヲ請
 取リシ。其レハ其レノ水上船ヲ航スルベク最初ノ者デアリシ處ノ
 葡萄牙人ナルマゼランニ依リテ左様ニ名付ケラレシ。彼レハ其後マゼ
 ランノ海峽南端ト彼レヨリ呼ハレタル南亞米利加ノ南ニ於ケル
 海峽ヲ經過シテ其レニ入込ミ

(4) マゼランガ此ノ航海ニ於テ彼レノ生命ヲ殞セシ。然リト雖モ彼レノ
 船ノ一ガ喜望峯ヲ廻リテ西ニ航スルベク續ケシ而シテ三年ノ不在
 ノ後郷國ニ歸リシ。此レハ曾テ地球ヲ周リテ航セシ所ノ最初ノ船デ
 アリシ。此航海ガ地球ノ形狀ニ關シテ何チ證明ヲナセシカ
 ルエヌベクナリ

(5) courts of justice 裁判所
 public school 公立學校
 gold and silver 金銀
 waited on 侍ラレシ
 bowed down 頓首
 false Gods 偽神

(5) 次ギニ千五百十九年ニ於テメキシコノ征服ガ續キシ。メキシコハ廣
 大ナル帝國デアリシ。其ノ人民ハ北亞米利加ノ他ノ部分ニ於テノ土
 民ヨリハ遙カニ多ク開化シテアリシ。彼等ガ法律及ビ裁判所、公立學
 校、壯麗ナル殿堂及ビ大ナル都府ヲ有テシ。彼等ガ土地ヲ耕シ、彼等ノ
 富饒ナル金銀ノ鑛山ヲ掘リシ而シテ技術及ビ學問ノ多クヲ熟知シ
 テアリシ。彼等ノ帝ハメキシコ府ニ於ケル壯麗ナル宮殿ニ於テ住ヒ
 シ。彼レガ六百ノ貴族ニ依ツテ侍ラレシ。彼レノ皿及ビ杯ハ黄金ノ者
 デアリシ。彼レガ彼レ自身ヲ全世界ノ君主ト稱セシ而シテ近隣ノ諸
 種族ヲシテ彼レニ貢物ヲ致サシメシ。メキシコ人ハ眞ノ天帝ヲ拜シ
 ナサトリシ。然レモ木及ビ石ノ偶像ニ頓首セシ。此等ノ偽神ニマデ彼
 等ハ殘酷ニ彼等ガ戰爭ニ於テ捕リシ所ノ俘囚ヲ供ヘシ
 (6) キニトハ西印度及ビ近隣ノ島嶼ニ於テ今全ク數多クアリシ所ノ西
 班牙人ガ此富タル帝國ニ就テ聞キシ而シテ其レテ征服スルベク決

●メキシコ征伐 ●千五百十九年

定セシ。彼等ハ殆ンド六百人ヲ募リシ而シテコレヲツト稱セラレタル勇敢ナル然レハ殘忍ナル人ヲ彼レ等ノ頭ニ於テ置キシ。此夥伴ノ十六人が馬ヲ持チシ而シテ僅少ガ小銃ヲ以テ甲ハレシ。殘餘者ガ劍、鎗及ビ弓ヲ運ビシ。此ノ小軍勢及ヒ十門ノ大砲ヲ以テコレヲツガ人民ノ數百萬ヲ有スル所ノ大帝國ヲ征服スルベク出立セシ。

(7)

メキシコ帝ハ西班牙人が上陸シタリシヲ聞クヤ否ヤ彼レガ帝ヲ壯麗ナル贈物ヲ以テ然レハ彼等カ此國ヲ去ルデアラウイノ命令ヲ以テ

彼等ニマデ使臣ヲ遣リシ。コレヲツガ贈物ヲ領收セシ然レハ命令ニ

マデハ顧慮セザリシ。彼レノ人々等ガ歸國ヲ念慮シ得ヌノタメニ

彼レノ船ヲ燒イテ所テ彼レガ内地ニ押シ寄せシ。

(8) 首府ニ達スルノ前多クノ戰鬪ガ土民ノ無數ナル軍勢ト戦ハレシ。

然レドモ西班牙人が常ニ成功シテアリシ。憫レナル土民ハ火ヲ噴キ

出ス所ノ而シテ彼等ノ列ヲ驅リ斃ス所ノ小銃及ヒ大砲ニ依ツテ驚

- (6) allmar focs as soon as' 小軍勢ヤ否ヤ
- (7) paid no attention breathing forth mowing down 顧慮出ス所ノ 吹出ス所ノ 驅リ斃ス所ノ

- (9) hard fighting driven out great deae great subject 苦戰 驅逐サレ 許多 大目的

カサレシ。彼等ガ亦コレヲツノ騎兵ニ依ツテ驚カサレシ其人ヲ彼等ガ半人且ツ半獸ナル恐ロシキ怪物ト取違ヘシ。馬ハ決シテ以前ニ亞米利加ノ大陸ニ於テ發見セラレザリシ。

(9) 苦戰其ノ進ミノ中ニ彼レガ一度大ナル損失ヲ以テ都府ヨリ驅逐サ

レシ苦戰ノ許多ノ後コレヲツガ終ニ首府、帝及ヒ重ナル貴族ヲ獲シ。

彼レハ甚ダ殘酷ニ彼レノ俘虜ヲ待遇セシ。黃金ガ彼レノ大目的デア

リシ而シテ彼レハ彼等ガ何處ヘ彼等ノ財寶ヲ隱匿セシカチ、彼等ニ

語ラシムルベク熱キ石炭ノ床ノ上ニ憫レナルメキシコ人ヲ押シ延

ブルベク充分猛惡ニアリシ。彼レガ死ニマデ多クヲ置キシ而シテ全

國民ヲ服從セシ。此時ヨリメキシコガ大約三百年ノ間西班牙ノ領地

ト殘リシ。

第六章

佛蘭西人ノ發見 デント

●コレヲツ

●千五百十九年

● 邦人ノ發見

● 千五百二十四年

(1) 西班牙及ビ英倫ノ如ク他ノ諸國ガ新世界ニマデ船ヲ發遣スルベク
 始メシ。千五百二十四年ニ於テ佛蘭西王ニ仕ウル航海者ガカルオリ
 ナ合衆聯邦ヨリニユト、フオンドランド迄ノ海岸ヲ穿鑿セシ。彼ガ全土
 ナニユト、フルアンスト名付ケシ。其後十年ニカーチーアト呼レタル
 佛蘭西人ガ亞米利加ニマデ多クノ航海ヲナセシ。彼レガセント、ロ
 ル、エ、ンス河ニ入込ニシテモントル、イルガ其後建設サレシ所
 ニ立ツ所ノ大ナル印度人ノ村落ニマデ溯リシ。印度人が最初ニ甚ダ
 親切ニアリシ然レドモ彼レガ彼等ノ酋長ヲ捕ヘ去ルコトニ依ツテ
 彼等ヲ敵トナセシ
 (2) 此ノ後間モナク佛蘭西人ノ數多ガ新世界ニ航行セシ而シテセント、
 ル、オーレンス河ノ上ニ殖民セシ。然リト雖ドモ彼等ハ其處ニ一冬ヲ
 過ゴスコトノ後彼等ガ歸國スルコトヲ喜ンデアリシコト程左様ニ
 寒ク且ツ頼モシガラズニ其レヲ見出セシ。許多ノ他ノ殖民ガ南ニ於
 ア、イン、ワ、アイ、チ、ン、ク

- (8) so that 其故ニ
- wore out 磨滅セシ
- (4) to and fro 此所彼所ニ

テ佛蘭西人ニ依ツテ企テラレシ然シ成効ナカリシ
 (3) デ、ソ、ト 其間ニ此國ノ内地ニ於テ多量デアリシト彼等ガ聞キシ
 所ノ黄金ニ向ツテ熱望シテ西班牙人が引續テ穿鑿スル夥伴ヲ發遣
 シツ、アリシ。此等ノ最モ有名ナル者ノ一ガデ、ソ、トト呼バレタルキ
 ユーバ島ノ太守ニ依ツテ引率サレシ。彼レハ完全ナル甲ニ於テノ六
 百人ト共ニフロルイダ合衆聯邦ノ東南位
 ニアル半島ノ一州ノ海岸ニ於テ上陸セシ。デ、ソ、トガ
 鍛冶ノ鑪爐ヲ彼レト共ニ携ヘシ其故ニ彼レノ武器ガ磨滅セシトニ
 彼レガ新シキ物ヲ作り得シ。彼レノ人々ハ食料ニ向ツテ欠乏シ得ヌ
 コノタメニ彼レガ森ヲ通シテ彼レノ前ニ豕ノ大數ヲ引連レシ。斯ノ
 如ク準備シテ而シテ馬及ヒ供給ヲ以テ完備サレテデ、ソ、ト及ビ彼
 レノ隊ガ發見ノ彼等ノ旅行ニ於テ出發セシ
 (4) 許多ノ月ノ間彼等ハ今アラバマ及ビジョーシア共ニ合衆聯
 邦ノ一州デアル處
 ノ者ヲ越ヘテ此所彼所ニ彷徨セシ。彼等ガ多クノ印度人ニ出逢ヒシ

● デ、ソ、ト

● 千五百二十四年

(5) Some months 數月
seized on 押領シ
setting fire 放火スル

其人ハ若シモ西班牙人ガコレヲツノ如ク残酷ニ彼等ヲ待遇セナシ
タリシナラハ親切ニ在ツタデアラウ。彼等ハ彼等ガ或ル黄金ヲ發見
シ得ザリシ故ニ失望シテアリシ而シテ彼等ガ無事ナル印度人ノ上
ニ彼等ノ忿怒ヲ遷セシ。彼等ハ彼等ガ要セシ所ノ何物ヲモ彼等ヨリ
奪ヒシ而シテ些細ナル事由ノ爲ニ彼等ノ村落ヲ燬キ、彼等ノ手ヲ斬
リ落シ而シテ片々ニ於テ裂クベク彼等ノ獵犬ニマデ彼等ヲ與ヘン
ス。如キ取扱ガ印度人ヲ怒ラシ而シテ遂ニ戦争ガ闘ハレシ。彼等ノ
火器及ビ馬ノ助力ヲ以テ西班牙人ガ勝利シテアリシ而シテ土民ノ
許多ヲ殺セシ。其後數月ニ西班牙人ガ今ミッスイビ一州合衆聯邦デア
ル所ノモノノ北ニ於ケル種族ノ村落ヲ押領シテ所テ土民ハ夜中ニ彼
等自身ノ小舎ニ放火スル。依ツテ彼等自身ニ復讐セシ。テソトハ
焔火ノ中ニ許多ノ馬及ビ豚、彼等ノ荷物ノ大抵及ヒ彼レノ人ノ十
人ヲ失ヒシ。

(6) few days 數日
to get rid 免カル、ベク
farther on 離隔シタル
marching about 奔走シテ

(6) ミッスイビ一州合衆聯邦デア
ル所ノモノノ北ニ於ケル種族ノ村落ヲ押領シテ所テ土民ハ夜中ニ彼
等自身ノ小舎ニ放火スル。依ツテ彼等自身ニ復讐セシ。テソトハ
焔火ノ中ニ許多ノ馬及ビ豚、彼等ノ荷物ノ大抵及ヒ彼レノ人ノ十
人ヲ失ヒシ。

(7) 日ノ中ニ今ミッスイビ一州合衆聯邦デア
ル所ノモノノ北ニ於ケル種族ノ村落ヲ押領シテ所テ土民ハ夜中ニ彼
等自身ノ小舎ニ放火スル。依ツテ彼等自身ニ復讐セシ。テソトハ
焔火ノ中ニ許多ノ馬及ビ豚、彼等ノ荷物ノ大抵及ヒ彼レノ人ノ十
人ヲ失ヒシ。

●テソト之死 千五百四十一年 二十九

- (1) scalp-look 頭頂骨ノ露露
 (2) copper-colored 銅色

- (7) taking out 出取シテ
 at dead of night 深夜ニ於テ
 (8) by land 陸ニテ
 as far as マデ
 ready to sink 將ニ斃ントシテ
 sail down 航降スル
 spent over 費セシ

●デント之死

●千五百四十一年

三十

時期ニ些少ノ幸福ヲ以テ死セシ。彼レノ人々ガ上着ニ於テ彼レノ体ヲ纏ヒシ而シテ脚舟ニ於テ其レヲ取出シテ彼レガ發見シタリシ所ノ大ナルヨックスンビ河ノ中ニ深夜ニ於テ其レヲ沈メシ

(8) デントノ死後彼レノ人々ガ彼等ノ漂行ヲ續ケシ。彼等ガ最初ニ陸ニテメキシコニ達スルベク試ミシ而シテテキサス南合衆國ノ廣原マデ彼レノ進行ヲナセシ。然ルキニ將ニ倒レントシテ彼等ガミッスイッピ一河ニマデ還リシ而シテ其レノ河口ニ航降スルベク而シテ其處ヨリ海岸ヲ沿ウテ或ル西班牙ノ殖民地ニ航降スルベク決セシ。鉄ノ各ノ片ガ彼等ノ脆弱ナル舟ヲ結合スル爲ニ釘ヲ作ルニ依ツテ用ヒラレシ。最モ酷シキ困難ニ遭遇スルノ後、隊ノ大約半分ガ彼等ノ國人ニ達スルノニ於テ果セシ。彼等ガ彼等ノ退屈ナル遍歴ニ於テ四年以上ヲ費シタリシ

第七章

●亞米利加ノ印度人

(1) 余輩ハ印度人ニ就テ許多ヲ云フタ、余輩ガ彼等ヲ記載スルノ其レガ時デアル。相對シタル書ニ於テ印度人ノ數多ガ見ラル、酋長ハ高ク而シテ直クアル。彼レノ頸ノ周圍ニ彼レガ殺シタ所ノ熊ノ爪ヲ以テ飾ラレタル頸環ガアル。彼レノ背ニ於テ彼レガ彼レノ弓及ビ矢ニ就テ光タル箭エヒカノ脇ニ於テ彼レノ鉞トホシヲ荷ウ。彼ガ彼レノ脚ニ於テ股引及ビ鹿皮ノ脚絆クイワイヲ着ケル。彼レノ頭ハ裸デアアル、彼レハ羽ヲ以テ飾ラレタル單ナル頭頂骨ノ垂髮ノ外何タル毛髮モ持タヌ

(2) 其處ニ亞米利加ノ種々ノ部分ニ於テ印度人ノ多クノ様々ノ種族ガアリシ、然レモ彼等ガ一樣ニ見ヘシ而シテ生計ニ就キテモ同シ種類ヲ導キシ。彼等ガ全ク銅色デアリシ而シテ其レヨリシテ赤人ト稱セラレタ。彼等ノ毛髮ガ黒ク且ツ甚ダ直ク且ツ粗クアリシ。北部ニ於テハ彼等ガ獸皮ヲ以テ彼等自身ニ着セシ、然レモ氣候ガ尙暖カニアリシ

●亞米利加ノ印度人

- (4) strapped up 結付ラレタル
- (5) set before 呈セシ
- for years 何年間モ

- (8) put up 建ラレシ
- (4) out hunting 出獵シツ、
- war trail 行軍
- open air 戶外

●亞米利加ノ印度人

所ノ南部ニ於テハ彼等ガ少シ或ハ一二ノ着物ヲ着セザリシ
 (3) 印度人ノ生計 印度人ガ獸獵ニ於テ彼レノ時ノ最多チ費セシ獸

獵及ビ漁業ニ依リテ彼レノ食料ヲ得シ而シテ僅少ノ玉蜀黍即チ玉
 蜀黍ノ外何物ヲモ作ラザリシ。此レヲ婦人ガ植ヘ而シテ耕作スルベ
 シ強ヒラレシ。勇者ガ勞働スルコト其レヲ彼レノ下ト考ヘシ而シテ
 彼レノ妻即チ彼レガ彼女ヲ呼ブニ從ヘバ「スウウ」チシテ凡テノ
 仕事ヲナサシメシ。彼女ガ彼等ノ小舎ヲ建テシ彼等ノ食料ヲ準備セ
 シ石ノ臼ニテ乾キタル玉蜀黍ヲ推碎キシ而シテ彼等ガ此處ヨリ彼
 處ニ移轉スル時ニ亦荷物ヲ運ビシ

(4) 印度人ガ出獵シツ、或ハ行軍ニ於テアリシ時ニハ彼レハ野獸ヲ驚
 カシ去ラスベク彼レノ側ニ燃ユル所ノ火ヲ以テ戶外ニ於テ眠リシ。
 我家ニ在ツテハ彼レガウカグウア「即チ銅板書ニ於テ示サル、如
 キ斯様ナル小舎ヲ占メシ其レハ地中ニ打込マレタル棒ノ上ニ樹皮

或ハ獸皮ヲ張ルコトニ依ツテ作ラレシ。此處ニ汝ハ彼レノ妻ガ午飯ヲ
 調ヘテアル間ニ彼レノ休息ヲ取ル處ノ酋長ヲ見ル。小酋長ガ彼レノ
 父ノ肩ヲ以テ遊ビツ、アル。彼レヲ辭カニ保ツベク結付ラレタル嬰
 兒即チ「ヒーブ」ガ小舎ノ棒ニ掛ケラレテアル。印度人ノ婦人ハ
 屢々此ノ様ニ彼レノ背上ニ確カリト結バレタル彼女ノ嬰兒ヲ以テ
 幾里モ旅行セシ

(5) 印度人ハ一般ニ注意深ク且疑深シト雖モ懇親デ且ツ愛想好シアリ
 シ。彼等ハ彼等ガ所有セシ最モ好き者ヲ客人ニ呈セシ而シテ若シモ
 彼レガ食ハナンマリシナラハ憂慮シテアリシ。若シモ或ル人ガ彼等
 ニ恩惠ヲナセシナラハ彼等ガ何年間モ其レヲ記憶シ而シテ其レガ
 彼等ノ力ニ於テアリシ時ニ其レヲ酬ユルデアラウ。印度人ハ其レニ
 就キ總テヲ忘却シタコトノ如ク左様ニ久シキ以前ニ食物或ハ飲物ヲ
 彼レニ與ヘタリシ所ノ白哲人ノ生命ヲ救ウベク知ラレタ。彼等ハ亦

●亞米利加ノ印度人

- (8) either or 但シハ
In place 代リニ
(9) dealing with 處分スル
showered upon 降り來ル

- (6) one another 相互ト
war-paint 戦争ノ顔料
(7) open field 曠野

●亞米利加ノ印度人

傷害ヲ記憶セシテ而シテ彼等ノ復讐ニ於テハ容赦ナクアリシ
 (6) 印度人ノ交戦 印度人ハ間斷ナク相互ヒト戦争ニ係リテアリシ。
 彼等ノ戦争ノ顔料ニテ飾リテ彼等カ高貴ノ酋長ノ下ニ小サキ隊ニ
 於テ集リシ。彼等ハ輻重又ハ兵糧モ荷ハザリシ。各自ノ人ハ彼レガ途
 中ニテ射能ヒシ所ヲ獲物ニ於テ依頼セシ
 (7) 彼等ノ旨意ハ彼等ノ敵ヲ襲ウコト成ルベクタク左様ニ多ク殺シ而
 シテ無難ニ逃グルヲデアリシ。彼等ガ決シテ曠野ニ於テ戦ハザリシ。
 彼等ノ舉動ガナルベクタク秘密ニナサレシ。酋長カ道ヲ導キシ而シ
 テ隊ノ各ガ静カニ彼レノ足跡ニ於テ歩ミシ。敵ヨリ彼レノ足痕ヲ隠
 スベク隊ノ終シ者カ時トシテハ葉ヲ以テ其レヲ掩ウデアラウ。然レ
 此ノ方法ニテ老練ナル敵ヲ欺クノ其レガ難クアリシ。印度人ハ
 大ナル距離ニ於テ見且ツ聞キ能ヒシ而シテ白哲人ノ注目ヲ避カル
 、デアラウ所ノ儘カノヲ注意セシ

(8) 戦争ニテ殺サレタル敵ハ直チニ頭皮ヲ剝ガレシ。是レナシニハ其所
 ニ勝利ニ於テ一ノ榮譽ガアラヌ。拔群ノ酋長ハ彼レノ帯ニ於テ或ハ
 彼レノ小舎ニ於テ掛カル所ノ十二ノ乾シタル頭皮ニマデ指シ能ヒ
 シ。總テノ囚虜ハ立所ニ殺サル、カ但シハ勝利ニ於テ携へ歸ラレシ
 彼等ハ其處ニ時トシテハ斃レタリシ所ノ勇者ノ代リニ其種族ニ依ッ
 テ採用サレシ然レハ大概ハ苦メラレシ
 (9) 囚虜ヲ處分スルノ通例ノ方法ハ彼等チシテ鞭刑ヲ通セシムル
 デアリシ。二ツノ長キ線ガ棍棒ヲ以テ甲ハレタル男女及ビ童兒等ニ
 就テ形造ラレシ。囚虜ガ一端ニ於テ置カレシ而シテ其レニ到達スル
 ノ前ニ彼レハ彼レガ經過セシキニ彼レノ上ニ降り來ル所ノ打撃
 ノ下ニ斃ル、ニ非ザレバ他ニマデ走ルニ強迫セラレシ
 (10) 彼等ハ時トシテハ彼等ノ囚虜ヲ樹木ニマデ縛シ而シテ彼レヲ打ツ
 ノナシニ如何ニ近ク彼等カ來リ能ヒシカヲ見ルベク彼レノ頭ニ於

●亞米利加ノ印度人

●亞米利加ノ印度人 三十六
ヲ斧ヲ振り卸スデアラウ。他ノ時ニ於テハ彼等ハ彼等ノ犧牲ヲ杭ニ
結ビ付ク而シテ彼レノ周邊ニ燃ユル所ノ薪及ビ柴ヲ積上ケルデア
ラウ。彼等ハ彼ノ肉ニマデ燃立ツ所ノ矢ヲ射而シテ彼等ガ能ヒシ各
ノ仕方ニ於テ彼等ヲ窘ムルベシカムデアラウ。然ルニ彼レハ彼レ
ノ苦痛ニモ關セズ避ケモ又ハ呻キモセヌデアラウ。然レハ彼レノ軍
歌ヲ詠ヒツ、而シテ彼等ノ親族ノ如何ニ多クテ彼ガ殺シタリシカキ
誇リツ、勇敢ニ彼レノ運命ニ逢ウデアラウ。

(11) 印度ノ勇者ガ死セシ時ニ彼レノ小刀及ヒ斧ヲ及ヒ矢而シテ時トシ
テハ彼レノ愛犬ガ彼レト共ニ埋葬サレシ。彼等ハ彼レガ此處ニナシ
タリシ如ク他ノ世界ニ於テモ彼レガ彼等ヲ要スルデアラウトナキ
ヘシ。彼等ハ種々ノ仕方ニ於テ死体ヲ葬リシ。或ル者ハ高キ臺其レノ
上ニ彼等ガ櫃ノ種類ノ中ニ体ヲ入レシ處ノ高キ臺ヲ建テシ。他ノ者
ハ坐ヌル所ノ位置ニ於テ其レヲ葬リシ或ハ地ノ上ニ其レヲ置キ而

シテ其レノ上ニ木皮ノ小サキ家ヲ作りシ。母ハ時トシテ木ノ枝カラ
彼女ノ死シタル小兒ノ体ヲ釣下ケ而シテ軟風ニテ其レガ揺蕩スルキ
ニ其レニマデ詠ウデアラウ。彼等ノ先祖ノ墳墓ヲ彼等ハ最大ナル勇
氣ヲ以テ防禦セシ。

(12) 印度人ハ都ヲノ人ガ死ノ後再ビ生ルデアラウト信セシ。惡者ハ苦
患ノ場所ニ於テ然レハ善者ハ鹿水牛及ヒ野獸ノ總テノ種族ガ許多
ニアル所ノ幸ヒナル。獵場ニ於テ彼等ハメキシコ人ノ如ク偶像ヲ禮
拜シヤサハリシ。彼等ハ大神ニ於テ信仰セシ而シテ彼等ガ要セシ各
ノ物ニ向ツテ彼レニマデ祈禱セシ。

(13) 印度人ノ國語ガ僅カノ詞ヲ含ミシ。語ヲラル、時ニ彼等ガ溫柔デア而
シテ樂調デアリシ。彼等ノ何ゾニモガ書カレザリシ何トナレハ文字
ヲ知ラレズデアリシ。故ニ然リト雖モ事實ガ樺樹ノ皮或ハ柔サレ
タル獸皮ニ於テ書カレタル繪及ビ記號ニ依ツテ記錄サレシトシテ

ハ岩石ノ上ニ盤ラレシ前葉ニ於テ樹皮ノ文字ノ圖像ガ印度人ノ繪
文字ノ看念ヲ與ヘルデアラウ

第八章

最初ノ殖民地

(1) セント、オーガスチン、及びピクニエックノ建設。假令邦土ノ多クノ
部分ガ吟味サレシト雖モ余輩ガ見タ如クコロンプスノ發見後尙七

十年其處ニ今合衆國ト呼バル、所ノ者ノ内ニ白哲人ノ一ノ殖民地
ガアラザリシ。西班牙人ガ永久ノ殖民地ヲ殖ユルベキ最初ノ者デアリ
シ。千五百六十五年ニ於テ彼等ガフロルイダニ於テセント、チーガス
チンチ建設セシ。尙全名ニ依ツテ知ラレタル此場所ガ合衆國ニ於テ
最舊キ殖民地デアル

(2) 四十年後ニ佛蘭西ノ移住民ガノヴァ、スコッチニアニ於テ殖民セシ。其
後間モナッシュ、ヤムプレイント、呼バレタル佛蘭西人ガ現今クエベック

(18) opposite page 前葉
picture writing 繪文字

(2) northern part 北部
(8) Virgin 縹シタルヲナキ女ヲ云フ

カ在ル所ノ場所ニ於テ加那陀ニ於テ彼レノ國民ノ移民ヲ殖ヘシ。汝
ハ其處ニ新約克州ノ中ニシ、ヤムプレイント呼バレタル美麗ナル湖
水ガアルヲ記憶スル。其レハ印度人ニ對シテ遠征ニ於ケル間ニ其レ
ヲ發見セシ所ノ此ノ佛蘭西人ヨリ其名ヲ受ケシ。此時ニ當ツテ佛蘭
西人ハ西人ガ南部ヲ爲セシ如ク大陸ノ北部ヲ有テシ

(3) ルエリー及ヒ彼レノ殖民。佛人及ヒ西人ノ所領ノ中ニ英倫ニ依
ツテ要求セラレタル大ナル地方ガアリシ。エリサベス女王ノ寵臣ナ

ルサド、ウォルター、ルエリーガ其レニ殖民スルベク企圖セシ。彼レガ
北ケアロリナノ海岸ニ到着セシ所ノ二隻ノ船ニテ一組ヲ遣出セシ。
彼等ガ親切ナル種族ニ依ツテ占有サレタル富饒ニシテ且ツ愉快ナ
ル陸ヲ發見セシ。印度ノ女王ガルノーノク島北ケアルノ東岸ニ於テ彼等
ヲ獲應セシ。彼等ニ全伴スルベク二名ノ印度人ヲ説勸メテ彼等ガ英
倫ニ歸リシ而シテヴォオルチン女王ニ呈サベスガ喜バサレシ而シテ

レリー氏ノ殖民

千五百八十四年

三十九

- (8) in honor ムメニ
- (4) fell on 墜撃セシ
- (5) laid out 延テシ
- went back 歸國セシ

レリイ氏ノ殖民

千五百八十四年

四十

彼女躬ヲノコシメニヴァーシニアト其レヲ命名セシ。程左様ニ彼等
が見舞ヒタリシ邦土ノ盛ナル事情ヲ報セシ

(4) ルエリーハ斯ノ如ク勵マサレテ移住民ノ多クヲ派遣セシ。彼等ガル
*ノノク島ノ愉快ナル野ニ於テ栖ミシ然レモ彼レノ太守ガ輕卒
アリシ。彼等ノ一人ガ罌ノ盃ガ彼レノ人カラ盜マレシト故ニト印度人
村落ヲ燒キシ。他ノ者ガ敵デアルベク彼等ヲ思ウテ親懇ナル印度人
ノ組ヲ襲撃セシ而シテ彼レガ彼レノ過失ヲ見出セシ前ニ許多ヲ殺
戮セシ。斯様ナル所業ガ土人ヲ恐リ且復讐ヲ思ハシメシ。殖民者
ノ或ル者ガ失望シテナリシ而シテ英倫ニ歸リシ。殘餘ハ殺サレシ
(5) 猶ホルエリーハ失望シテアラザリシ。彼レガルエリーノ市府ヲ建テ
シ所ノ尙多クノ殖民ヲホーノクニマテ遣リシ。此太守ガ手當ノ
爲ニ英倫ニマテ歸國セシ而シテ二年不在デアリシ。此島ニマテ彼レ
ノ歸リニ於テ其處ニ見ラル、ベキ白哲人ガアラザリシ。彼等ガ印度

- (6) give up 放棄
- greatest men 大豪傑
- (7) brought over 携來リシ
- that is 即チ

人ニ依ツテ殺サレシガ將ク連レ去ラレタリシガ決シテ見出サレ
リシ

(6) サ、ウアルター、ルエリーノ手段ガ今ハ盡キ果テ、アリシ而シテ彼レガ
ウアーニアニアニ殖民スルニキ彼レノ企計ヲ放棄セシヤナラナシ。假令
彼レガ其後大逆ノ罪科ニ於テ刎首セテレシト雖モ彼レハ彼レノ時
代ノ大豪傑ノ一人トシテ考ヘラル。北ケルナノ州ガ彼レノ爲ニ
其レノ首府ナルルエリート呼ビシ

7) ルエリーハ歐羅巴ニマテ馬齡驛ヲ導シベキ最初ノ者デアリシ。彼レガ
彼レノ愛爾蘭ノ領分ニ於テ若干ヲ植ヘシ。他ノ者ハ彼レヨリ種子ヲ
得シ而シテ今馬齡驛ハ愛爾蘭ニ於テ貧者ノ重要ナル食物デアアル。彼
レハ歐洲ノ人民ガナシニ濟マン能クテ所ノ他ノ或者ヲ亞米利加ヨ
リ携來リシ而シテ。即チ是レ煙草ナリ。彼レガ印度人ヨリ其レヲ吹煙
スルベク學ビシ。或ル日決シテ用サレタル煙草ヲ見ナシタリシ所

最初ノ殖民地

千五百八十七年

四十一

- (8) in honor タメニ
- (4) fell on 襲撃セシ
- (5) laid out 建テシ
- went back 歸國セシ

レリー氏ノ殖民

千五百八十四年

四十

彼女躬ヲノタメニヴァーシニアト其レヲ命名セシ。程左様ニ彼等
が見舞ヒタリシ邦土ノ盛ナル事情ヲ報セシ

(4) ルエリーハ斯ノ如ク勵マサレテ移住民ノ多クヲ派遣セシ。彼等ガル
ノ一ノク島ノ愉快ナル野ニ於テ栖ミシ然レモ彼レノ太守ガ輕卒
アリシ。彼等ノ一人ガ銀ノ盃ガ彼レノ人カラ盜マレシト故ニト印度人
村落ヲ燒キシ。他ノ者ガ敵デアルベク彼等ヲ思ウテ親懇ナル印度人
ノ組ヲ襲撃セシ而シテ彼レガ彼レノ過失ヲ見出セシ前ニ許多ヲ殺
戮セシ。斯様ナル所業ガ土人ヲシテ恐リ且復讐ヲ思ハシメシ。殖民者
ノ或ル者ガ失望シテナリシ而シテ英倫ニ歸リシ。殘餘ハ殺サレシ
(5) 猶ホルエリーハ失望シテアラザリシ。彼レガルエリーノ市府ヲ建テ
シ所ノ尙多クノ殖民ヲルホーノクニマデ遣リシ。此太守ガ手當ノ
爲ニ英倫ニマデ歸國セシ而シテ二年不在デアリシ。此島ニマデ彼レ
ノ歸リニ於テ其處ニ見ラル、マキ白哲人ガアラザリシ。彼等ガ印度

- (6) give up 放棄
- greatest men 大豪傑
- (7) brought over 携來リシ
- that is 即チ

人ニ依ツテ殺サレシカ將々連レ去ラレタリシカ決シテ見出サレザ
リシ

(6) サ、ウオスター、ルエリーノ手段ガ今ハ盡キ果テ、アリシ而シテ彼レハ
ウアーシニアニ殖民スルマキ彼ノ企計ヲ放棄セシバナラナシ。假令
彼レガ其後大逆ノ罪科ニ於テ刎首セラレシト雖モ彼レハ彼レノ時
代ノ大豪傑ノ一人トシテ考ヘラル。北ケアルオリナノ州ガ彼レノ爲ニ
其レノ首府ヲルエリート呼ビシ

(7) ルエリーハ歐羅巴ニマデ馬齡醫ヲ導クマキ最初ノ者デアリシ。彼レガ
彼レノ愛爾蘭ノ領分ニ於テ若干ヲ植ヘシ。他ノ者ハ彼レヨリ種子ヲ
得シ而シテ今馬齡醫ハ愛爾蘭ニ於テ貧者ノ重要ナル食物デアアル。彼
レハ歐洲ノ人民ガナシニ濟マシ能ウタ所ノ他ノ或者ヲ亞米利加ヨ
リ携來リシ而シテ即チ是レ煙草ナリ。彼レガ印度人ヨリ其レヲ吹煙
スルマシ學ビシ。或ル日決シテ用サレタル煙草ヲ見ナシダリシ所

最初ノ殖民地

千五百八十七年

四十一

ノ彼レノ從僕ガ彼レノ主人ノ室ニ入りテ煙ヲ以テ圖マレタル彼レ
ヲ見出セシ而シテ彼レハ火ノ付テアワシト思ウテ彼レノ上ニ麥酒
ノ一杯ヲ注ギシ

(8)

最初ノ永久ノ英國殖民地ガ「甲比丹」名ニニューポ
ーランドトノ一組ニ依ツテ千六百〇七年ニ於テ作ラレシ。彼等ハ會社
其レニマテヴァージニアガ與ヘラレタリシ所ノ會社ニ依ツテ遣出サ
レシ。彼等ガ上陸セント思ヒシ所ノルネーノ島ヲ過ギテ暴風ニ依
ツテ逐ヤラレテ彼等ハ彼等ノ王ニ因ツテセームスト命名セシ所ノ
貴キ川ニ入込ミシ。其ノ河口ヲ上ル^{キリ}數里ニ彼等ガ好都合ナル位置
ヲ撰ビシ而シテセームスタウンノ市府ヲ建テシ。此地方ハ三十種族
ノ首タル有名ナル印度人ノ酋長ポーマダンニ屬セシ。印度人ノ或者
ハ白哲人ノ此處ニ住居スル^フヲ好ミナサ、リシ。然レハポーマダン
ハ云ヒシ「彼等ヲシテ其儘ニナサシメヨ。彼等ハ汝ヲ害サヌ。彼等ハ僅

(8) waste land
preceding page
look at
(9) Hardly when
left alive
no doubt

地
前葉
ヨ
否
残
リ
テ
生
疑
モ
ナ
ク

少ノ荒蕪地ヲ取ル^ト。前葉ニ於テノ地圖ヲ眺メヨ。如何ニセームス
タウンガ置カル、カ。其ガルネーノ島ヨリ如何ナル方向ニ於テア
ルカ

(9)

ニューポルトハ間モナク英倫ニ歸リシ。彼レガ去ツテアリシ。ヤ否ヤ殖
民ガ病ヲ以テ襲ハレシ。一時ニ於テハ唯十人ガ立ツベク能ウテアリ
シ。數週間ニシテ唯半分ノ組ガ生殘リテアリシ而シテ彼レガ失望ヲ
以テ執ヘラレシ。彼等ハ彼等ガ此危急ニ於テ彼等ノ首領ニ甲比丹シ
ヨシ、スミスヲ置カナンダリシナラバ疑モナク總テ死シタデアラウ
スミスハ勇敢ニシテ且ツ賢キ人デアリシ。彼レハ直チニ尙好キ状態
ニ於テノ事ヲ措置セシ。彼レハ怠惰者ヲ働カシメシ而シテ彼等ガナ
スベク企テタリシ如ク航シ去ル^テヨリ怯懦ナル者ヲ妨ゲシ。彼ハ周
圍ノ土地ヲ吟味セシ而シテ疑深クシテ且ツ不深切ニナリテアリシ
所ノ土民ヲ抑止ニ於テ保チシ

第九章

甲比丹ヨシニスミツス

- (1) earey life 若年
- (2) fellow-passengers 乗合客
- took off 取上ゲシ
- fighting.....hand by hand 接戦

(1) 甲比丹ヨシニスミツス若年ハ危険ニ付テ充テアリシ若年ノ時危険ヲ冒カス若年ハ危険ニ付テ充テアリシ若年ノ時危険ヲ冒カス
 彼レノ少年ニ於テ本國ヨリ出奔シテ彼レハ彼レ等ノ自由ノ爲ニ戦
 ヲ和蘭人ヲ助援セシ。然レモ彼レハ間モナク此レニ就テ倦ミテナリ
 シ而シテ一暗夜彼レハ脱走シ而シテ佛蘭西ニ彼レノ進行ヲ爲セシ。
 其後彼レハ埃及ニ往キシ。其所ニ見ルベキ奇異ナル何物ニテモアリ
 シ所ニハ何所ヘデモ彼ハ遍歴セシ
 (2) 彼レノ航海ノ一ニ於テ彼レハ彼レノ乗客ノ或者ニ向ツテ亂暴ニ働
 キシ而シテ彼等ハ彼レヲ船外ニ投棄セシ。彼レハ溺ル、トニ近クナ
 リシ溺死セントシテ然レモ岩ノ島ニマデ泳グトニ依テ彼レ躬ヲ助
 ケシ其處ニ彼レハ過グル所ノ船艙ガ彼レヲ取リ上ゲシマテ止リシ。
 次ギニ余輩ハ昔ノ勳爵士ノ如ク土耳其人ト接戦シテ何加利ニ於テ

- (3) carried off 擄去ラレシ
- (4) wandered off 徘徊セシ
- sunk in 陥リシ

彼レヲ見出セシ。終ニ小戦ニ於テ負傷サル、所ア彼レガ囚虜ニ取ラ
 レ而シテ奴隷トシテ賣ラレシ
 (3) スミツスハ今物凄キ國ニマテ數百哩擄去ラレシ。彼レガ鎖鎖ヲ以テ負
 ハサレ而シテ嚴格ニ取扱ハレシ。其故ニ彼レハ逃レルベク決定セシ。
 彼レノ機會ニ投ツテ彼レガ彼レノ抑制者ニ逆ツテナリシオカリヲ見テ
 タルシ而シテ馬ニ乘リテ魯西亞ニマテ無徑ノ森林ヲ經過シテ行キ
 シ。其ヨリ或ル他ノ冒險ノ後アブナイ後チシタ後ト彼レガニューポートノ隊ニ加
 入スルベキ時ニ於テ英國ニマテ彼レノ道ヲ歸リナセシ
 (4) ヴァーシニアニ於テ彼レノ穿鑿ノ遠征ノ一ニ於テ出デシ時ニスミツス
 ハ不意ニ印度人ニ依ツテ攻撃サレシ。彼レハ彼レガ探測スルベク出
 テ、往キシ時ニハ小舟ノ側ニ止マルベク彼レノ人ニ命ジタリシ。然
 レモ彼等ガ徘徊セシ而シテ蠻人ニ依ツテ殺サレシ。彼レノ敵ノ三人
 ヲ殺スト後スミツスハ逃ガレ、ベク試ミル間ニ沼ニ陥リシ而シテ

投棄シ
天体
出来タル
視ル
運廻リシ

(4) thrown away
heavenly bodies
(5) turn out
look on
carried around

降ラネバナラナシ。然ル時、スラ印度人ハ彼レガ彼レノ武器ヲ投棄シタリシ迄ハ彼レニ觸レルヘク恐怖シタアリシ。彼レハ若シ彼レガ印度人ノ氣質ヲ知ラナシナラバ今彼レノ生命ヲ失ウタデアラウ。彼レノ磁石盤ヲ彼レノ衣囊カラ取出シテ彼レハ如何ニ針ガ常ニ北ヲ指示スルカヲ彼等ニ示セシ而シテ地球及ビ天体ノ形状ニ就キテ彼等ニ語リシ。

(5) 蠻民ノ驚キヲ増スタマニスミッソスハ翌日彼等ハ彼レガ指名セシ所ノ或物ヲ森林中ノ或ル場所ニ於テ見出スデアラウ。ナシテ彼等ニ語リシ。彼レハ然ル後其處ニ品物ヲ置クベクゼームスタウンニ於ケル彼レノ國人ニマア書キシ。彼等ハ左様ニナセシ、而シテ彼レノ書物ヲ解シナサトリシ所ノ印度人ハ彼レガ云ウタ如ク出来タル或物ヲ見シ時ニ彼等ハ人間ヨリ尙多クトシテ視ルベク始メシ。人間ヨリ尙一層エラ。彼等ハ揚々トシテ彼等ノ種々ノ村落ニマア彼レヲ連レ周リシ而シテ終

歴史
携ヘテ

(6) old history
in hand

ニ彼レヲ彼レノ酋長ポーハタンニマア連れ來リシ

(6) 爰ニ嚴格ナル會議ガ開カレシ而シテスミッソスガ死ニマア置カル、デアラウ。ナシテ其レガ決定サレシ。彼レノ頭ガ死スベキ打擲ニ即ケテ受クルタメニ大ナル石ノ上ニ置カレシ。ナシテ舊史ガ話ス。猛惡ナル蠻民ガ戰ヒノ棍棒ヲ携ヘテ彼レノ側ニ立ナシ。彼レガ殆ンド打タレントシテアリシ時恰モ十二才ノ温和ナル印度ノ女兒ナルボカホントスガ前ヘ走り出デ囚俘ノ周リニ彼レノ腕ヲ投ゲシ而シテ涙ヲ以テ泣テ彼レノ「スミッソス」命ヲ救ウベク蠻民ニ請求セシ。彼女ハポーハタンノ娘ア而シテ全種族ノ寵愛者デアリシ。スミッソスハ彼レノ玩弄物ヲ作ル。而シテ自然ノ奇異ナル。ニ就キテ彼女ニ語ル。ニ依ツテ彼レノ幽囚ノ間彼女ヲ樂マセシ。彼女ハ此外國人ニ就テ好シナリシ面シテ今彼レヲ救ウベク試ミシ。

(7) ボカホントスノ涙ニ依リテ感動サレテ印度人が甲比丹スミッソスヲ免

(1) whole region 全地

(7) go back at the risk of by night
(8) on the point of leaving new comers gold dust
斷サシテ 夜中 將サニ 出立セントシテ 新來者 砂金

スミツス之捕虜

千六百〇八年

四十八

セシ。彼等ハ加之親切ニ彼レヲ取扱ヒシ而シテ彼レヲシテ友愛ノ約
束ヲ以テゼームスタウンニマデ歸ラシメシ。ボカホンタスハ英人ノ
確實ナル朋友ト續キシ。彼女ガ數々彼等ノ欠乏ヲ救助スルベク殺物
ノ籠ヲ持來リツ、彼等ヲ訪問セシ。嘗テ印度人ガ全ク白人ヲ襲ヒ且
ツ殺スベク隠謀ヲ成シタリシ時ニ彼女ガ彼女自身ノ生命ヲ冒シテ
夜中森ヲ通シテ來タリ而シテ彼等ノ守衛ニ於テアルベク居ルヨリ
等ニ警メシ

(8) ゼームスタウンニマデ彼レノ歸リニ於テスミツスが四十人ニ減ゼラ
レテ殖民ヲ見出セシ而シテ此等ハ失望ニ於テ將サニ出立セントシ
テアリシ。彼レガ彼等ヲ留マテシメシ而シテ其後間モナクニューポ
トガ新シキ殖民及ビ供給ヲ以テ到達セシ。新來者ノ或ル者ガ鍛冶工
デアリシ。而シテ町ニ近ク或ル輝ク所ノ砂ヲ見テ彼等ハ其レガ砂
金デアラネバナラヌト推亮セシ。ニューポトハ此價值ナキ砂ヲ以テ

彼レノ船ニ積荷シ而シテ英倫ニマデ其レヲ運ブベク充分愚デアリ

第十章

ヴァージニア殖民地

(1) 穿鑿サレタルサビーク灣 スミツスハ怠惰ニ止リ能ハザリシ。

千六百八年ニ於テ彼レガ蓋ヒナキ小舟ニ於テ發見ノ航海ニ於テ出
立セシ。彼レガチエサビーク灣及ビ其レニマデ流レル所ノ多クノ大川
ヲ穿鑿セシ。彼レガ印度人ト貿易セシ而シテ彼レガ見舞ヒシ全地ノ
地圖ヲ作りシ。彼レノ歸リノ後間モナクニューポトガ再ビ尙多クノ
殖民者ヲ以テ到達セシ。然レモ彼等ハ烈シク働クベク慣レテアラザ
リシ。其故ニ彼等ガ甚ダ僅少ノ裨益ヲ殖民地ニナセシ

(2) 此後直テニロード名ラウアイガヴァージニアノ太守ニ命ゼラレシ而
シテ九艘ノ船舶ガ供給及ビ人ヲ以テ遣リ出サレシ船ノ大概ハ七一

●ヴァージニア殖民地

●千六百〇八年

四十九

ムスタウンニ無難ニ着セシ然レモ組ノ首領チ有テシ所ノ一ガ破艦
 サレシ而シテ彼等ガ殖民地ニ達セシ前其レガ數月アアリシ。其間スミ
 ヲスハ事務ヲ執行スルベク強ク働キタリシ。最終ニ着シタリシ所ノ其
 等ハ怠惰アリ且喧囂ニアリシ而シテ彼レハ彼等チ支配スベキ一ノ權
 利チ有タザリシト云ヒシ

(3) 飢饉時

其所ニ又餓死スルコトノ危難ガアリシ。英人ノ増加スル所
 ノ數ニ依ツテ驚カサレタルポーハタンハ彼レガ使用スルベク一ノ
 穀物チ有タザリシト云ヒシ而シテ何程ニテモ彼等ニ或ル物チ與ヘ
 又ハ買ラヌデアラウ。然レモスミスハ此レヨリモ尙能ク知リシ。其故
 ニ彼レト共ニ或ル大ナル青キ飾玉チ携ヘテ彼レハポーハタンチ見
 ルベク行キシ。恰モ偶然ニ出デタルカハ如ク彼等チ示シテ彼レハ彼
 レノ國ニ於テハ王ノ外誰モカスノ如キ飾リ物チ着ケルベク許サレザ
 リシコト酋長ニ語リシ。ポーハタンガ此レヲ聞キシ時ニ彼レハ喜シ

(2) order about 支配ス
 (8) by accident 偶然

ヤ否ヤ 萬事
 最早 促セシ
 滅ボサレ

(4) No sooner.....than
 every thing
 any more
 called on
 cut off

テ飾玉ノ僅少ニ向ツテ穀物ノ數百「ブッシュ」チ與ヘシ。他ノ時彼レガ
 少サキ銅ノ鑊カウチニ向ツテ穀物ノ殆ト百「ブッシュ」チ與ヘシ。汝ハ彼レ
 ノ國人ノ生命チ救フ爲メデスラ此方法ニ於テ純樸ナル印度人チ欺
 クコト其レハスミスニ取リテハ正シアリシト考ヘナスカ

(4) 總テ此等ノ困難ニモ拘ラズ甲比丹スミスハ彼レガ火藥ノ爆裂ニ依
 テ害セラレシマアハ好ク殖民地チ管理セシ。其後彼レハ英倫ニマア
 歸ラヌハナラナシ。彼レガ去ツテアリシヤ否ヤ万事ハ惡シクナリ
 シ。殖民者ハ最早働クチ欲セザリシ併シ穀物チ以テ供給シテ彼ラチ
 保ツベク印度人チ促セシ。印度人ガ拒ミシ而シテ白哲人チ殺スベク
 一緒ニ與ミセシ。多クノ小サキ組ガ滅ボサレシ。殖民ノ或ル者ハ船チ
 奪ヒ而シテ航シ去リシ。殘餘ガ大抵飢餓ニ就テ死セシ。此期限ガ久シ
 シ飢饉時トシテ記憶サレシ

(5) 人及ビ粮食ヲ以テ勞徳ロイデ名ナメアラウア一彼レ躬ヲノ到着ノミガ殖民地チ

(6) Thus far come over Young woman bringins over (7) give up
 是迄ハ 渡來スル 少婦 連來ルノ 交ス

救ヒシ。アラヴァー及ビ彼レノ相續者トノ下ニヴァージニアガ繁榮セシ。家畜及ビ豚ガ歐羅巴カラ引入サレシ。煙草ガ耕サレ而シテ英倫ニマデ輸出サレシ。貨幣ガ稀レデアリシ故ニ煙草ガ錢ノ代リニ通リシ。是レマデハ甚ダ僅カノ婦女ガ亞米利加ニ渡來シタリシ。千六百十九年ニ於テ殖民チシテ彼等ノ新國ニ着住シムル爲ニ倫敦會社ガ九十人ノ少婦ヲ遣リシ。是等ハ直チニ彼ヲチニ連來ルノ費用トシテ一人ニテ煙草ノ百磅ヲ與ヘシ所ノ殖民ニマデ嫁セラレシ。翌年尙多クガ遣出サレシ。其處ニ直ニヴァージニアノ豊饒ナル郊野ニ於テ多クノ愉快ナル住家ガアリシ。恐クハ汝等ハボカホンタスガ如何ニナリシカチ知ルチチ好ムデアラウ。此愛スベキ印度ノ女子ガ殆ント十八年齒ノ時英人ノ仲間ノ手中ニ拐勾レシ。彼等ハボイハタンガ彼女ヲ償ウデアラウニアラサレシ。彼女ヲ交ストテ拒ミシ。此レチ

(8) in the Land Among others old friend
 國中ノ 就中 舊友

(8) ルアルフガ其後英倫ニマデ彼レノ妻ヲ携ヘシ。彼女ガ多クノ好意ヲ以テ迎接サレシ。室ガ王宮ニ於テ彼女ニ與ヘラレシ而シテ國中ノ最モ貴キ人ガ彼女ヲ見ルベク集リシ。就中其人ノ生命ヲ彼女ガ救ウタリシ所ハ、彼ノ女ノ舊友ナル甲比丹スミスガ來リシ。總テガ彼女ノ閑雅ナル所行ヲ贊美セシ。然レハ英倫ノ氣候ガ彼女ニ向ツテ餘リ寒クアリシ。彼女ガ將ニヴァージニアニ歸ラントシテアリシ然ル時彼女ガ一人ノ息子ヲ遣シテ死セシ。多クノヴァージニアノ家族等ハ此印度人ノ

王女ニマア彼等ノ子孫ヲ淵源スル「ヴァーニア」人ノ大祖ハ此

(9) ポーハタンガ國ヲ觀而シテ如何ニ多クノ人民ガ其處ニアリシカハ見出スタメニボカホンタスト共ニ彼レノ戰士ノ一人ヲ遣リシ。彼等ガ英倫ニ達セシ時ニ此印度人ガ彼レハ見シ各々ノ人ニ向ツテ其ノ上ニ切目ヲ作スコニ由テ住民ヲ數ヘ得ント思ウテ長キ棒ヲ得シ。彼レガ速カニ止メネバナラナシ。彼レノ歸國ニ於テポーハタンガ彼レニ多クノ尋問ヲ問ヒシ而シテ就中如何ニ多クノ人民ヲ彼レガ英倫ニ於テ見タリシカハ問ヒシ。空ニ於テノ星樹木ニ於テノ葉若クハ濱ニ於ケル砂ヲ算セヨ如何トナレバ斯ノ如キモノガ英人ノ數デアル故ニト彼ガ應ヘシ

第十一章

和蘭人殖民地

ヘンリー、ホドソン

(1) ホドソン河ノ發見

次回ノ殖民ガ蘭人ニ依ツテ今新約克ノ州

見出ス
就中

(9) find out
among the rest

探索
マデ
轉向シ

(2) Search of
as far as
turning back

アル所ノ者ノ中ニ作サレシ。此國民ハ東印度ト廣大ニ貿易セシ。彼等ハ其處ヘノ航海ハ若シモ路ガ大西洋ヨリ亞米利加ノ北太平洋ニマテ發見サレ能ヒシナラハ多ク近クセラル。デアラウヲ考ヘシ。其故ニ彼等ハ北西ノ路ヲ發見スル爲ニヘンリー、ホドソント呼バレタル航海師ヲ派遣セシ

(2) 汝ガ記憶スル如ク新約克ニ於ケル主要ナル河ハホドソンデアアル。其レハ其レヲ發見セシ所ノ此ノ全シキ航海師ヨリ左様ニ命名サレテアル。メイン合衆聯邦ノ海岸ニ近接シテホドソンハ彼レガ搜索ニ於テ在リシ通路ヲ發見スルヲナシニヴァージニアマデ南ニ航行セシ。其時ニ轉向シ而シテ細カニ海岸ヲ吟味シテ彼レハニュー、シャーシー及ヒロング、アイランドノ中間ナル入江ヲ發見セシ。彼レハ其レニ入込ヨシ而シテ速カニ今新約克ノ貴重スベキ港デアアル所ノ者ニ於テ彼躬ヲ見出セシ

- (5) handed back 返却スル
- no matter 拘ラス
- (6) getting drunk 酔ハサル、フ

- (3) in part coming up make out far and near called together
- (4) great feast

命ハ
來リツ、ハ
定スル
遠近
呼集
盛

(3) 島其レノ上ニ半ヤ新約克ノ市府ガ在ル處ノ島ガマンハッタント呼ハ
ル、此レガ島上ノ町ヲ意味スル所ノ印度語デアル、ホドソンノ船ガ
灣ニ來リツ、アリシ時ニ漁リシテアリシ所ノ或ル印度人ガ遠方ニ
於テ其レヲ見シ而シテ其レガ何デアリシカチ、盛定シ能ハザリシ。彼
等ガ遠近ヨリ彼等ノ夥伴ヲ呼ビ集メシ而シテ其レガ近寄りシ時ニ
奇怪ナル物ヲ見張リシ。或者ハ其レガ浮ブ所ノ小屋デアリシト考ヘ
シ他者ハ其レガ大ナル魚デアリシト考ヘシ。終ニ彼等ハ其レガ時
ニ彼等ヲ訪候ハントシテアリシ所ノ「マントー」即チ神ヲ保ツ所ノ大
ナル船デアリシト決定セシ

(4) 盛定ガ準備サレシ而シテ酋長ハ大ナル跳躍ニ於テ從事セシ。終ニ船
ガ止リ端舟ガ卸ロサレシ而シテ赤色ニ於テ裝服サレテヘンリー、ホ
ドソンハ彼レノ人々ノ數多ヲ以テ其レニ入り込ミシ。今彼等ハ神ガ
來ツテアリシト確信シテアリシ而シテ彼ヲ迎ウル爲ニ圖ヲ作りシ

(5) ホドソンガ陸ニ達セシ時ニ彼レハ土民ニ挨拶セシ而シテ其後飲料
ノ一瓶ヲ出セシ。彼レ自身ニ一杯ヲ飲ムトノ後彼レガ他ノ者一杯ヲ
注ギ出セシ而シテ其レヲ最近ノ酋長ニ授ケシ。其レヲ飲ムトチ恐レ
テ印度人ハ唯飲料ヲ嗅ギシ而シテ其レヲ次ギノ者其人ハ同様ニナ
セシ處ハ次ギノ者ニ迄讓リシ。斯クノ如クシテ盃ハ全キ圖ヲ周リ過
ギシ而シテ將サニ味ハレズニ返却サレシトシテアリシ其時酋長ノ一
人ハ神ガ忿怒シテアルデアラウトチ恐懼シテ其レヲ取リシ而シテ
彼レハ結果ハ如何デアリ得シカニ拘ラズ其レヲ飲ムデアラウト云ヒシ
(6) 彼レガ盃ヲ飲干セシヤ否ヤ彼レハ踰限スルメク始メシ而シテ終ニ
彼レハ地ニ倒レシ。彼レノ朋友ハ彼レガ死シテアリシト考ヘシ。然レ
且彼レハ直チニ再ビ起上リシ而シテ彼レハ決シテ以前ニ其様ニ幸
ニ感シナンダリシト云ヒシ。彼等ガ全ク今驚クベキ「火水」酒ヲ試ム
ルトチ欲シテアリシ而シテ其レガ全ク土民ノ酔ハサル、トニ於テ

- (9) followed up 續ギ
put up 處テ
(10) millions upon millions 數百萬
whole island 全島

- (7) tobacco-pouches 煙艸入
(8) no farther 更ハヤ
sailed up 溯リシ
icy water 氷水
(9) trading-vessels 商船

終リ翌日ホドソンガ彼等ノ新シキ朋友ノ間ニ或ル飾玉鞆及ビ斧頭ヲ分與セシ。彼等ハ此等ノ贈物ヲ以テ悦ハサレシ然レモ如何ニ彼等ヲ用ユルベキカヲ知リナサトリシ。蘭人カ此地ヲ訪候シ次ギノ時ニ彼等ハ印度人ガ鞆ヲ煙艸入ニ變シタリシ而シテ重キ斧頭ヲ飾具トシテ彼等ノ頸ノ周圍ニ掛ケシヲ見シ

(8) ホドソンハ彼ガ最早行キ能ハザリシ程左様ニ其レガ淺クナリシマデ河ヲ溯リシ。彼レノ端舟ノ一ツハアルヴアニー「ホドソン」河ノ上流新ガ約克州ノ東部ニアリ現時在ル所ヲ越テ上リシ。多クノ土民種屬ト親懇ナル交際ヲ保ツノ後彼レガ再ビ河口ニマデ降り航セシ而シテ其處ヨリ彼レノ發見ノ物語ヲ與ウル爲ニ歐羅巴ニマデ歸國セシ。翌年彼レガ他ノ航海ヲ爲セシ。尙遙カ北ニ航シテ彼レガホドソン灣ヲ發見セシ然レモ其レノ氷水ニ於テ彼レノ生命ヲ失ヒシ

(9) ニコ(新)ネザラノド 蘭人ハ彼ガ訪候タリシ地方ニマデ商船

ヲ派出スルコトニ依ツテホドソンノ發見ヲ續ギシ。彼等ガ飾リ玉、小刀、及ビ鉞等ノ代リニ交易ニ於テ印度人ヨリ海狸ノ皮及ビ他ノ毛皮ノ大ナル分量ヲ得シ。此レハ皆ガ貿易者ヲ保護スル爲ニ各々ノ場所ニ於テ建設サレシ一程左様ニ有益ニ見出サレシ。此等ノ一ガ千六百十年中マンハタン島ニ於テ建テラレシ。僅少ノ小屋ガ其レノ周圍ニ建テラレシ而シテニコ(新)アムステルダムノ名ガ殖民地ニマデ與ヘラレシ。斯ノ如キ者ガ新約克ノ大市府ノ根原アリシ。全キ土地ガ蘭人ニ依テニコ(新)ネザラノドト稱セラレシ

(10) 和蘭人ハ温靜ナル正直ノ人民デアリシ。彼等ハ彼等ノ煙管ヲ吹カスコトヲ好ミシ而シテ彼等ガ支へ能ヒシヨリハ最早語ヲザリシ。彼等ガ善キ利潤ヲ爲セシ而シテ甚ダ廉ク其レヲ得シトハ雖モ彼等ノ土地ニ向ツテ印度人ニ拂ヒシ價ハ廉ナリシモ代金ヲ拂ツテ。今數百萬ヲ値ヒシヲマシハタンノ全島ガ彼等ニ唯廿四弗ヲ値ヒセシ。錢貨ガ土民トノ貿易ニ

蔓延セシ
購アルハ

(10) spread out
(1) spoken of

●ビルクリアム、フアーツアイス ●千六百二十年 六十一

依テ作サル、メシアリヤ何處ヲモ彼等ガ堡壘ヲ建テシ而シテ彼レ
ノ商人ガ直チニロツググアイランド、スターテン、アイランド及ビニュー
イヤーク、ノ上ニ蔓延セシ。然レモ蕃族ガニューネセルランドニ住スル
爲ニ渡海セシイノ其レハ千六百二十一年マデハ在ラザリシ

第十六章

ビルクリアム、フアーツアイス

(1) ^{ニューイングランド}新英蘭ノ殖民地 甲比丹シヨ、ン、スツミスガ彼レノ穿鑿ノ航海ノ

ニ於テ今メイソ及ビマサチューセツツ 共ニ合衆國
邦ノ一ナリ デアル所ノ者ノ海岸ヲ
點檢セシ。此北方ノ土地ニマデ彼レガ新英蘭ノ名ヲ與ヘシ、其レガ展
々ビルクリアム、フアーツアイトシテ語ラル、所ノ英蘭ヨリノ組ニ依リテ
千六百二十年ニ於テ初テ永久ニ殖民サレシ、彼等ハ彼等ガ彼等自身
ノ風習ニ於テ神ヲ崇拜スルベク願ヒシ故ニ英蘭ニ於テ惡シク取扱
ハレシ所ノビューリタンスト稱セラレタル宗派ニマデ屬セシ

好地

(8) good place

●ビルクリアム、フアーツアイス ●千六百二十年 六十一

(2) ビューリタン宗家族ノ群ガ彼等ハ彼等ノ宗教ヲ惱マサレズニ享ク
得ノコノ爲ニ亞米利加ニ移住スルコトニ決セシ。一百人ガメイフ
ウアード呼バレタル小サキ船ニ於テ乗組ミシ。彼等ハホドソン河ノ近
傍ニ殖民スルコト志セシ然レモ長キ且ツ暴レ多キ航海ガマサチュー
セツ州ノ海岸ニ於テコッド岬ノ寂寥タル海濱ニマデ彼等ヲ携ヘ來リシ
(3) 組ガ海岸ヲ穿鑿スルベク遣出サレシ。彼等ハ或ル印度人ノ墳墓及ビ
穀物ノ小サキ堆物ノ外何物モ見出サトリシ。地ガ雪ヲ以テ蔽ハレテ
アリシ而シテ數多ハ酷シキ感冒ヲ引キシ其レヨリシテ彼等ガ其後
死セシ。然ル時端舟ガ海岸ヲ沿ウテ航行シ而シテ上陸スルコトニ付テ
ノ好地ヲ發見スルベク重立タル人ノ或者ヲ以テ派遣サレシ
(4) 僅少ナル夥伴ガ酷シク寒ク其レヲ見出セシ。水烟ガ彼等ノ上衣ニ於
テ凍リシ而シテ恰モ彼等ガ鋼鐵ノ者デアツタリシカハ、如ク左様ニ
硬ク且ツ輝キテ彼等ヲナセシ。嘗テ彼等ガ上陸シタリシ時ニ或ル印

度人が倭ニ來リシ而シテ恐怖ロシキ^{ホトコシ} 吠聲ヲ揚ケテ彼等ニ矢ノ連射^{ライイ}ヲ爲セシ。然レハ旅人ノ小銃ノ響キガ直チニ蠻民ヲ遁走ニマデ置キシ。彼等ノ航海ヲ更メテ彼等ハ烈シキ暴風ニ依テ追趕サレシ而シテ殆ンド破船サレシ。然レハ彼等ガ島上ニ避所ヲ發見セシ。其處ニ近隣ノ本洲ニ於テ好良ナル港ガアリシ、而シテ國ハ彼等ガ以前ニ見タリシ何レヨリモ尙豐饒ニアルベク見ヘシ故ニ彼等ガ其處ニ上陸スルヲニ決定シ而シテ「メニフラウアー」ニ於ケル彼等ノ夥伴ニ使テ遣リシ⁽⁵⁾「ピルグリムス」ノ上陸ハ千六百二十年十二月廿一日ニ於テ起リシ。此日ハ新英倫ノ人民ニ依ツテ尙ホ祝ハル、彼等ハ彼等ガ發見セシ其場處ニマデプリムースノ名ヲ與ヘシ。其レハマサチューセツ州ノ東方海岸ニ於テアル。此處ニ汝ハ「プリムース」岩ノ上ニ立ツ處ノ美ナル石^ノ「カノバイ」^{ゴジック}（^{寫形門ノ上部突出ノ所ニ彫刻ヲ}）ノ繪ヲ持ツ^{欲シタル石ノ飾物ナリ原書圖ノ中央ヲ見ヨ}

⁽⁶⁾「ピルグリム」ハ直チニ小舎ヲ建築スルヲ始メシ。然レハ彼等ハ數多

吠聲
近隣ノ
使テ遣リシ
起リシ

(4) war-whoop
near by
send for
(5) took place

一時ハ
追ツテ
始リシ
路ニ
無益ニ
加フル
間モ

(6) at one time
(7) near at hand
to add
get in
way back
(8) in vain
before long

ガ病氣ニ付テアリシ程左様ニ多ク現出サレタリシ。彼等ノ群ノ六人ガ十二月ニ於テ死セシ而シテ一時ハ殖民地ニ於テノ殆ンド各人が病牀ノ上ニ據ガリテアリシ。然レハ彼等ハ剛キ志想ヲ有テシ而シテ眞神ニ於テ彼等ノ信用ヲ置キシ

⁽⁷⁾「ピルグリムス」ノ家ハ粗ナル木材ニ就テ建テラレテアリシ。彼等ハ長キ草其レヲ以テ彼等ノ屋根ヲ掩ウベキ所ノ長キ草ノ外何物モアテザリシ。一月ニ於テ或ル夜ブラウン及ビグリーンマンナル組ノ二人ガ此草ノ若干ヲ採ル爲ニ森林ニマデ行キシ。彼等ノ歸リニ於テ彼等ガ彼等ノ途ヲ失ヒシ。夜ガ追ツテアリシ而シテ彼等ノ困難ニ加フルニ酷シキ雪嵐ガ始リシ^{アイヌストム}

⁽⁸⁾彼等ノ歸路ヲ無益ニ試ムルノ後彼等ガ大ナル岩石ノ避所ノ下ニ坐セシ而シテ其所ニ夜ヲ消過スルヲニ準備セシ。然レハ間モナク風ガ枝ニ於テ鳴ルヲ始メシ而シテ彼等ノ恐怖ニ於テ彼等ハ其レガ

●病氣及ヒ死亡

●千六百二十年

六十三

- (1) got better 全快セシ
 (2) through the winter 冬間

- (8) cold winter came down round and round 寒風降り々々テ
 (9) walking fast for lost given up 周急歩シテ放棄スル

獅子ノ唸聲デアリシト思考セシ。彼等ハ其處ニ亞米利加ニ於テ一ノ獅子ガアラザリシヲ知ラザリシ而シテ安全ノ爲ニ樹木ニ登リシ。然レモ其處ニ彼等ハ衣服ヲ透入シ而シテ彼等チシテ震慄セシ。シメシ所ノ寒風ニマデ發露サレシ。彼等ハ彼等ガ運動ニ於テ續ケシコアラズンバ凍ヘルデアラウヲ發見シテ彼等ガ樹木ヨリ降りシ而シテ晨明マデ彼等ガ能ヒシダケ左様ニ速カニ其レヲ周リ々々テ歩ミシ

(9) 朝ガ現ハレシ時ニ二人ノ迷路者ガ悦ンデアリシ。彼等ハ彼等ノ路ヲ求ムルコニ於テ一ノ時ヲ失ハザリシ而シテ終日急歩シ或ハ駈ルヲノ後彼等ハ夕方ニ於テプリムースニ達スルコニ於テ成功セシ。彼等ノ夥伴ハ功ナク彼レニ向ツテ搜索シテ亡失セシトシテ彼等ヲ放棄シタリシ而シテ彼等ガ印度人ノ爲ニ殺サレタカ或ハ連レ歸ラレタリシト想像セシ。プラウン及ヒグロッドマンハ獅子ノ唸ルコ及ヒ森林

ニ於テノ其ノ凍ヘル所ノ夜ヲ久シク記憶シナセシ

第十三章

プリムースノ殖民地

(1) 冬ハ「ビルグリス」ニ付テ充分悲シクアリシ。彼ラガ困難及ビ疾病ヨリ多ク苦ミシ。四月迄ニ半バ彼等ノ群ガ死シタリシ。然レモ氣候ガ今溫和ニナリシ。鳥ガ見レルベク始メシ。野ガ緑クナリシ。病者ガ直チニ全快セシ

(2) 土民ニ依ツテ厚待サレシ。プリムースノ周圍ノ州ハ縦金「ビルグリス」ガ其處ニ住セシ時ニハ荒レ果タリト雖モ以前ニ殖民サレタノ徵候ヲ示セシ。煙烟ガ冬間數度遙カ離レテ見ラレシ而シテ夥伴ガ印度人其レノ火ヨリ其レガ來リシ所ハ印度人ヲ見出シ而シテ彼等ト親懇ナル交際ヲ開クマシ。派遣サレシ。彼等ガ成功シナサトリシ。然レモ春ニ於テ早く一人ノ印度人ガ市街ニ入來リシ。殖民ハ彼レガ近

- (4) whole tribe swept off broke out hostile nation 全種族 盡セシ 起リシ 敵國民
- (5) soon after 間マナク

然レハ彼等ハ彼レテ 嘖笑セシ而シテ彼等ハ彼等ノ神ガ彼等ノ如キ
 左様ニ權力アル種族ヲ滅亡シ能ヒシヲ想像セシカチ問ヒシ。彼レ
 ハ若シモ神ガ彼等ヲ亡ホスベク要セシナラバ彼神ガ容易ク方法ヲ
 見出スデアラウヲ答ヘシ。此後間モナク殆ント全種族ヲ盡クセシ
 所ノ恐ロシキ病ガ起リシ。残りシ處ノ僅少ハ敵國民ニ依ツテ殺戮サ
 レシ。此レハ「ビルグリム」ガ何故ニ左様ニ多クノ墳墓ヲ見タリシ然レ
 一ノ生活スル所ノ印度人ヲ見ナンダリシガハ道理デアリシ
 (5) 印度人トノ條約 「ビルグリムス」ガサモセツトチ懇切ニ遇セシ而シ
 テ間モナクマッサソイトナル彼レノ酋長ガ訪問チ彼等ニ致スベク來
 リシ。彼等ハ大ナル尊敬ヲ以テマッサソイトチ迎ヘシ。彼等ガニツノ小
 刀及ビ銅製ノ鎖リヲ彼レニ贈リシ而シテ強キ水酒ヲ一瓶及ヒ若
 干ノ重坑餅ト牛酪ヲ彼レノ兄弟ニ贈リシ。條約ガナサレシ而シテ
 マッサソイト及ビ彼レノ種族ガ始終白人ノ親實ナル朋友ト殘リシ

●プリムス種族

●千六百二十一年

六十七

- (8) several year before swept off 數年前 盡クサレ
- (4) went.....on board Great Spirit 乗上ゲシ 船中 神

ヨリシ時ニ好ク御出ナサレタ英人ヨト云ウ彼レチ聞クベク驚異サ
 レシ。彼レハ前ノ渡航者ヨリ些少ノ英語ヲ學ビタリシ
 (3) 此ノ印度人ノ名ハサモセツトデアリシ。彼レハ彼レガ殆ント五日ノ旅
 程離レテ住ミシ旅路五日程カハル所ニ所ノ種族ニマデ屬セシヲ白人ニ語
 リシ。彼等ハ彼等ガ其處ニ其他其レチ問ウベキ何人モアラザリシ故
 ニ彼等ガ住ダリシ所ノ陸土ニマデ好ク來テアリシ此章句及後一何ノ終ニハ前章句ノ終末ニ
 アル如ク「白人ニ語リシ」。數年前其處ニ住ダリシ處ノ印度人ガ疫病ニ依ッ
 テ盡クサレタリシ。此ノ疫病ニ付キ奇妙ナル譚シガ語タラル、
 (4) 「ビルグリム」ガ上陸セシ數年前佛船ガコマド岬ノ海濱ニ乘リ上ゲシ
 而シテ印度人ガ殘酷ニモ彼女ノ船中ノ殆ント總テチ死ニマデ置キ
 シ。援ケヌレシ所ノ佛人ノ一ガ俘虜トシテ印度人ト共ニ或ル時殘リ
 シ。一日彼ハ神ガ彼レノ國人ヲ殺シタコニ付彼等チ罰スルデアラウ
 而シテ他者ニマデ彼等ノ陸土ヲ授ケルデアラウヲチ彼等ニ語リシ

●サモセツト之訪問

●千六百二十一年

六十六

- (6) medicine-men 醫者
- turning out 逐出シテ
- (7) put up ダテシ

(6) ビルグリムスノ二人が其後直チニマッサノイトノ訪問ニ應ヘシ。彼等ハ甚ダ病ヲ會長チ見出セシ。而シテ恐ロシキ喧噪及ビ愚昧ナル蹟リチ以テ彼レヲ療治スルヲ力ムル所ノ彼レノ醫者チ見出セシ。小舎ヨリ彼等チ逐出シテ英國人ノ一人ガ或ル單ナル療治ヲ會長ニ與ヘシ。而シテ彼レヲ健康ニ復セシ。彼レハ決シテ彼レノ親切ヲ忘レザリシ。

(7) 然リト雖ヒ總テノ印度人ガ左様ニ親切ニアラザリシ。マッサノイトト戦争ニ於テアリシ所ノ種族ガ響尾蛇ノ皮ニ於テ包マレタル矢ノ一束チ「ビルグリムス」ニマダ送リシ。此レガ戦争ヲ布告スル彼等ノ法デアリシ。ビュリタン人ノ太守ガ火藥及ビ彈丸ヲ以テ充滿シタル皮ヲ送リ回セシ。印度人ハ彈丸ガ魔物デアリシト思ヒシ。而シテ彼等ハ白人チシテ其儘ニアラシメルベク決定セシ。程左様ニ驚カサレテアリシ。然レヒ「ビルグリム」ガ攻撃ヲ欲シテ彼レノ殖民地ノ周圍ニ棧ノ列即チ彼等ガ稱セラレシニ從ヘバ柵ヲ建テシ。

(8) 或ル時ノ間「ビルグリムス」ガ特ニ飢餓ヨリ苦シムベク續キシ。彼等ガ彼等ニ供スルメク充分産出シ能ハザリシ。其處ニ灣ニ於テ魚ガアリシ。然レヒ彼等ガ一ノ端舟又ハ網其レチ以テ彼等チ獲ル可キ處ノ一端舟又ハ網ヲ持タザリシ。彼等ノ到達ノ二年後マダ彼等ガ數々朝ニ向ツテ食物ノ一片モナシニ夜ニ於テ寢所ニ往キシ。若シモ彼レノ舊友ノ僅少ガ彼等ニ加入セシナラハ水ノ一椀ノ外或ル麵包或ハ其他何物モナシニ海蝦或ハ魚ノ一尾ハ彼等ガ彼等ニ與ヘル爲ニ有セシ。總テトアリシ。

(9) 然レヒ三四年ニ於テ事物ガ尙好クアリシ。各ノ殖民ガ陸ニ付テ彼レ躬ラノ土地チ有セシ。彼等ガ酷シク勞働セシ。而シテ穀物ガ夥量ニ産出サレシ。彼等自身ノ信者ノ尙多クガ英倫ヨリ渡來セシ。千六百三十年ニ於テ彼等ノ數ガ三百マダ増加シタリシ。此時ヨリ殖民地ガ繁盛セシ。

第十四章

●ブリスベス殖民地

●千六百二十一年

他ノ新英倫ノ殖民地

(1) マサチューセッツ州 千六百三十年ニ於テ英蘭ビューリタン宗徒ノ大ナル組ガプリムースノ北西マサチューセッツ州ニ於テノ陸ノ賜ヲ得テ渡來セシ而シテカムブリッヂ、波士頓及ビ他ノ場所ヲ建テシ。彼等ガマサチューセッツ州殖民地ト呼バレシ所ノ者ヲ組成セシ。縱令此等ノ殖民ハ自餘ノ如ク最初ニ寒氣及ビ飢餓ヨリ多ク苦シミシト雖モ、彼等ガ直チニ繁盛スルベク始メシ製造場ガ建テラレシ而シテ貿易ガ他ノ殖民地ト始リシ。汝ハ記憶スル如ク波士頓ハ今マサチューセッツ州首府ナリ且ツ新英蘭中ノ最大ナル市府デアアル。前頁ニ於テマサチューセッツ州東部ノ地圖ガアル。汝ガゴッド岬、プリムース、波士頓サレムヲ見出シ能ウカチ見ヨ

(2) ロードアイランド サレム 波士頓ノ人民ハロードアイランドノ東部ニ於テ呼バレタル年少ノ宣教師ヲ持チシ。彼レノ信仰ガ他ノビューリタン宗

(1) came across 渡來セシ preceding page 前頁

(8) More than 以上

(3) 彼等ノ企計ニ付テ聞キテロードアイランドガ「ウヰリアムスガサレムヨリ荒地ニマデ遁ケシ。彼レハ彼ガ自由其レハ「ビューリタン」宗徒ガ彼レニ否ミシ所ハ其ノ自由ヲ以テ受ケ能ヒシ所ノ或ル場所ヲ見出ストニ決定セシ。三月以上彼レハ麵包並ニ寢所モナシニ雪及ビ雨ノ中ニ遍歴セシ。終ニ彼レハ彼レガ親切ニ迎ヘラレシ所ノ或ル印度人ノ小舎ニ達セシ。彼レハナラガンセツト灣ニ於ケル土地ヲ印度人ヨリ買ヒシ而シテ殖民地ヲ始メシ。神ノ恩惠ヲ感謝シテ彼レハ此場所ヲアル「ウヰリアムス」ト呼ビシ。四十七頁ノ地圖ニ於テロードアイランドニ於ケル第一ノ殖

法教師ノ其レトハ稍々異リテアリシ。然レモ彼レハ彼レガ彼レ自身ノ方法ニ於テ禮拜スルベク而シテ彼レハ經典ノ真理デアリシヲ思惟セシ所ノ者ヲ説教スルベク權ヲ有セシヨリ主張セシ。然レモ此レチマサチューセッツ州ノ人民ガ容サスデアラウ、而シテ其故ニ彼等ハ彼レチ英倫ニ遣リ返ストニ決定セシ

民地タルアルオヴサデンヌヲ指シ示セ

(4) 其處ニ印度人が平和ノ島ト呼ビシ所ノナラガンセット灣ニ於テノ美ナル島ガアル。アルオヴサデンヌガ建テラレシ後間モナクマサチューセツ灣ノ「ビューリタン」宗徒ト困難ヲ持テシ所ノ他ノ夥伴ガ印度人ヨリ此島ヲ買ヒシ而シテ其レノ上ニ住ヒシ。彼等ガルオーツノ島ト其レヲ呼ビシ。其レノ南方海濱ニ近ク今ルオード、アイランドノ首府ノ一ナルニューボートノ市府ガ建テラレシ

(5) ニューボートノ市府ガ建テラレシ
ハムプシアノ州デアアル所ノ者ノ中ニナサレシ。貿易及ビ漁場ノ數多ガ其後其處ニ建テラレシ。此等ノ殖民地ハ彼等自身ノ要求ニ依ツテマサチューセツ灣殖民地ニマテ受取ラレシ。然レモ約ソ四十年後ニ彼等ガニューハムプシアノ名義ニテ大不列顛ノ王ニ依テ別ノ州ニマテ組成サレシ

指示ス
漁場

(4) point out
(5) fishing post

(6) コンネチカット州
味スル如ク長河ガニューアムステルダムノ和蘭人ニ依ツテ發見サレシ。彼等ハハートフホート「コンネチカット州」ノ上流ノ堤上ニアリガ今在ル所ニ堡砦ヲ建テシ而シ

テ印度人ト有益ナル貿易ヲ開キシ。然レモ一時ノ後プリムリス及ビマサチューセツ灣ノ人民ガ此ノ長キ河其レノ水ガ魚類ヲ以テ充滿シテアリシ所ハ而シテ其レノ堤ハ海狸及ビ水獺ニ於テ充テタル所ノ此ノ長キ河ニ付テ聞キシ。千六百三十三年ニ於テ一日蘭人ノ堡砦ニ於ケル商人ガ河ヲ溯リテ航シ來ル所ノ小サキ船ヲ見ルベク驚カサレシ。彼等ハ彼等躬ヲニ此ノ愉快ナル國ヲ保ツコトヲ要メシ。其故ニ大砲ニ裝藥シテ彼ヲハ船ヲ呼ビシ而シテ止マルベク然ラザレハ彼等ハ彼ニ於テ砲發スルデアラウト船長ニ語リシ

(7) 此小船ガ甲比丹ウリアム、ホールヌニマテ屬セシ。彼レガコンネチカットノ谷地ニ於テ殖民スルベクプリムリスヨリ來リタリシ而シテ

(6) fire on 砲發ス

- (1) through the winter 冬間
 (2) Moving along 進行ノテ

- (7) put up kept on in safety higher up fair valley sent over
 (8) last lesson
- スル
 建築ケ全流地越サレ
 線安上好谷地越サレ
 前

●千六百三十五年 七十四
 彼が上陸スル所アラウ所ニ建築スルベキ家屋ノ材木ヲ彼ト共ニ携
 へ。彼レカ和蘭人或ハ彼ノ大砲ニ付テ恐レテアラザリシ。其故ニ風
 ガ順風デアリシヨリ彼レガ彼等ノ脅迫ニ付テ何ノ注意モ取ラザリ
 シ然シ彼レノ進路ヲ續ケ。彼ガ安全ニ堡壘ヲ經過セシ而シテ今ウ
 シドソルト稱セラレタル場所ニ於テ數里尙上流ニ殖民セシ。汝ハ地
 圖ニ於テ其レヲ見ナスガ

(8) コンネチカットノ好谷地ニ係リテノ報告ニ付テ英蘭ニ到達スル
 ノ其レガ久シク取リナサ、リシ。大ナル貴族ガ其レノ賜物ヲ得シ而
 シテ殖民ノ一組ガ送り越サレシ。彼等ガ河ノ口ニ於テ堡壘ヲ建テシ
 而シテ其レヲセーブルト稱セシ

第十五章

コンネチカット ノコンソッドノ戦争
 マサチユセツヨリノ移民 余輩ガ前章ニ於テ學ビ如ク

●千六百三十五年 七十五
 ノネチカットガ最初ニ甲比丹ホームスニ依ツテウギンソルニ於テ
 永久ニ殖民サレシ。其後二年ニマサチユセツ灣ヨリノ一人ガ其處ニ
 殖民スルヲ決セシ。彼等ハ家畜モ又白人モ曾テ以前ニ旅シ過ギザ
 シ所ノ森ヲ經過シテ彼等ノ前ニ彼等ノ家畜ヲ逐ウテ陸ヲ越テ行
 キシ。然レハ彼等ガ餘リ遅ク出發セシ。河ハ彼等ガ達セシ前ニ凍リテ
 アリシ。彼等ノ家畜ハ死セシ而シテ彼等ガ冬間食物ノ缺乏ヨリ森
 ヲ貫キテ多ク悩ミシ

(2) 次ギノ夏大約百人ノ男女及ビ小兒等ノ他ノ組ガ波士頓ヨリコンネ
 チカットノ各地ニ向ヒ出立セシ。彼等ハ彼等ガ彼等ト共ニ携ヘシ所
 ノ彼等ノ牝牛ノ乳ニ付テ大概生活セシ。徐々ニ進行シテ彼等ガ現今
 録道ニ依リテ三四時間ニ成サレ能ウ所ノ旅行ヲ遂ゲルヲニ於テ殆
 ド二週日ヲアリシ。今ハ三四時間ニテ往ケル。彼等ガ無難ニ到着セシ而シ
 テハハートフォート及ビウエザーフールド 前者ノ建設セシ四十七頁ノ地

●千六百三十五年 七十五

圖ニ於テ此等ノ場所ヲ見出セ

(3) ベコッドトノ戦争

コソネテカットハ印度人ノ多クノ有力ナル

種族ニ依ツテ住居セラレシ。此等ノ中ニ今ハテームズ河ノ口ニ近キ州

ノ東南部デアアル所ノ者ノ中ニ住ミシ所ノ「ベコッド」名ナリガアリシ「ベコッ

ド」ハ彼等ノ愉快ナル獵場ニ蔓延スル白人ヲ見シ時ニ彼等ガ嫉妬ト

驚愕ヲ以テ充テテアリシ。而シテ白人ハ如何ニ印度人ガ感ゼシカヲ見

テ次第ニ彼等ヲ疑訝イナガリシ。此時ニ至ルマデ其處ニ白人及ビ印度人ト

ノ間ニ平和ガアツタリシ然レモ此疑念ガ間モナク戦争ヲ生ゼシ

(4) 一日一商人ガ岸邊ニ近ク航シテオルダムト呼バレタル殖民ノ一人

ニマデ屬セシヲ彼レガ知リシ所ノ端舟ヲ見シ。其レガ印度人ニテ充

テテアリシ而シテ彼レハ其處ニ不正ナル或ル事ガアリシヲ疑ヒシ。

其故ニ縦ヒ彼レガ彼レト共ニ唯二人ノ童兒ヲ持テト雖モ彼レハ

端舟ニ赴キシ。印度人ハ彼等ガ彼レヲ見シ時ニ驚キテアリシ而シテ

- (8) hunting grounds spreading over in turn Up to
- (4) made for

獵場
蔓延スル
次第ニ
至ルマデ
赴キシ

彼レガ近接セシ時ニ彼等ガ水ニマデ飛込ウヰンヒケンミシ。商人ガ船ニ乗入リシ而シテ漁網ノ下ニ彼レハ全ク寸斷サレ而シテ出血シタルダムノ体ヲ發見セシ

(5) 新英倫ノ人民ハ殺人者ヲ罰スルトニ決定セシ。人ノ一隊ガ「ベコッド」村ニ向ツテ出發セシ。印度人ガ逃走シタリシ然レモ其處ニ彼等ノ小舎及ビ穀畑ガアリシ。此等ニマデ放火シテ殖民ガ縱横ニ此地方ヲ蹂躪セシ。此レハ殘忍ナル復讐ニマデ「ベコッド」人ヲ惹起セシ。小キ隊ニ分レテ彼等ガ隔離シタル家々ヲ取圍ミ旅人ヲ斬リ彼等ガ野ニ於テ働キシ時ニ人ヲ射倒シ而シテ彼等自身ノ爐邊ニ於ケル婦人及ビ小兒等ヲ頭皮剝キシ。彼等ガ誰ヲモ助ケザリシ

(6) 英吉利殖民ノ總テヲ殺戮スルコトニ決定シテ「ベコッド」人ガ彼等ト結合スルベシ「ネラガンセツト」ナル他ノ種族ヲ誘フベシ試ミシ。波士頓ノ人民ガ是レニ付テ聞キシ時ニ彼等ガ大ニ驚キテアリシ。彼等ガ僅カ以

- (4) jumped over fishing-net
- (5) Setting for far and wide laid waste shot down

飛込ミシ
漁網
放火シテ
縱横ニ
蹂躪セシ
射斃シ

數日 打倒セシ

(6) several day
(7) shot down

前ニ逐出シタリシ所ノローガーヴリアムスガネラガンセツト人ニ依リ多ク愛セラレテアリシヲ知リテ彼等ハ「ペコッド」人ニ結合スルヲヨリ彼ノ朋友ヲ止メサスルモ彼ニ請願シテ彼ニマテ使ヲ遣セシ。此益アル人が彼等ノ音信ヲ受クルトニ於テ「ネラガンセツ」村落ニ向ツテ烈シキ暴風雨ニ於テ彼レノ制舟ニ獨リテ出立セシ。彼ガ既ニ其處ニ「ペコッド」酋長ヲ見出セシ然レモ彼ハ數日躊躇スルトノ後「ネラガンセツト」人ガ「ペコッド」人ニ結合スルコトヲ拒ミシ而シテ英國人ノ朋友ト彼躬ヲ布告セシ一程左様ニ熱心ニ請願セシ

(7) 殖民ガ即時「ペコッド」ニ對シテ人ノ一隊ヲ遣リシ。恰度日出ノ前ニ彼等ノ堡砦ノ一ニ達シテ彼等ガ其レノ住人ヲ襲ヒシ而シテ彼等ノ小家ニマア放火セシ其時彼等ガ小家ノ周圍ニ環ヲ作りシ而シテ焔煙ガ印度人ヲ逐出セシ時ニ慈悲ナシニ彼等ヲ打斃セシ六百ノ「ペコッド」人ガ一時間ノ中ニ死セシ。翌朝他ノ堡砦ニ於テアツタリシ處ノ種屬ノ

此方彼方ニ 一年後

(7) from place to place
(8) the year after

他者ガ見ヘニ於テ來リシ而シテ戰ヲ更メシ。彼等ガ勇敢ニ闘ヒシ然レモ英人ニ依ツテ敗ラレシ。生存セシ處ノ僅少者ガ此方彼方ニ追跡サレシ而シテ全族ガ滅亡サレシ

(8) 「ペコッド」戦争ノ一年後千六百三十八年ニ於テ「ニュー・ヘヴン」州ノ東海ガ英倫ヨリノ「ビニョーリタン」宗徒ノ一組ニ依ツテ別ノ殖民地トシテ建設サレシ。新シキ殖民地ガ公務ニ付テ彼等ノ無二ノ規則トシテ聖經ヲ採用セシ

(9) 新英倫ノ殖民地ガ成長シ而シテ繁榮セシ。千六百四十三年ニ於テ彼等ガ五十以上ノ村邑ヲ保チシ。此時ニ於テ印度人ニ依ツテ而シテ又蘭人及ビ佛人ニ依テ脅嚇サレテ彼等ハ戦争ノ場合ニ於テ彼等ノ双方ノ守護ニ向ツテ連合スルトノ其レヲ最上ナルト思惟セシ。其故ニプリムース、マサチューセツツ灣、コンネテカット及ビ「ニュー・ヘヴン」ガ「新英倫合衆殖民地」ノ名稱ノ下ニ同盟ヲ組立テシ。此盟約ガ四十年保續

(7) whole tract of cause take possession 全地ヲ勿論押領スル

4) fitted out 遣出セシ
 (5) cut off strangers taking possession 滅亡サレ他國人ノ占領スル

ニ依ツテ千六百三十八年ニ於テ其次ニ建設サレシ。瑞典人ハ瑞典國ノ住民ニシテ芬蘭人ハ芬蘭國ノ住民デアアル。歐洲ノ北部ニ於ケルニ國ナリ。縱ヒ此等ノ國民ハ新世界ニ於テ一ノ發見ヲナサナシ。ト雖ヒ彼等ガ其處ニ殖民地ヲ有スルヲ欲セシ而シテ移住民ノ一組ヲ遣出セシ。デラウアーノ海濱ニ於テ上陸シテ瑞典人ハ印度人ヨリ地面ヲ購求シ而シテ其レニ新瑞典ノ名ヲ與ヘシ。彼等ガ多クノ堡壘ヲ建テシ而シテ間モナク彼等ノ國人ノ尙多クニ依リテ加入サレシ。瑞典人ガ到達セシ數年前ニニューネゼラントヨリ和蘭人ノ一組ガ此地方ニ於テ殖民シタリシ。彼等ガ印度人ニ依テ滅亡サレタリシ。然レモ今和蘭人ガ他國人ヲサスノ占領スルヲ見シ時ニ彼等ハ彼等ガ最初ニ其レヲ占領スルヘクアツタリシノ情由ニ依テ其國ヲ要求セシ。紛争ガ斯ノ如クニシテ起リシ其レハ千六百五十五年ニ於テ和蘭人ニ於テ新瑞典ノ征服ニ於テ結果セシ。和蘭人新瑞典ヲ征服シ。其後名ガデラウアー

(6) 英國人ニ依テニューネゼラントノ征服
 一ト變ゼラレシ
 英國人ニ依テニューネゼラントノ征服
 ニューネゼラントノ南

人ガ縱ヒ一時ノ間彼等ガ彼等ノ太守ノ一人ノ殘忍ナルヲ依リテ怒ラサレタル印度人トノ戦争ヨリ多ク苦シミシト雖ヒ貿易スルヲ及ビ繁昌スルヲニ於テ進ミタリシ。此後間モナク戦争ニ於テ一脚ヲ失ウタリシ所ノ勇敢ナル老武士ノヌチヴエサントガ太守ニナリシ。新瑞典ガ征服サレシヲ其レガ彼レノ治下ニアリシ

(7) スチヴエサントガ太守デアリシ間ニ英倫ノ王ガ約克公ナル彼ノ兄弟ニマデ和蘭人ニ據テ占領セラレタル全地方ヲ與ヘシ。勿論與ウヘキ其レハ彼ノデアラザリシ然レモ彼ガ其レヲ懸念シナサトリシ。有力ナル艦隊ガ押領スル爲ニ遣出サレシ。英人ガニューアムステルダムニ近ク到着セシ時ニ彼等ガ歸降スルヲヌチヴエサントニ促セシ。然レハ彼ハ大胆ニモ片々マデ彼等ノ書翰ヲ裂キシ而シテ砲臺ニ於テ

(1) broke up
sweep off

起リシ
襲クス

(8) keep down
(9) took place
both.....and

壓制シ
起リシ
並ビニ

●新約克 ●新ジャージー ●千六百六十四年

八十四

彼レノ位置ヲ取リテ彼等ガ近接セシ時ニ彼等チ砲撃スルベシ準備セシ
 (8) 是レニ依テニューアムステルダムノ人民ハ若シモ彼ガ英人ト戦ウナ
 テハ彼ガ只獨リ其レチナサネバナラヌデアラウトナスナヴェサント
 ニ告ケシ。彼ハ餘リ彼ヲチ壓制シタリシ。其故ニ今彼等ハ彼等ガ曾テ
 アツタリシダケ恰度左様ニ英人ノ下ニ能ク暮シテアルデアラウト
 ナ彼等ガ思考セシ而シテ彼等ガ彼等ノ老太守ヲ保助スルヲ拒ミ
 シ。其故ニ彼レガ勇敢ニアリシト雖也彼ガ投降セザルヲ得ザリシ。新
 瑞典デアツタリシ所ノ者ヲ含ミテ總テ和蘭ノ領地ガ如此シテ一蹶
 九ノ發射モナシニ英人ノ手中ニ落テシ
 (9) 此レガ千六百六十四年ニ於テ起リシ。英人ハ今ヤメイン州ヨリフロ
 リダ州マデノ全大西洋ノ海岸ヲ持主デアリシ。約克公ノ爲ニニューア
 ムステルダムノ殖民地並ニニュー、ネザルランドノ全殖民地ガ英人ノ
 爲ニ彼等ノ征服ノ後新約克ト稱セラレシ

(10) ニニ一〇、七〇一〇州

余輩ハ既ニ和蘭商人ノ或者ガホドソン河
 ノ西ニ擴ガリシ而シテ多クノ村邑ヲ建テシト見タ。約克公ガ彼
 ノ賜賚ノ所有ヲ得シ時ニ彼ガ彼ノ朋友ノ二人ニマデ其レノ此ノ部
 分ヲ與ヘシ其人ハ其レチニュー、ジャージート名付ケシ所ハ人ナリ。彼等
 ハ其處ニ住スルデアラウト所ノ總テニマデ自由ノ非常ナル度ヲ約束
 セシ而シテ結果ハニュー、ジャージーガ速カニ住民サレテナリシデアリシ

第十七章

ヒリップ王ノ戦争

(1) ヒリップ王 「ベコッド戦争ノ後或年ノ間新英倫殖民地ハ印度人ト
 一ノ紛議ヲ待タザリシ。然レ也千六百七十五年ニ於テヒリップ王ノ戦
 争ガ起リシ其レハ最初ニマサチューセツツニ於ケル各自暫殖民地ヲ盡ク
 スベク脅迫セシ。ヒリップハ英人ノ朋友デアツタリシ所ノマッサソイ
 トノ子息デアリシ。彼レガネラガンセット灣ノ東ナル今ロイド、アイラ

●ヒリップ王ノ戦争

●千六百七十五年

八十五

ノ州ノ州デアアル所ノ中ニ住ミシ所ノ「ウナムバノークス」印度人ノ酋長デアリシ。四十五頁地圖ニ於テ彼等ノ地方ヲ見出セ。汝ガ見ルデアラウ如クネラガンセツトハ此灣ノ對側ニ於テ住ミシ

(2) 白人ガ今甚ダ多ク擴張リタリシ。印度人ハ曾テ彼等ノ獵場デアツタリシ所ノ者ヲ盛大ナル村邑ヲ以テ蔽ハレテ見ル所デア等ハ悉ク彼等ノ先祖ノ陸土ヨリ一同ニ驅逐サル、デアラウヲ恐レシ。其故ニ彼等ハ彼等自身ヲ拒グヲ準備セシ、而シテ懇切ナル印度人ガプリムイスノ人民ニマデ彼等ノ企計ヲ露セシ時ニ彼等ハ彼ヲ殺セシ。ウナムバノークス」三人ガビニリタン宗徒ノ爲ニ此ノ罪科ニ向ツテ糾問サレ有罪ニ見出サレ而シテ絞殺サレシ

(3) 交兵ノ原始 ヒリツプハ英人ノ有力ヲ知リシ而シテ戦争ヲ避クルヲチカメタリシ、然レモ彼レガ今最早彼ノ臣下ヲ抑ヘ能ハザリシ。二十又ハ三十ノ組ニ別レテ彼等ガマサチニセツツノ境界ノ村落及ビ農

對陣
驅逐スル
最早
農家

(1) opposite-side
driven out
(8) no longer
farm-houses

遊キシ
遠シ
連レ歸ル
貫キシ

(4) gave out
come up
taken off
passed through

襲ヒ
滅ボシ
數日
入りツ、

(8) fell upon
cut off
few days
setting in

家ヲ襲ヒ彼等ヲ地ニマデ燒キ彼等ノ住居人ヲ殺シ而シテ或ル援助ガ來リ能ヒシ前ニ森ニマデ去テアリシ。彼等ニ對シテ遣出サレタル組ニ向ツテハ伏兵シテ在リテ彼等ガ殖民地ノ壯年ヲ亡ボシ而シテ至ル處ニ恐怖ヲ撒布セシ

(4) 戦争ガ始マリシ後、數日ニ甲比丹チヤイチガ三十六人ヲ以テ三百ノ印度人ニ依ツテ海濱ニ於テ攻撃サレシ。彼等ハ或ル岩石ノ後ニ彼等ノ位置ヲ取リシ而シテ六時間彼等自身ヲ防ギシ。終ニ夜ガ入りツ、アリシ時ニ彼等ノ軍用品ガ盡キシ。若シモ小舟ガ恰度此時ニ於テ遠シ而シテ彼等ヲ連レ歸ラナシナラバ其レガ大胆ナル「ビニリ」マ宗徒ヲ以テ惡シク運命サレタデアラウ。甲比丹チヤイチハ彈丸ガ彼レノ頭髮ヲ貫キシト雖モ逃レシ

(5) 此時ニ當リ總テ彼ノ力ヲ以テ戦争ニマデ彼自身ヲ投ケシ所ノヒリツプガ近隣ノ種族ノ中ニ往キ而シテ彼レニ加入スベシ彼等ヲ勸メ

(6) several times 數度
 get across 渡ル
 driven back 退ケル
 got away 遁走セシ

●ヒリップ王ノ戰争 千六百七十五年

リシ。數月ノ中ニ彼レガ三千人ノ首ニ於テ彼自身ヲ見出セシ。寒キ氣
 候ガ始リシ時ニ此等ヲ以テ彼ガネラガンセツナル彼ノ同盟ノ國ニ
 於テノ大ナル沼ニマデ赴キシ而シテ堡砦ヲ築キテ其處ニ冬ヲ過ス
 ベク準備セシ。今ガ英人ニ向ツテノ時デアリシ。一千人ガヒリップニ逆ウ
 テ十二月ニ於テ遣ラレシ。彼等ガ沼中ノ島上ニ印度人ノ堡砦ヲ見出
 セシ。其レニ達スルベキ唯一ノ路ガ木其レハ一点ニ於テ深キ泥ミダ
 ル水ヲ越テ投ケラレタリシ所ノ木ヲ渡ルコトニ依テトアリシ
 (6) 沼戰 數度英國人が渡ルコト力メシ然レハ損敗ヲ以テ退ケラレ
 シ終ニ彼等ガ堡砦ニ侵入スルコトニ於テ遂グシ。其レガ直チニ火焰ニ
 於テアリシ所ノ五百ノ小舎ヲ有テシ。印度人ハ縱ヒ彼等ガ勇猛ニ戰
 ヒシト雖、全ク敗績サレシ。彼等ノ許多ガ殺サレシ。然レハヒリップ及
 ビネラガンセツノ酋長ナルカノトナエトガ無難ニ遁走セシ。逃レ
 シ所ノ其等ノ運命ガ實ニ辛クアリシ。避所ナク且ツ殆ンド食物モナ

(6) severe winter 嚴冬
 (8) fell off 倒レシ

●ヒリップ王ノ戰争

千六百七十五年

シ彼等ガ嚴冬ノ烈シキ暴風雨ニマデ暴露サレシ
 (7) 沼戰ノ後三四ヶ月ニカノトナエトガ捕ヘラレシ。然レハ彼レガ常
 ノ如ク左様ニ傲慢デアリシ。若キ兵士ガ彼レニ或ル問ヲ尋ネシ時ニ
 彼レガ答ヘシ「童兒ヨ汝ハ戰ヒテ解知シナサヌ。汝ノ首領ヲシテ來テ
 シメヨ、余ハ彼レニ答フルデアラウト。彼レハ若モ彼ガ平和ヲナスベ
 ク印度人ヲ讒キ勸メルデアラウト。ハ彼ノ生命ヲ彼レニ捧グシ、然
 レハ彼ハ輕視ヲ以テ辭ミシ。彼ガ然ル時ニ統殺サル、ベク宣告サレシ
 (8) 此時ニ當リヒリップガ都府ヲ燒キ而シテ彼ノ俘虜ヲ窘メテ休マザリ
 シ。然レハ彼ノ人々ガ折々海濱ニ於ケル蛤其レヲ彼等ガ得ルベク數
 里ヲ往カネハナラナンダ所ノ蛤ノ外食スルベキ何物ヲモ持タズシ
 テ飢餓ヨリシテ多ク苦ミシ。彼等ノ多クガ今、斃レシ而シテ他者ガ戰
 場ヲ取ツタリシ所ノ甲比丹チヤチニ依テ殺サレ或ハ囚ヘラレシ。俘
 虜トナサレシ其等ノ中ニヒリップノ妻及ビ男ガアリシ。此レガヒリップ

ノ精神ヲ挫キシ。僅カノ忠實ナル從者ノ外總テニ依リ叛棄サレ英人ニ依テ追跡サレテ彼レガ唯印度戰士ノ如ク死スルデアラウ

(9) ヒリッポ王ノ戦争ガ終リシ。彼ノ僅カ殘ル所ノ人々トヒリッポガネラガンセツ灣頭ニ近キ沼ニ於テ匿場ヲ取リシ。四十五頁地圖ヲ

見ヨ。此處ニ甲比丹チャイナガ彼ヲ取圍ミシ。英人ノ一組ガ沼ニ突入ル

所デ日出ニ於テ印度人ノ陣營ニ達セシ。逃走スルベク試ミルコトニ於

テヒリッポガ木其レノ後ロニ英人及ビ印度人ノ離叛者ガ守防シテア

リシ所ノ木ニ近ヨリシ。英人ガ彼ヲ狂ヒシ然レモ露ガ彼レノ火藥ヲ

濕ラシタリシ而シテ彼ノ鉄砲ガ發火ヲ過マリシ。然時ニ印度人ノ離

叛者ガ胸ヲ通シテ彼レノ以前ノ首領ヲ射シ

(10) 如斯ニシテ此ノ大酋長ガ死セシ而シテ彼レノ斃死ト共ニ戦争ガ息

ミシ。新英倫ノ良民ノ六百人ガ殺サレタリシ。六百軒ガ蠻民ニ依テ燒

カレタリシ。印度人ガ尙多ク苦シミタリシ。ニツノ全種族ガ滅亡サレ

追跡サレテ
狂ヒシ
良民

- (8) hunted down
- (9) aimed at
- (10) best men

シ。此後若干年ノ間新英倫ガ平和ヲ享ケシ

第十八章

ヴァーヂニア 印度人ノ困難 ベーコンノ叛逆

(1) 余輩ガ今ヴァージニアニマデ立返ラネハナラヌ。ボーハタンガ死セ

シ時ニ彼レノ兄弟ガ彼レニ嗣ギシ。彼レガ直チニ英人ニマデ敵トナ

リシ。而シテ理由ナシデハアラズ。何トナレバ殖民ノ某者ガ彼等自身

ノ小舎ヨリ彼等ヲ逐出シ而シテ彼ノ穀物カラ彼等ヲ奪取リテ甚ダ

惡シク印度人ヲ待遇セシ故ニ。印度人ガ復讐ニ於テ決定セシ。彼等ガ

英人ニ付テ常ヨリ尙愛シテアルベク佯装セシ而シテ野獸ノ贈物ヲ

彼等ニ携來リシ。然レモ總テ指定サレタル日ニ於テ。一齊ニ彼等ガ哄

聲及ビ斧ヲ以テ殖民地ニ於ケル各ノ住所ヲ襲撃セシ

(2) 前夜懇切ナル印度人ガジョームスタウンノ人民ニマデ此企計ヲ顯ハ

シタリシ而シテ此處デハ蠻民ガ追反サレシ。然レモ其他至ル所ニ彼

- (10) some years
- (1) all at once
- fell on
- (2) night before
- driven back

若干年
一齊ニ
襲撃セシ
前夜
追反サレ

鎮定サレシ
起セシ
數百人

- (2) put down
- (3) got up
- several hundred

ヴァーヂニア

千六百四十四年

九十二

等が成功シテアリシ。殖民ハ彼レノ守兵ヲ取去ラレシ。彼等ノ家屋及
 ビ小舎ガ燬カレシ。慘忍ナル戦ガ斯ノ如クニシテ起リシ。雖モガ畑ヲ
 耕シ能ハザリシ。食料ガ缺乏ニナリシ。而シテ縱ヒ印度人が終ニハ鎮
 靜サレシト雖モ其レハ殖民地ガ虚殺ノ結果ヨリ恢復セシ前永クアリシ
 (3) 千六百四十四年ニ於テボーハタンノ兄弟ナル全ク狡猾ナル酋長
 ガヴァーヂニア人ヲ殺スルニ付テ彼レノ人民ノ中ニ或ル企計ヲ起セシ。
 彼ハ今百歳以上齡シテ然レモ以前ノ如ク左様ニ狡猾デアリシ。彼
 殖民ガ襲撃サレ而シテ數百人ガ殺サレシ。程左様ニ能ク彼レノ企
 謀リシ。然リト雖モ一組ガ印度人ニ逆ツテ派遣サレシ而シテ老酋
 長彼自身が捕獲サレシ。彼レハジョームスタウンニマデ擒囚ト携ヘテ
 レシ而シテ其所ニ殘忍ニモ彼ヲ成リツ、アリシ所ノ番兵ニ依ツテ
 射撃サレシ。

(4) 此時ニ當リ「10000」ガヴァーヂニアノ太守デアリシ。最初ニ彼ハ多

- (4) kept down 壓制シ
turned against 抵抗セシ
complained of 訴ヘシ
- (5) In vain 無効ニ
young man 壯者

(5) 10000ノ叛亂 前ニ語タラレタル如クボーハタンノ兄弟ノ死
 後殆ント三十年印度人が再ビ難澁ニナリシ。再ビ彼等ハ白人ノ方ニ
 於テ殘忍ナルコトニ依テ惹起サレタリシ。無効ニ人民ガ境界ヲ防護ス
 ルベク軍勢ヲ派遣スルコトヲ太守ハークレニ請求セシ。其處ニ此時
 ニ方リ殖民地ノ中ニ近來英倫ヨリ渡航シタリシ所ノベーコント稱
 セラレタル勇敢ニシテ且ツ才幹アル壯者ガアリシ。彼レノ朋友ニ依
 リ強迫サレ且ツ彼自身ノ畑地ニ於テ印度人ニ依リテ行ハレタル多

ベーコン之叛亂

千六百七十六年

九十三

ク好カレシ然レモ人民ハ彼ガ彼等ヲ壓制シ而シテ彼自身ヲ富マヌ爲
 ニ彼等ニ課税セシコトヲ見出セシ時ニ彼等ガ彼ニ抵抗セシ。彼等ガ訴
 ヘシ主モナル事ノ一ハ彼ガ土民ヨリ彼等ヲ防護スルコトノ處置ヲ取
 ラスデアラウコトデアリシ。彼ガ印度人ト貿易スベキ免狀ヲ售ルコトニ
 依ツテ錢ヲ作りシ而シテ戦争ヲ惹起スコトヲ嫌ウデアリシ何トナレ
 ば其レガ彼ノ利潤ヲ妨碍スルデアラウ故ニ。

之ノ謀殺ニ就テ聞キテ彼ハ人ノ一隊ヲ與シ蠻民ヲ驅逐シ而シテ彼等ヲ破リシ

(6) ペーコンハ太守ノ許容ナシニ此レヲナセシ而シテパークリーガ謀叛トシテ此舉動ヲ認ムルト豫定シテ軍兵ヲ募リシ而シテ彼ニ對シテ進ミシ。千六百七十六年ノ大半ハペーコン及ビ太守トノ間ノ爭鬪ニ於テ消光サレシ。遂ニペーコンガ著シキ勝利ヲ得シ。パークリーガシエームスタウンヨリ逐出サレシ、而シテ彼レノ手ニ再ビ落ツルヨリ其レヲ防ク爲ニ其レガ地ニマデ燒カレシ

(7) 彼ノ成功ノ最中ニペーコンガ死セシ。パークリーガ直チニ主權ヲ回復セシ。其レガ呼バレシ通り「ペーコンノ謀叛」ニ干與シタリシ所ノ其等ハ慈悲ナシニ殘酷ニサレシ。廿人以上ガ死ニマデ處セラレシ。人民ガ以前ヨリ尙多ク壓制サレシ而シテ終ニ暴政家ガ英倫ニ向ツテ航セシ時ニ悦ビシ。其處ニ彼ガ相應セシ輕侮ヲ以テ遇セラレシ而シテ

大牛
最中ニ
主權
干與シ

(6) great part
(7) In the midst
chief power
taken part

彼レガ間モナク鬱悶スルヲ付テ死セシ

(8) ヴァーシニアノ人民ガ太守ノ變更ニ依リ多ク不利ヲサトリシ太守ノ交代アリシナカリシナリ。若干年ノ間彼等ハ彼等ガ能ヒシ總ヲシテ彼等ヨリ收リ立ルモ左程好イノベシカメシ所ノ人ニ依ツテ統治サレシ。彼等ハ彼等ノ權利ニ付キテナカリシナリ勇胆ニ諍ヒシ然レモ一時ノ間ハ成功ナカリシモ左程好イノ

(9) シエームスタウンハ決シテ再築サレザリシ。其處ニ此時ニ方リヴァーシニアニ於テ他ノ都邑ガアラザリシ。何トナレハ殖民地ガ大ナル畑其レニ於テ穀物及ビ煙草ガ産出セラレシ所ハ大ナル畑ニマデ區畫サレシ故ニ。旅行ガ小舟或ハ馬脊ニ於テナサレシ道ガ森ヲ貫イテ唯ノ馬道デアリシ。旅人ガ流河ニマデ來リシ時ニ彼レハ其レヲ越エテ彼レノ馬ヲ泳ガセネバナラナンダ何トナレハ其處ニ渡船モ又橋梁モ有ラザリシ故ニ。家屋ガ大概木片ノ者デ而シテ高サ一階ノ者デアリシ。窓ガ硝子ノ缺乏ノ爲ニ窓蓋ヲ以テ閉ザラレテアリシ。其處ニ一ノ薪

馬脊
馬道

(9) horse-back
bridle-paths

●ケアロリナ

●千六百五十三年

九十六

聞紙ガアラザリシ而シテ何タル學校デモナラハ僅少ガアリシ、如何ニ事物ガ二百年ノ内ニ變遷シタカヨ

(10) 銅板繪ニ於テ汝ガ明瞭ナルシエームスタウンニ於ケル古キ英人ノ生活及ビヴァーシニアノ印度村落ニ於テノ生活ヲ見ル。余輩等ノヨリ左様ニ異リタル英國人及ビ婦人ノ奇異ナル風習ニ於テ眺メヨ、低家而シテ彼等ヲ貫キテ木ノ推棒ヲ以テノ煙草ノ大ナル圓キ堆積ガ大ナル轉輪ノ如ク街道ヲ曳キ廻リシ。印度村落ガ敵ノ不意ノ攻撃ヨリ柵ニ依リテ守備セラル、住家ガ隨意ニ揚ゲラレ又ハ低ケラレ能ウ所ノ藩ヲ以テ蔽ハル、ベジ意匠サレテ木匠細工ニ就テアル、玉蜀黍及ビ煙草ガ生ゼラル、穀物畑ニ於テ建ラレタル小サキ藁葺ノ小舎ニ於テ彼ノ喚聲ヲ以テ鳥ヲ驚カシ去ラスベシ番人が坐ル

第十九章

ケアロリナ州

ペンシルヴァニア州

右衆の

(1) 北ケアロリナ州

千六百五十三年ニ於テヴァージニアヨリノ或ル

開拓者が好き地味及ビ愉快ナル氣候ニ因リ誘ハレテ南ノ方ニ進ミシ而シテ現今北ケアロリナ^{合衆國}デアアル所ノ中ニ住ミシ。其後十年ニ英倫ノ王ガ彼レノ寵臣ノ多クニマデヴァーシニアヨリフロリダ^{合衆國}マデノ邦土ヲ與ヘシ。彼等ハ大帝國ニ向ツテ企計ヲ起セシ。僅々ノ貴族ガ總テ權威ヲ持ツベシアリシ然ルニ人民ハ勞動ヲナスベシアリシ。此レガ自由ニシテ且ツ政爲ナル殖民ニ適應シナサレリシ。彼等ガ民等ノ權利ニ於テ主張セシ而シテ大ナル貴族ガ従ハネバナラナンダ^{南ケアロリナ州}南ケアロリナニ於テ第一ノ殖民地ガ英倫ヨリノ移住民ニ依テ千六百七十年中ニナサレシ。千六百七十二年ニ於テ現今此州ニ於テ最大ナル市府ノチャールレストン^{東海岸アレユレ河口ニアリ}ガ建テラレシ。此州ハ蘇格蘭、愛爾蘭及ビ佛蘭西ヨリノ移住者ガ大ナル數ニ於テ其レニマデ誘ハレシ程左様ニ樂シクアリシ。人民ノ費ニ於テ僅々

●ケアロリナ

●千六百五十三年

九十七

- (2) drawn up any more laid aside 起サレタリシ迄モ廢止サレシ
- (3) for the most part 大約
- (4) chief production 主産

ノ貴族ヲ高ムルニ向ツテ起サレタリシ所ノ企テカ北ケアローナニ於テヨリモ迄モ此處ニテハ應セラレザリシ而シテ速ニ廢止サレシ一時ノ間北及ビ南ケアローナノ人民カ彼等ノ太守ト或ル紛議ヲ持テシ。此等ノ太守ガ大約殖民ノ利益ニ就テアリシ所ノ者ヲ知ラザリシ又注意セザリシ然レモ彼等カ能ヒシ總テノ金銭ヲ彼等ヨリ取立テルベクカメシ。然レモ人民ハ服従スルヲ欲セザリシ。久シキ紛争ノ後彼等ノ權利ヲ立ツルニ於テ遂ケシ。而殖民地ガ然ル時幸ニ且繁榮シテアリシ

(4) 米及ビ綿ガ今南ケアローナノ主産ノ中ニアル。米ハ亞弗利加ノ海岸ニ於ケル島ナルマダガスカル東部ニヨリ携へ來ラレシ所ノ或ル種子ヨリ來リシ。綿ガジエームストンニ近ク生ゼシ其後間モナク其レガ創始サレシ。然レモ煙草ノ收納ガ多少利益デアルベク証明サレ而シテ甚多クノ注意ガ綿ニマデ致サレシノ其レガ大約千七百年マデハアラザリシ

- (5) in turn 順番ニ
- (6) broad-brimmed take off Your Majesty as the case might be 廣ク縁トラレレタル脱ガヌ陛下時ニ從ウテ

(5) ペンシルヴァニア州

デラウアーニ住シシ所ノ瑞典人ガ北ノ方ニ蔓延セシ而シテ現今ペンシルヴァニアト唱ヘラル、所ノ者ノ境界ノ内ニ某ル榮ヘル所ノ耕地ヲ持チシ。彼等ハ汝ガ記憶スル如ク蘭人ニ依テ征服サレシ、而シテ蘭人ハ順番ニ英人ニマデ與ヘシ。一時ノ間新約克ノ政府ノ下ニ殘ルノ後デラウアーノ西ナル地方ハウヰリアム・ペンニマデ讓ラレシ而シテペンシルヴァニアト稱セラレシ

(6) ウヰリアム・ペン「ガ」クエーカー「宗徒」デアリシ「クエーカー」宗徒ハ清潔ニシテ善良ナル人民デアリシ。然レモ或ル事ニ於テハ格別デアリシ。彼等ハ彼等カ廣ク縁トラレタル帽ヲ被リ其レハ彼ラガ貴族或ハ裁判官或ハ王彼躬ラノ前デアラモ脱ガヌデアラウ。彼等ハ誰ヲモ「君」ト呼バザリシ。彼等ハ王ヲ陛下ト宛名シナサ、リシ然レモ時ニ從ウテ「フレンド」朋友「チャイレス」或ハ「フレンド」朋友「ジエームスト」彼レヲ呼ビシ。彼等ハ戰ガ不正デアリシト考ヘシ而シテ總テノ人ト平和

(8) sun and moon
as long as

日月
間ハ

(7) on account
great thing
large sum
(8) laid out

爲
大要事
大額
タテシ

●ヘンズ殖民

●千六百八十三年

百

及ビ親愛ニ於テ住ムベク願ヒシ

(7) シェーカー宗徒ハ英倫ニ於テ殘酷ニ窘メラレシ。ウヰリアム・ペン躬ヲカ
監獄ニマデ投ゲラレタリシ而シテ彼説ノ爲ニ多ク苦ミシ。彼ハシェー
カー宗徒ガ自由デ且ツ幸福デアリ能ヒシ所ニ殖民地ヲ立テルノ
其レハ大要事デアアルデアラウト思惟セシ。今王ガ高名ナル水師提督
デアリシ所ノ彼レノ父ニ金錢ノ大額ヲ借リタリシ而シテペンガ貸
金ノ支拂ニ於テ上ニ話サレタル如ク新世界ニ於テノ陸土ノ賜物ヲ
得シ

(8) ペンガシェーカー宗徒ノ大ナル組ヲ以テ千六百八十二年ニ於テ亞米
利加ノ海岸ニ達セシ。翌年彼レガ現今合衆國ノ中ニテ廣キヲニ於テ
ハ第二位タル費拉特費亞ノ壯麗ナル市府ヲアラウアーニ於テ建テ
シ。ペンガ總テノ人ヲ公平ニ待遇セシ。彼レガ瑞典人及ビ印度人ヨリ
彼レノ陸地ヲ買ヒシ。大ナル榆樹ノ下ニ印度人ヲ呼集メテ彼ハ彼等

ニ贈物ヲナセシ。彼ノ親愛ニ付テ彼等ニ保合ヒシ而シテ報酬ニ於テ
彼等ノ親交ヲ要メシ。赤人^{印度人}ハ懇切ニ彼ニ會合セシ。彼等ハ日月ガ續
クデアラウ間ハ彼及ビ彼ノ子孫等ノ平和ニ於テ住ムヲ約セシ
(9) 印度人ガ彼等ノ語ヲ守リシ。七十年ノ間ペンシルヴァニアガ土民ト一
ノ紛議ヲ持タザリシ。人民ガ自由政治ヲ享ケシ而シテ數多ク新世界
ノ他地方ヨリ及ビ歐洲ヨリ其處ニ群集セシ。三年ノ中ニ費拉特費亞
ガ五十年ニ於テナシタリシ新約克ヨリハ尙多ク成長セシ。然レハペ
ンガ其レノ繁盛ニ依テ利シナサトリシ。彼レガ不正ニモ殖民地ニ於
テノ彼ノ權ヲ剝奪サレシ而シテ貧困ニ於テ死セシ

第二十章

印度ノ傳教

佛蘭西ノ穿鑿者

(1) ビューリタン宗徒ノ生業。ビューリタン宗徒ハ正直ニシテ且ツ勤
勉ナリ然レハ苛酷ニシテ且ツ正格デアリシ。彼等ハ彼等ノ頭ニ接シ

●ビューリタン宗徒ノ生業

●千六百五十年

百一

(1) opposed to silk hood
 flowing sleeves
 well-to-do
 keep off sitting-room

シテ
 襟袖カ
 防居
 忌
 忌
 忌

テ彼等ノ頭髮ヲ剪リシ而シテ鬘及ビ障面紗ヲ忌嫌シテアリシ。彼等ハ無縁絹帽及ビ寬袖ヲ着ルノ其レガ婦人ノ爲ニ惡シクアリシト思ヒシ。彼等ハ正格ニ安息日ヲ守リシ而シテ土曜日ノ晚ニ於テ其レヲ始メシ。彼等ハ甚ダ長キ祈禱及ビ説教ヲ好ミシ而シテ會堂ヨリ彼方ニ殘リシ會堂ヨリ外ニ居ルト云フ處ノ其等ヲ罰セシ。繪ノ助ヲ以テ汝ガ當時ノ畫カニ暮ス新英倫人ノ食料室及ビ厨房ニマデ眺メ得ル。家屋ガ愉快ニ裝飾サレテアリシ。窓ガ小サキ硝子板ヲ以テ嵌メラレテアリシ而シテ窓限ガ愉快ナル住所ヲ造クルメク充分低クアリシ。壁ノ周邊ニ畫像或ハ刷畫ガ掛リシ而シテ低キ天井ヨリ屢々駝鳥ノ卵ガ懸ケラレテアリシ。其レノ斫ラレタル硝子及ビ古銀ヲ以テノ奇麗ナル傍架眞直ニ支柱アル椅子、帳ヲ以テ蔽飾サレタル四脚ノ臥床、クランニテ貫キテ嘯ク所ノ風ヲ防グベク高キ支柱アル腰掛鉄架、火鏟、火箸及ビ靴ヲ以テ開ケラレタル火爐ガ体裁デアリシ。亦家族ノ居室トシテ用ヒラレ

タル厨房ニ於テ見ラル、所ノ者ヲ記載セヨ

(2) ビユーリタン宗徒ハ窘困ヲ逃カル、タメニ英倫ヨリ逃ケタリシ。然レハ彼等ガ新世界ニ於テ權ヲ得シ時ニ彼等ガ他者ヲ窘メシ。汝ガ記憶スル如クマサチニセツ灣ノ殖民地ガロー、ガ、ウリアムスヲ逐出セシ。彼等ハ殖民地ノ境内ニ見出サレシ如キ斯様ナル罰金ヲ命ジテ而シテ鞭打シテ尙惡シク「クエーカー」宗徒ヲ取扱ヒシ。終ニ彼等ハ加之多クノ「クエーカー」宗徒ヲ死ニマデ處セシ。如何ニ彼等ハ斯ノ如キ殘忍ナル「クエーカー」神ヲ悦バシテアリシ「クエーカー」考ヘ能ヒシカ

(3) 印度人中ヘノ傳教 印度人ニ向ツテ「ビユーリタン」宗徒ガ尙好キ精神ヲ現セシ。ジョン・エリコット及ビ他ノ善人ガ彼等ノ中ニ行キシ而シテ彼ハ彼等ヲ耶蘇宗ニナス「クエーカー」力メシ。エリコットハ彼等ノ用語ニマデ聖書ヲ譯セシ而シテ「印度人」ノ青年者ノ爲ニ學校ヲ開キシ。彼ハ婦人ニ紡グ「クエーカー」男子ニハ耕ス「クエーカー」教ヘシ。彼レノ親切ガ彼等ノ「クエーカー」

心ヲ得シ而シテ東方マサチニューセツツニ於ケル土人ノ多クハ彼ガ教ハシ真理ヲ受ケシ

(4) ビューリタン宗徒ガ獨リ印度人ヲ改宗スルベクカメルトニ於テアテカリシ。余輩ハ早キ時代ニ於テ佛人ガセント、ローレンス河ヲ穿鑿セシヲ知リシ。千六百八年ニ於テ彼等ガ其レノ左提ニ於テクエベツクヲ建テシ。印度人ト獸皮ニ於ケル貿易ガ利得多ク見出サレシ而シテ夥多ノ佛蘭西殖民地ガ現今加那陀ト呼バル、所ノ者ノ處々ニ於テナサレシ。商人ト共ニ羅馬加特力宗ノ僧侶及ビ「セシュート」宗徒ノ數多ガ渡來セシ其人ハ遙カ北西ニ於テ旅セシ而シテ印度人ニマデ説教セシ
(5) 多クノ小サキ堡砦ガ此等ノ佛蘭西ノ僧侶ニ依ツテ現今ミテガン及ビイリノイス共ニ合衆聯邦ノ一ナリノ州デアアル所ノ者ノ中ニ建テラレシ。其レガ其時勿論荒蕪地デアリシ。苦痛及ビ死ガ屢々信心ナル傳道者ニ向ツテノ報酬デアリシ。曾テ多ク苦メラレ而シテ逃レタリ。後デサヘ彼

(4) Differen part

處々

冷待セシ
下流
上流

(6) ill-treated
(7) lower part
upper part

等ハ彼等チ冷待セシ所ノ同シ蠻民ニマデ説教ズルベク歸ルテアラウ

(6) 此レガフアーザリ、ガークチ以テノ場合デアリシ。和蘭人ハ彼ガ殆ソト死ニマデ窘シメラレタリシ後、モホークス印度土人ノ名ナリヨリ彼チ贖ヒシ死ス

ニ苦メラレテヨリ土民ヨリ。和蘭人ガ贖ヒ引取りシト云フ。彼ハ加那陀ニマデ彼ノ歸路ヲ見出セシ、然レ、用暫時ノ後傳道者ガ此等ノ同シ「モホークス」ニマデ送ラル、メリアリシ時

ニ彼ハ此働キニ付テ彼躬ヲ捧ゲシ而シテ「余ハ決シテ歸ラヌデアラウト云ヒツ、往キシ。彼ノ語ガ遂ゲラレシ」云ヒシ通り歸ラナ。カッタト云フ。彼ノ到達ノ

後間モナク蠻民ハ彼ガ彼等ノ收納ヲ妨碍セタリシト稱へ而シテ彼チ死ニマデ處セシ

(7) マーケツト及ビ「グールヤ」ナル二人ノ信心ナル佛人ノ傳道者ガ彼等ノ遍歴ノ進ニ於テデント前出、西班牙人ナリガ百年ヨリハ多ク以前ニ下流ヲ發見シタリシ如クミッスシツビ一河ノ上流ヲ發見セシ。彼等ガ或ル距離大河ヲ降り航セシ。其ノ堤ニ沿ウテノ印度人ハ懇切デアリシ而シテ玉

●佛人の傳道者

●千六百八十二年

罰黍ノ飯及ビ魚ヲ以テ彼等ヲ饗應セシ。其後マーケットハ他ノ遠征ヲ企テシ。彼ガミナガンニ於テノ河流ノ堤ニ於テ彼ノ祈禱ヲ云ウ爲ニ上陸セシ而シテ彼レノ祈念ニ於テ從ヒシ間ニ其處ニ死セシ

(8) 此等ノ佛蘭西穿鑿者ノ最大者ハ「ライサル」デアリシ。彼ハ彼ガ曾テオノタリ湖ヲ渡リシ所ノ最初ノ帆船ニテ西ニ向ヒ出發セシ。彼ガ多クノ危険ニ逢遇シ堡砦ヲ立テ印度人ト交易シ而シテ白人ガ決シテ以前ニアラナシ、ダリシ所ニ行キシ。彼ノ組ノ部分ガミッスシッピーニ於テセイントアンソニーノ瀑布ヲ發見セシ。千六百八十二年ニ於テ彼ガ墨斯古灣ニマデミッスシッピー河ヲ航シ降りシ而シテ佛王路易十四世ニ從ウテ此國ナルイシヤナ合衆聯邦ト稱セシ
(9) ラーサルガ然ル時ミッスシッピー河ノ口ニ於テ殖民地ヲ發見スルコトノ手段ヲ得ル爲ニ佛蘭西ニマデ往キシ。彼ハ多クノ船及ビ糧食ノ大量ヲ以テ任サレシ。然レモ彼ノ糧船ガ現今テキザス合衆聯邦ト呼ナル、所

帆船
逢遇
大量
糧船

(8) sail-boat
met with
(9) large amount
store-ship

ノ者ノ海岸ニ於テ破船サレシ。彼ガ大河ノ口ヲ發見シ能ハザリシ。キザスニ於テ住ムベク彼ノ人ノ若干ヲ殘シテ彼ガ他者ト大陸ヲ橫切リテ加那陀ニマデ彼ノ路ヲ發見スルマク出發セシ
(10) ラーサルハ彼ガ彼ノ夥伴ノ一人ニ依リテ殺サレシ時ニ遙カ往ナンダリシ。殺人者彼躬ヲモ其後間モナク死セシ而シテ組ノ僅々ガ加那陀ニ達スルコトニ於テ成功セシ。縱ヒラーサルハ永久ノ殖民地ヲ植ユルコトヲ誤リシト雖モ、彼ノ遠征ハミッスシッピーノ全キ谷地ニマデノ要求ヲ佛王ニ與ヘシ

第二十一章

維廉王ノ戰爭

(1) 佛蘭西人ガ今加那陀及ビ遙カ西ニ多クノ場所ヲ有セシ而シテ土民種族ノ或ル者ヲ以テ大ナル勢力ヲ有セシ。英人ノ殖民地ガ尙多ク數多ニ且ツ尙強クアリシ。其故ニ、兩國ガ交互ニ付テ嫉メデアリシコトノ

●維廉王ノ戰爭

●千六百八十五年

百七

(1) two parties

兩黨

(2) about dark
let in

暮ル、比
引入レシ

其レガ奇恠デアラス。千六百八十九年ニ於テ紛議ガ佛及ビ英トノ各王ノ間ニ起リシ而シテ交兵ガ直ニ新世界ニ於テ始リシ。維廉王三世ガ當時英倫ノ王位ヲ保チシ故ニ此ガ維廉王ノ戰爭ト稱セラレシ。

(2) 佛人ガナセシ最初ノ軍ハ英人ニ對シテ彼等ノ印度人ノ同盟ヲ勵ス。テデアリシ。其處ニニューハムプシア州ノドヴァーニ於テ住ム所ノ「マジョーア」ウアルドロント稱セラレタル老人ガアリシ其人ハ一度殘酷ニ土民ヲ披ウタリシ所ノ人ニシテ而シテ其人ニマデ彼等ノ某ル者ガ貨物ニ就テ負債ニ於テアリシ。或ル夜暮ル、比ニ土人ノ妻ノ二人ガ彼ノ戸ヲ叩キシ而シテ彼等ハ甚ダ疲レテアリシ故ニ終夜其處ニ止ルコト願ヒシ。マジョーア「ウアルドロン」ハ彼等ガ得ルコトヲ御留ナサレシ。彼等ニ語リシ、然レモ家内ガ眠ツテアリシヤ否ヤ彼等ハ戸ヲ開キシ而シテ印度人ノ仲間ヲ引入レシ。

(3) 彼等ガ机ノ上ニ老人ヲ置キシ。彼ハ支配人デアツタリシ而シテ彼等

スマシタ
寝衣

(8) crossed out
(4) night-clothes

嘲弄シテ彼等ガ叫ビ出セシ。汝ガナスマシタノ慣レシ如ク今印度人ヲ處斷セヨト。然ル時ニ彼ニ錢ヲ借リシ處ノ猛惡ナル蠻民ハ斯ノ如クシテ彼等ハ彼等ノ勘定ヲ濟マシタコト云ヒツ、彼レノ胸ヲ横切ツテ彼等ノ小刀ヲ曳キシ。マジョール「ウアルドロン」ヲ殺ス。ノ后彼等ハ彼等ガ能ヒシ所ノ凡テヲ死ニマデ置キツ、近隣ノ家ヲ襲ヒシ。

(4) 翌冬佛蘭西人及ビ印度人ノ一隊ガセネクダデーヲ襲ヒシ。此ハアルバニヨリ十六里ナル繁榮ナル村落デアリシ。其處ニ其レノ周圍ニ柵ノ壁ガアリシ然レモ番兵ガ眠ニマデ往イタリシ而シテ侵襲者ガ門ヲ通シテ入り込ミシ。住民ガ恐ロシキ吶聲及ビ彼等ノ家ノ爆烈スル焰火ニ依テ起サレシ。若干ガ彼等ノ寢所ニ於テ殺サレシ。他者ガ彼等ノ寢衣ニ於テ荒原ニマデ逃ケシ。自餘者ガ俘囚トシテ携ヘ去ラレシ。而シテ都府ガ墟址ニナサレシ。國境ニ於テノ他ノ場所ガ同シ方法ニテ苦ミシ。

打退ケラレシ
 獲ヒ掛リシ
 起キ
 近廻リノ
 避ケル

(5) beaten back
 fell upon
 get up
 near by
 keeping off

●ダスチン夫人ノ証

●千六百八十九年

百十

(5) 此等ノ暴行ガ終ニ英人ヲ振起セシ。彼等ハモントリール及ビクエベックニ於ケル佛人ニ對シテ二ツノ遠征ヲ送りシ。一ハ打退ケラレシ而シテ他者ガ何事モ成功スルコトナシニ歸リシ。八年續キシ所ノ此戰爭ヲ通シテ佛人及ビ彼等ノ印度人ノ同盟ガ英人ヨリ尙克ク持チシ

(6) ハンナ、ダスチン、ダスチン夫人ガ勇敢ナル氣象ヲ現セシ。彼女ハ印度人ノ隊ガ家ニ襲ヒ掛リシ時ニ彼女ノ傍ニ若キ嬰兒ト共ニ病ニ臥シテアリシ。彼等ハ憫ナル幼兒ヲ殺セシ而シテ彼女ハ病氣デアリシト雖モ彼女ヲシテ起キ而シテ彼等ト共ニ往カシメシ。ダスチン氏ハ近廻リノ畑ニ於テ働キツ、アリシ。彼レハ彼女ヲ助ケザリシ。然レモ森ニ向ツテ走ルベク彼ノ童兒ニ告ゲテ彼ガ彼ノ銃ヲ以テ印度人ヲ避ケルコトニ依テ困難ヲ以テ彼等ヲ救ヒシ

(7) ダスチン夫人彼女ノ看病人及ビ男兒ガ北方ニ幾里モ携去ラレシ。毎日死ヲ以テ脅カサレテ彼等ガ終ニ逃ルベキ盡力ニ於テ彼等ノ生命

取りシ
 コギ降リシ
 見棄テタリシ

(7) seized on
 puddled down
 given up

チ膏スコニ決定セシ。男兒ガ彼ハ大ナル勇者ニナルコトヲ願ヒシコトヲ彼ノ主人ニ語リシ而シテ彼ヲ殺スコトノ爲ニハ何處ニ彼ハ人ヲ打ツテアラウカチ尋ネシ。蠻民ハ彼ニ示セシ而シテ彼ハダスチン夫人及ビ看病人ニ告ゲシ。其同夜三人ガ密カニ起キシ。彼等ハ男兒ガ示サレタリシ仕方ニ於テ眠ル所ノ印度人ヲ打チシ而シテ彼等ヲ捕ヘタリシ所ノ全キ夥伴ヲ殺セシ。然ル後ニ彼等ハ刳舟ヲ取リ河ヲ漕ギ降り而シテ間モナク亡サレタル者トシテ彼等ヲ見棄タリシ所ノ彼等ノ朋友ノ中ニアリシ。ニュー、ハムプシア州ヘナクシクニ近キ其場所ニ於テ建テラレタル花崗石ノ石碑ガ此ノ所行ヲ記念スル

第二十二章

アン女王ノ戦争

西南

シロウシアガ建チシ

(1) 千七百二年ニ於テ他ノ戦ガ佛人及ビ西班牙人及ビ英人トノ間ニ破裂サレシ。其レガ英倫ノ女王ヨリアン女王ノ戦争ト稱セラレシ。新世界

●アン女王ノ戦争

●千六百九十七年

百十一

ニ於テ交兵ガ西南ニ於テ始リシ。南ケアロリナノ太守ガフロリダノセント、チーガステンニ於テノ西班牙人ニ對シテ出軍セシ。彼ハ城ヲ捕リ能ヒシ前ニ二人ノ西班牙ノ船ガ海岸ニ近ク現レシ而シテ彼ハ彼ノ糲食ヲ殘シ而シテ走リ去ラネバナラナシ。彼ハ其後佛人及ビ西人ノ印度ノ同盟ニ對シテ而シテ彼等ノ村邑ノ多クヲ燒キ且ツ俘囚ノ數多ク取ルコトニ於テ遂ケシ

- (2) 佛人及ビ西人ガ返報ニ於テチャールレストンニ於テ攻撃ヲナセシ。七十
三頁地圖ヲ見ヨ。彼等ハ彼等ヲ退ケ且ツ港内ノ佛ノ中軍艦ヲ捕リシ
所ノ住民ニ依テ勇敢ニ出逢ハレシ。此ノ如ク成功セシトハ雖モケアロ
リナノ開墾者ガ佛人及ビ西人ニ依テ彼等ニ對シテ煽動サレシ所ノ
蠻民ノ侵入ヨリ數年間多ク苦ミシ
- (3) 千七百四年ノ冬ニ於テ加那陀ヨ
リノ或ル佛人及ビ印度人ガマサチュエッツノ北部ニ於テノデューアフ
ビ

(2) drove back

退ケ

攻入リシ
上リテ
忽チニ
幾月モ
經過セシ

- (8) made adecent climbing up in a moment
- (4) many months
- (5) rolled on

イルニ攻入リシ。彼等ハ待設ケラレシ而シテ守兵ガ各夜守ツテアリシ。然レモ狡猾ナル佛人ハ衛兵ガ去テラレシ時ノ晨明マデ森ノ中ニ彼ノ人ヲ保テシ。然ル時ニ柵ノ頂上ニマデ積リテアリシ所ノ雪ニ上リテ彼等ハ忽チニ都府ノ中ニアリシ

(4) デューアフールドニ於ケル各ノ家ガ一ツノ外ニ燒カレシ而シテ其レガ彈丸ヲ以テ貫カレシ。多クガ殺サレシ而シテ尙多クガ擒ニナサレシ。終リノ者ノ中ニ此地ノ首長ナルウカリアムス氏彼ノ妻及ビ五人ノ童兒等ガアリシ。彼等ガ雪ヲ通シテ幾里モ追逐サレシ而シテ終ニ病デアリシ所ノウカリアムス夫人ハ疲弊ヨリ斃レシ而シテ彼女ノ良人ノ目ノ前ニ殺サレシ。幾月モ擒ニ殘ルコトノ後トウカリアムス氏ハ贖ハレシ而シテ七年齢シタル娘ヲ除キ總テノ彼ノ童兒等ト共ニ彼ノ朋友ニマデ歸リシ

(5) 年ガ經過セシ而シテデューアフールドガ再ビ築カレシ。一日土人ノ妻

歸リシ
建テラレシ

(5) went back
(6) was laid out

ノ如ク裝ハレタル婦人が町ニ入込ミシ。彼女ノ面目ガ印度人ノニ異
 リテアリシ而シテ人が彼女ハ何人デアリシカヲ彼女ニ問ヒシ。彼女
 ハ彼女ガウキリアムス氏ノ失ハレタル娘デアリシヲ答ヘシ。彼女ガ
 印度人ニマデ嫁セラレシ而シテ加那陀ニ於テ多クノ童兒ヲ持チシ
 一ヲ答ヘシ。人民ハ彼等ト共ニ留ルヲ欲セザリシ而シテ彼女ハ
 彼女ノ良人及ビ童兒等ヲ見棄ルヲ欲セザリシ而シテ加那陀ニマ
 デ歸リシ

(6) 西南ニ於ケル佛蘭西殖民地 佛王ガラー、サルノ惡結果ニ依テ失
 望シテアラザリシ。彼ガミンスシツビー河ノ口ヲ發見セシ所ノ多クノ移住
 民ヲ遣出シ河ヲ溯リ航セシ而シテトチエツガ今在ル所ノ場所ニロサリ
 一堡ヲ築キシ。千七百十八年ニ於テニュー、チーレンスノ市府ガ建テラ
 レシ。最初ニ其レガ唯徐々ニ成長セシ然レモ今其レガ西南ノ大市府
 デアル

(7) 此全地方ガ然ル後命名サレシ如クルイシアナノ殖民ガ間モナク土
 人ト葛藤ニマデ得。ナチエツノ印度人ハ其レヲ佛人が捕リ且ツ耕地
 ニマデ耕シ變ズルヲ欲セシ所ノ佛人ノ砦ニマデ近ク村落ヲ持チ
 シ。此ガ堡砦ヲ襲ヒ而シテ婦人及ビ童兒等ヲ取除キ總テ死ニマデ
 措キシ所ノナチエツ人ヲ激マセシ。ニュー、チーレンスノ人民ガ全種族ヲ
 亡ボスヲ依ツテ此虐殺ヲ報セシ

(8) 殖民地ノ最後ニ殖民サレタル者ハジョージアデアリシ。千七百三十
 三年ニ於テチケルソープハ大不列顛王其人ノタメニ彼ガ彼ノ殖民
 地ヲ名付シ所ハ大不列顛王ジョージ二世ヨリ賚物ヲ得テ所ヲ移住
 民ノ耕ヲ以テサヴァンナー河ニ達セシ。サヴァンナーノ佳美ナル市府ガ
 廣キ且ツ正シキ街衢及ビ家々ノ周圍ニ大ナル花園ヲ以テ建テラレ
 シ。尙多ク移住民ガ渡來セシ而シテオケールソープノ賢良ナル統治
 ニ依テ殖民地ガ繁榮セシ

●ニュー、チーレンス之設立

●千七百十八年

(9) チゲールンソープガ懇切ニ印度人ヲ遇セシ而シテ彼等ガ同シ精神ニ於テ彼等ニ接セシ。彼レノ到着ノ後間モナク多クノ酋長ガ彼ヲ接待スル爲ニ來リシ。彼等ガ彼等ノ懇親ノ徴トシテ鷲ノ頭及ビ羽ヲ以テ飾ラレタル水牛ノ皮ヲ彼ニ持來リシ而シテ彼等ノ眷族ヲ愛シ且ツ隠ルベク彼ニ要メシ

(10) 余輩ハ今十三ノ殖民地ノ設立スルノ談話ヲ持ツタ。若モ汝ガ各ノ日子ト共ニ順序ニ從テ彼等ヲ記憶シ能ウカヲ見ヨ

(一) ヴァージニアハ千六百〇七年中ジェームスタウンニ於テ英人ニ依テ

(二) 新約克ハ千六百十四年中ニューアムステルダムニ於テ蘭人ニ依テ

(三) ニュージャージーハ千六百十八年中バーゲンニ於テ蘭商ニ依テ

(四) マサチューセツツハ千六百二十年中プリムスニ於テ英國ビューリダン宗徒ニ依テ

(9) in token buffalo-skin 徴トシテ 水牛ノ皮

(10) in order 順序ニ從テ

(五) ニューハンプシアハ千六百廿三年中ドヴァー及ビボーツマウスニ於テ英人ニ依テ

(六) マリーランドハ千六百三十四年中ロイド、バルチモリアノ下ニ英人ニ依テ

(七) コンネチカットハ千六百三十五年中マサチューセツツヨリビューリダン宗徒ニ依テ

(八) ロイド、アイランドハ千六百三十六年中プルオビデンスニ於テロイガ、ヴァリアムスニ依テ

(九) デラウェアハ千六百三十八年中瑞典人及露蘭人ニ依テ

(十) ペンシルヴァニアハ千六百四十三年中デラウェアヨリノ瑞典人ニ依ツテ千六百八十三年中費拉特費亞ニ於テ英國クマカ「宗徒ニ依テ

(十一) 北ケアロリナハ千六百五十三年中ヴァージニアヨリノ移住民ニ

依テ

- (十二) 南ケアロリナハ千六百七十年チャールストンニ近ク英人ニ依テ
- (十三) シローリアハ千七百三十三年ニ於テサヴァンナールニ於テ英人ニ依テ

第二十三章

華盛頓ノ遠行

- (1) As years roll on boundary line agreed upon broke up
年が経ルニ隨ウテ國境線一定サレシ破リシ

(1) 佛人及ビ英人トノ間ノ困難。年が経ルニ隨ウテ佛人並ニ英人が速ニ亞米利加ニ於テ増セシ。一ノ國境線ガ兩國民ノ間ニ一定サレザリシ。各ガ他者ニ付テ嫉ソデアリシ。佛人ハ第一番ニ彼等ヲ穿鑿シタ。トノ理由ニ於テオハヨール及ビミッスシクビーノ富饒ナル谷地ヲ請求セシ。彼等ハ印度人ニ付親懇ヲナス爲ニ代理人ヲ派遣セシ。而シテ加那陀ニ商人ヲ携ヘ去リテ境界ニ於テノ英人ノ陣營ヲ破リシ。

(2) オハヨールニ近ク住ミシ處ノ印度人ハ此等ノ舉動ニ於テ愕カサレシ。

農家
養育サレシ

- (8) farm-house was brought up

彼等ハ神ガ彼等ニマデ此等ノ陸土ヲ與ヘタリシヲ告ケル爲ニ佛人ニマデ彼等ノ戰士ノ一人ヲ遣リシ。然レモ佛人ノ司令官ガ其レハ我陸土デアアル而シテ我が其レヲ有スルデアラウト酬ヘシ。然ル時ニ印度人ガ英人ト條約ヲ爲セシ。而シテヴァージニアノ知事ハ彼ガ英吉利ニマデ屬セシト云ヒシ處ノ地方ニ於テ彼等ノ傷害ヲ防止スルダマニ佛人ニマデ使節ヲ遣ルベク決定セシ。

(3) 此使節ニ向ツテ撰ハレタル人ハ其時二十一ノ壯者ナルジョージ・ワシントンデアリシ(彼ノ國ノ父ナル豪傑華盛頓ナリ)。華盛頓ハポトマック河ニ近キヴァージニア州ノ農家ニ於テ生レシ。彼レガ信實ニ且ツ貴クアリシ處ノ者ヲ愛スルベク彼レニ教ヘシ所ノ善長ナル母ニ依ツテ養育サレシ。

(4) ジョージハ巧手ナル騎者デアリシ。彼ノ母ガ二ノ愛馬ヲ持テ其レノ一ハ鞍ニマデ用ヒラレテアラザリシ。此馬ガ一日草野ニ於テ食シ

、アリシ時ニ或ル若キ人が其レニ乗ルベク言ヒ出テシ。然レモ彼等
 が無益ニ試ミシ、其レガ全ク彼等ヲ賤蔑ニ於テ置キシ。現時最モ若年
 者ノ一人デアリシ處ノジョーシガ其時試ナセシ。其レノ跳ル^{ジャンプ}及ビ
 蹴ル^{キック}ニモ拘ラズ彼ハ其ノ背上ニ乗ル^{ライド}ニ於テ遂クシテ而シテ猛キ
 駈リノ後動物ガ疲レテ倒レシマデ其處ニ彼ノ位置ヲ保チシ

(5) 學校ニ於テジョーガ遊戯並ビニ勉強ニ於テ總テノ童兒等ノ首デア
 リシ。彼ガ上手ノ測量師ニナリシ而シテ學校ヲ退ク^{リタイア}ノ後、間モヤ
 ポトマックニ於ケル荒原ノ大ナル土地ヲ測量スルベク使用サレシ。彼
 ガ森ノ中ニ屯營シ彼自身ノ獲物ヲ射シ彼自身ニ向ツテ其レヲ調理
 シ彼ノ皿ノ代リニ木片^{スティック}而シテヒノ代リニ彼ノ指ヲ用ヒシ。彼ハ直ニ
 彼ノ勇敢及ビ忠信^{フイロウチ}ノ爲ニ知ラレテナリシ而シテ此レガ佛人ニマ
 デ彼ノ使節ニ向ツテ彼ヲ擧スルベクヴァージニアノ知事ヲ誘ヒシ
 (6) 旅行ノ危難 佛人ノ堡砦ガモンシルヴァニアノ北西ニ於テアリシ。

拘ラズ
乗ル^{ライド}ニ
並ビニ
荒原
屯營セシ

(4) In spite of
getting on
(5) both and
wildland
camped out

其處ヘノ道ガ森及ビ沼ヲ經テ而シテ雨及ビ雪ニ依ツテ溢レタル河
 ヲ越テ達セシ。華盛頓ガ其レニ達セシ^{フレイ}ノ其レガ大ナル困難ヲ以テ
 ニアリシ。彼ガ成功ナシニ彼ノ使信ヲ務メシ。佛ノ司令官ガ出發ニ
 向ツテ全ク準備シタル彼ノ小舟ニマデ指示セシ而シテ春ニ於テ彼
 ガチハイオ川ヲ航シ降ル^{ランド}ニ而シテ彼ガ目撃スル各ノ英ノ陣營ヲ打
 破ル^{ブレイク}ヲ始計ミシ^{フレイ}ヲ彼ニ告ゲシ

(7) 多クノ懇切ナル印度人ガ華盛頓ニ同行シタリシ而シテ此等ヲ佛人
 ハ糖水酒及ビ贈物ヲ以テ彼ヨリ誘出スベク試ミシ。華盛頓ガ辛ウツ
 テ彼等ヲ除去シ能ヒシ。終ニ彼ガ何事ヲモナシ能ハザリシ^{フレイ}ヲ發見
 シテ彼ハ最初ニ彼ガ佛人ノ企望ニ就テ能ヒシ總テヲ知得シテ彼レ
 ノ歸ニ於テ出發セシ。彼ノ旅行ノ家ガ危險ニ就テ滿チテアリシ。其レ
 ガ非常ニ寒クアリシ。馬ガ衰弱シテアリシ而シテ彼ガ雪ヲ通過シテ
 徒歩ニ於テ往カネバナラナンドリシ。ニ心アル印度人ガ數英尺ノ距

(6) met with
(7) get away

目撃スル
除去セシ

離ニ於テ彼ノ頭上ニ砲發セシ然レモ彼ノ狂ヲ誤リシ
 (8) 終ニ單ナル夥伴ヲ以テ彼ガ泛ブ所ノ氷ニ付テ滿タル深キ河ニマデ
 來リシ。筏ヲ作りテ彼等ハ上ニ乘リ而シテ棹ヲ以テ其レヲ推シ渡ル
 一チカメシ。其レガ直ニ氷ノ塊ノ間ニ壓搾サレテナリシ。華盛頓ハ彼
 ノ棹ヲ以テ筏ヲ緊結スルベクカムル間ニ水ニマデ投ケラレシ而シ
 テ漸ク溺ル、一チ脱レシ

(9) 路ノ總テノ危難ヲ經テ華盛頓ハ天ノ力ニ依テ擁護サレシ。彼ガヴァー
 ジニアノ知事ニマデ彼ノ報告ヲナセシ而シテ勇氣其レヲ以テ彼ガ
 彼ノ職務ヲ勉メタリシ處ノ勇氣ニ向ツテ總テニ依テ賞賛サレシ。佛
 人及ビ英人トノ間ノ長キ戦争ガ續キシ其レハ佛人及ビ印度人ノ戰
 トシテ知ラル、

第二十四章

佛人及ビ印度人ノ戦争

ブラドックノ敗績

(8) get on the boats 上ニ乗リ

(1) 千七百五十三年 華盛頓ノ助言ニ依テ英人ガペンシルヴァニア
 ニ於テノピッツバーグガ今立ツ所ニ堡砦ヲ創設セシ。其レノ峻功ノ前

ニ其レガ其レヲ完全セシ而シテ其レヲチー、ケー、ンノ堡砦ト呼ビシ
 處ノ佛人ニ依ツテ取ラレシ

(2) 華盛頓ニ於テ指揮サレタル軍隊ガ此ノ陣營ヲ守ルタメニ差遣サレ
 シ。縱令其レヲ救ウマク餘リ遲シト雖モ、彼等ガ夜襲ニ依テ佛人ノ一
 隊ヲ劫セシ而シテ充分ニ彼等ヲ敗リシ。華盛頓ハ其後間モナク彼ガ
 建テタリシ所ノ柵ノ内ニ佛人及ビ印度人ノ大ナル軍勢ニ依ツテ取
 圍マレシ。彼ガ降ラントシタリシ然レモ彼ノ糧食ヲ保テ而シテ戦争
 ノ名譽ヲ以テ進ミ出ルベク許サレシ

(3) 千七百五十五年ニ於テブラドック將軍ガ佛人ヲ攻撃セント強キ軍隊
 ヲ以テ大英國ヨリ渡來セシ。彼ハ荒地ヲ貫キテ彼自身ノ路ヲナサネ
 ヲナラヌコノ事由ニ於テ唯々徐々ニ進ミテチー、ケー、ンノ堡砦ニ逆

●佛人及ビ印度人ノ戦

●千七百五十四年

(2) night attack

夜襲

ツテ進ミシ。華盛頓ハ彼レノ軍隊ニ結合シ而シテ印度人ノ伏兵ニ對
ウテ彼ノ警備ニ於テアルベク大將ニ注告セシ。然レモフラドックハ彼
ノ注告ニマデ何ノ注意ヲモ拂ハザリシ。蠻民ガ英ノ軍隊ニマデーノ
害ヲナシ能ハザリシト彼ガ云ヒシ

斬斷サレシ
中軍
退キ

(4) went ent down
main body
fell back

(4) フラドックノ敗績。 フラドックノ軍勢ガニューケーソン堡砦ノ數里ノ
内ニアリシ時ニ恐ロシキ砲發ガ不意ニ彼ノ上ニ注射サレシ、而シテ
印度人ノ喚聲ガ前面ニ於テ而シテ各方ニ於テ大氣ヲ破リシ。蠻民ガ
樹木及ビ岩石ノ後ニ隠レテアリシ而シテ英人ハ彼等ノ砲發ヲ應ス
ルノ機會ナシニ斬斷サレシ。先鋒ハ周章ヲ以テ捕ヘラレシ而シテ中
軍ニ於テ退キ。印度人ノ戰鬪ニマデ慣レテアリシ處ノヴァーシニア
ノ遊騎兵ガ一時ノ間ハ勇敢ニ彼等ノ輜重ヲ放棄シ而シテ戰場ヨリ遁レシ
雜ニマデ投ゼラレシ彼等ノ輜重ヲ放棄シ而シテ戰場ヨリ遁レシ
(5) フラドックハ彼レノ人々ヲ再集スルヲ務ムル間ニ死ヌベク傷ケテ

レシ。然ル時主モナル指揮權ガ華盛頓ニマデ落チシ。彼ガ戰爭ノ最モ頻
繁ナル處ニマデ彼躬ヲ投ゲシ。二ツノ馬ガ彼ノ下ニ斃サレシ。四ツノ
彈丸ガ彼レノ上衣ヲ貫キテ過ギシ。印度人ガ再三彼ヲ狂ヒシ。尙彼ガ
害セラレズニ脱レシ。然レモ無益ニ彼レガ此日ノ運ヲ變ズルベク圖
リシ

(6) 英人ハ彼等ノ大砲及ビ糧食ヲ損ヒツ、多クノ里數ヲ逃ケシ。フラドッ
クノ銳兵ガ破ラレシ而シテ其レハ佛人及ビ印度人ノ多ク尙寡キ軍
兵ニ依ツテ破ラレシ。佛ノ司令官ガ最初ニ堡壘ヲ放棄スルヲニ就テ
考ヘタリシ。彼ノ吏員ノ一人ガ駐リ且ツ敵ニ接スルベク彼ニ勸告セ
シ。而シテ彼ノ印度ノ同盟者ノ援助ヲ以テ余輩が見タ如ク彼ガ完ク
成效ヲテアリシ

(7) 英ノ殖民地ハフラドックニ多ク望ヲ期シテアリシ而シテ彼ノ敗績ニ
於テ大ニ失望シテアリシ。然レモ北ニ於テハ彼等ガ尙好キ結果ヲ得

(5) again and again 再三
(6) fine army 銳兵

シ。新約克州ニ於ケルジョージ湖ニ近ク彼等ハ彼等ノ堡砦ノ一ニ於テ
 襲撃ヲナシツ、アリシ所ノ佛人及ビ印度人ノ大ナル軍隊ヲ破リシ。
 彼等ガ亦現今コニーブランスウヰット稱セラレタルメイ^{合衆}ン^邦ノ
 東ニ在ル所ノ大ナル地方ヲ征服セシ

(8) ウヰリアム、ヘンリー堡ノ攻圍 千七百五十六年ニ於テ佛人が亞
 米利加ニ於ケル彼等ノ軍勢ヲ指揮スルベクモントカラムト呼バレ
 タル有名ナル將官ヲ派遣セシ。英ノ將官ノ怠慢ニ乗ツテモントカラム
 ガ場所ノ數多ク奪ヒシ。千七百五十七年ニ於テ佛人及ビ印度人ノ大ナ
 ル軍勢ヲ以テ加那陀ヨリ新約克州マテ進降シテ彼ガジョージ湖ノ南
 岸ニ於ケルウヰリアム、ヘンリー堡ニマデ彼ノ攻圍ヲ置キシ。此陣ガ其
 ノ指令官ニ依ツテ勇敢ニ防ガレシ其人ハ唯十四里隔リタル他ノ陣ニ
 於テノウヰヰブ將軍ノ麾下ナル英軍ヨリ援助ニ向ツテ望ミシ所ノ人ナリ
 (9) 然レモウヰヰブハモントカラムニ出逢ウヲ怖レテアリシ而シテウヰ

(9) take care
 held out
 gave out

注意
 支ヘン
 盡キシ

リアム、ヘンリー堡ノ衛兵ヲシテ其レ躬ヲ就テ。注意セシメシ。然レ
 指揮ニ於ケル士官ガ勇猛ニ支ヘシ。彼ガ降服スルヲ一致セシ
 ノ其レハ彼ノ大砲ガ大半毀裂シ而シテ彼レノ彈丸ガ盡キシマデハ
 アテザリシ。面目アル條約ガ承諾サレシ。兵隊ガ他ノ堡砦ニ於ケル彼
 等ノ夥伴ニ連合スルヲ許サル、ベクアリシ
 (10) 然レモ彼等ガウヰリアム、ヘンリー堡ヨリ出來リシヤ否ヤモントカラム
 ムノ軍隊ニ於ケル蠻民ガ彼等ヲ剝キ且ツ殺スベク始メシ。一般ノ虐
 殺ガ續ギシ。佛ノ士官ノ盡力ニモ拘ラズ英軍ノ唯一部分ガ免レシ。此
 時ニ至ルマデ佛人ガ一般ニ成功シテアツタリシ。彼等ガ今英人ダケ其
 レダケ二十倍多クノ土地ヲ亞米利加ニ於テ持チシ

第二十五章

佛人及ビ印度人ノ戦争ノ結局

(1) 英人ノ成效 英人ノ損失ガ彼ラノ將軍ノ無力ニ依リテ惹起サレ

●佛人及ビ印度人ノ戦争

●千七百五十八年

シ。其故ニ千七百五十八年ニ於テ彼等ガ尙好キ首領ヲ撰ビシ。許多ノ遠征ガ企テラレシ。此等ノ一ハノヴマスコッチアノ北東ナル島上ナル堅固ナル佛陣ルイスバークノ掠奪ニ於テ仕遂ケシ。佛ノ指揮官ハ彼ノ船ガ捕ラレ彼ノ大砲ガ破毀サレ而シテ彼ノ城壘ガ破壞サレシマデハ保維セシ。其レハ住民ノ嘆願徹ツセバ彼ガ然ル時ニモ投降セナシタデアラウ

- (1) battered down 破壞サレ
- had not been for the prayers 嘆願徹ツセバ
- (2) drove back 追返セシ
- blew up 毀テ

(2) 勇猛ナル佛ノ將軍ナルモントカルムハチコンデロガニ於テアリシ。此處ニ彼ガ英人ノ優リタル軍勢ニ依ツテ攻撃サレシ然レモ彼ガ敗走ヲ以テ追返セシ。デューケーン堡ニ逆ツテ指向ラレタル英人ノ遠征ガ尙多ク成效シテアリシ。斥候スル爲ニ遣出サレタル軍隊ノ一部ガ敗北サレシ然レモ華盛頓及ヒ彼ノ勇マシキヴァーニア人ガ堡壘ニ近接セシ時ニ佛ノ指揮官ガ火藥庫ヲ毀テ城壘ニマデ放火シ而シテ端舟ニ於テ彼ノ人ト共ニ退去セシ

木造家 都民院

(8) block-house House of Burgesses

(3) 華盛頓ガデューケーン堡壘ノ墟址ヲ越テ彼ノ國ノ旗ヲ揚ゲシ。新シキ

木造家ガ建テラレシ而シテ此場處ガ有名ナル英國政事家ナルピットニ從ウテピッツバークト名付ラレシ。其後直チニヴァージニアニマデ歸リテ華盛頓ガ大ナル名譽ヲ以テ迎接サレシ。地方其レニ於テ彼ガ住居セシ所ハ地方ハ殖民地ノ立法院ガ稱セラレシニ從ヘバ都民院ニ彼ヲ撰ビタリシ。彼ガ其院ニ於テ彼ノ席ヲ執リシ時ニ議長ガ起上リ而シテ彼ノ卓絶ナル行爲ニ就テ彼ノ國ノ名ニ於テ代リニテ彼ニ謝セシ。華盛頓ハ應フルタメニ起チシ。赤面シ、訥リシ、震慄セシ。然レモ一言モ云ヒ能ハザリシ。議長ガ云ヒシ華盛頓君ヨ坐セ貴下ノ謙遜ハ貴下ノ勇氣ト等シ而シテ其レハ余ガ有ツ何レノ語ノ力ニモ勝ルト

(4) シエベックノ沈落 其時佛人ノ所有ニ於ケル今最モ堅固ナル塙所ハシエベックデアリシ。此ガシュームスタウト大約全時ニ建テラレタリシ。此堡壘ハ高サ二百尺ノ殆ト直線ナル絶崖ノ上ニ在リシ。其レ

●シエベックニテウオルフ之攻撃●千七百五十九年

- (6) By dawn
bloody battle
- (7) into the hands

晨明比
激戦が
掌中ニ

(8) 斯クノ如クニシテ佛人及ビ印度人ノ戦争ガ結局セシ。其レガ六年以

(7) モントカルムモ亦彼ノ人々ヲ再ビ收ムルヲ力ムル間ニ死スベク
傷ケラレシ。彼レハ彼ガ此日殺ウヘク能ヒシ總テチナシタリシ
カチナシタレハ敗北
セシト云フテ舍クム 然レハ無益ナリシ。佛人が都府ニマテ遁ケシ而シテ三
日其後ニクエベックガ英人ニマテ投降セシ。翌年モントリールガ取ラ
レシ而シテ其レヲ以テ全ク加那陀ガ英人ノ掌中ニ陥チシ。其レガ爾
來彼等ノ所有ニ於テ殘ツカ

々ガ絶壁ヲ攀テ上リシ而シテ彼等ガ山頂ニ近接セシ時ニ彼等ニ向
ウテ發砲シタリシ所ノ佛ノ守兵ヲ逃走ニマテ置キシ。晨明頃ニ全英
軍ガ山嶺ニ於テアリシ。モントカルムハ彼レガ此等ノ報知ヲ受ケシ
時ニ驚愕サレシ。彼ノ人々ガ直チニ運動ニ於テアリシ。激戦ガ起リシ。
英人が成効シテアリシ。ウルフハ勝利ノ瞬間ニ於テ彼ノ成功ニ付テ
神ニ謝シテ而シテ彼ハ幸ニ死セシヲ云ヒツ、斃レシ

●クエベックニテウオルフ之攻撃●千七百五十九年

- (4) large army
- (5) several months
in all
- (6) was carried out

大軍
數月
全ク
實行サレシ

(6) 此企ガ實行サレシ。樹根及ビ林ニ依テ彼等躬ヲ支ヘテウルフノ人

ガ堅固ニ築カレシ而シテモントカルムノ麾下ナル。大軍ニ依テ防守
サレシ。此陣ヲ英人が捕ルベク決セシ。敢爲ナルウルフガ八千人ヲ以
テ其レニ逆ツテ遣ラレシ。彼等ガ千七百五十九年ノ夏ニ於テ到達セシ
(5) 數月ノ間ウルフガクエベックノ前ニ在リシ。彼ガ種々ノ計畫ヲナセシ
然レハ地位ノ強固ナルヲニ依テ全ク打毀サレシ。彼ガ成効ノ唯一ノ
機運ヲ見能ヒシ而シテ其レハ微ナリシト雖ハ其レヲ彼ガ試ミルベ
ク決定セシ。河ヲ溯リ航スル間ニ彼ガ堡砦ノ上僅カノ距離ニ岩及ヒ
茂森ノ中間ノ絶崖ノ前面ニ登リ達スル所ノ險阻ナル粗キ通路ヲ搜シ
出セシ。是レハ上都城ニマテ廣ガリシ所ノアブラハム平原ニ通ズル
ト彼ガ告ケラレシ。彼ノ企テガ夜中ニ上陸スルベク、狭路ヲ上リテ彼
ノ人々ヲ誘ヒシ頂上ニ於ケル佛ノ守兵ヲ襲ヒ而シテ然ル後堡ニ進
撃スルヲデアリシ

●クエベックニテウオルフ之攻撃●千七百五十九年

多額
交渉スル

(8) great deal
(1) interfer with

●太守トノ葛藤
千七百五十九年
百三十二
上續キシ而シテ勇敢ナル人々ノ數千ノ生命ヲ費セシ。二人ノ勇剛ナル將軍ウルフ及ビモントカラムハ多ク歎ガレシ。英人ガ其後場所其處ニ戰爭ガ戰ハレシ所ノ場所ニ於テ各ノ名ヲ保ツ所ノ碑ヲ建テシ。縱令英人ハ此戰鬪ニ於テ金錢ノ巨額ヲ費セシト雖、彼女ハ報酬ニ於テ新世界ニ於テ彼女ノ領地ヲ大ニ増加セシ

第二十六章

太守トノ葛藤

(1) 平和ガ今行ハレシ而シテ殖民地ハ若モ彼等ガ彼等躬ヲニマデ任カサレタリシナラハ榮ヘタデアラウ。然レハ英倫ノ王及ビ議院ガ彼等ヲ指揮シ而シテ彼等ノ事務ニ交渉スルヲ欲セシ。其後數年間太守ノ多クガ殖民地ニ向ツテ些カ注意セシ所ノ人デアツタリシ。彼ラノ主モナル目的ハ彼等躬ヲ富マシ而シテ彼等ノ權利ヨリ人民ヲ剝奪スルヲデアリシ

渡ス
現示スル所ノ
先王
取上グル
消サレシ

(2) give up
setting forth
previons king
take away
(8) was put out

(2) アンドロス及ビ免狀 然レハ亞米利加ノ勇壯ナル殖民ガ從ウベク任シテアラザリシ。一機會ニ於テ全英倫ノ太守トナサレタリシ處ノアンドロスガコンネチカットニマデ往キシ而シテ彼ラハ彼等ノ特許證ヲ渡サネバナラヌト人民ニ語リシ。此レハ彼等ガ彼等ノ免狀ヲ渡サネバナラヌト人民ニ語リシ。此ガ彼等ノ權利ヲ現示スル所ノ紙デアリシ。其レガ先王ニ依ツテ彼等ニマデ與ヘスレシ然レハ昔酷ナルジョージムス第二世ガ其レヲ廢止シタリシ而シテ取リ上グル爲ニアンドロスヲ遣リシ。人民ガ其レノ交付ニマデ抵抗シテアリシ而シテ集會ガ此問題ヲ論究シツ、アリシ所ノ會館ニマデ集リシ

(3) 特許證ガ卓上ニ開カレテアリシ。突然ニ蠟燭ガ消サレシ而シテ彼等ガ再ビ點火セラレシ時ニ特許狀ガ見出サレ能ハザリシ。愛國者ガ其レヲ以テ逃走セシ而シテ此ヨリ「特許狀辯」ト稱セラレタル大ナル辯論ノ空洞ノ中ニ其レヲ隱セシ。二年後ニ人民ガジョージムス王ハ彼ノ暴

●太守トノ葛藤

●千七百五十九年

百三十三

逆ノ事由ニ依リ英倫ニ於テ彼ノ王位ヨリ追放サレタリシヲ聞キシ。是レニ依ツテ彼等ガアンドロスヲ捕ヘシ英倫ニマデ彼ヲ遣リ返シ而シテ甚ダ價アル特許狀ヲ傷レズニ其レノ隠シ所ヨリ引出セシ太守フレッチャートノ葛藤。此後數年ニ王ガコンネチカットノ民

- (8) hiding-place 隠シ所
- (4) king's order 勅令

兵ヲ指揮スルベキ權力ヲ太守フレッチャーニ與ヘシ、而シテ彼ガ檢閲ノタメニ或ル日ニ於テハイトフホート全州ノ首府ニシテコンネチカット川ノ上流ニ於テ出ヅルベク彼等ニ命セシ。人民ガ彼等自身ノ士官ヲシテ彼等ヲ指揮セシムルヲ撰ビシ。フレッチャーガ到着セシ時ニ彼レハ彼等ノ頭ニ於テウアツウーイスト名付ケラレタル彼ノ首領ヲ以テ集合サレタル人ノ大ナル隊ヲ見出セシ。勅令其レニ依テ余ガコンネチカットノ民兵ヲ指揮スルベクアル處ノ勅令ヲ讀メトフレッチャーガ彼ノ書記官ニマデ言ヒシ。恰度其時ウアツウーイストガ號令ヲ與ヘシ而シテ士卒ハ書記官ガ聞カレ得ザリシ程左様ニ喧シク彼等ノ大鼓ヲ打ツヲ始メシ

- (5) to go on drawn g word 續ケル 抜刀
- (6) wringing out 絞出スル

(5) 靜マレトフレッチャーガ叫ビシ而シテ續ケルベク彼ノ書記官ニマデ手號セシ。彼ガ左様ニナリ得シ前ニ大鼓ガ再ビ各々ノ他ノ聲ヲ沈壓ナシツ、始メシ「靜マレト再ビフレッチャーガ殆ンド憤怒シテ喚ビシ。鼓手ガ止リシ然レモウアツウーイストガ彼ノ拔刀ヲ以テ猛ク進ミテ彼等ニ續ケト命セシ。若モ汝ガ再ビ彼等ヲ阻止スルナラバ余ハ汝ヲ通シテ日光ヲ輝カシムルデアラウト彼ガフレッチャーニマデ云ヒシ。フレッチャーガ此レヲ聞キシ時ニ彼ガ彼躬ヲノ士官「ヴァンヌウ」ニマデコンネチカットノ民兵ヲ任スルベク決定セシ陣「ヴァンヌウ」脱ナキ課税 佛人及ビ印度人ノ戦争ガ亞米利加ヨリ金錢ヲ統出スルヲ爲ノ新口實ヲ與ヘシ。王及ビ議院ハ戦争ガ殖民ノ防禦ニ於テアツタリシ故ニ殖民地ハ其レニ向ツテ償金セネバナラヌヲノ口實ヲ持チシ其故ニ彼等ガ亞米利加ニ輸入サレタル種々ノ品物ノ上ニ稅ヲ課セシ。殖民地ガ戦争ノ費用ヲ負ウベク甘ンテアリシ。然

(1) Stamp Act
country's rights
different part

印紙條例
國權
所々

(3) that body 其院
(7) new measure 新法
by force of arms 腕力ニ依テモ

●印紙條例ノ發布

●千七百六十年

百三十六

レハ彼等ハ議院ガ彼等ニ課税スルベキ一ノ權ヲ有セザリシヲ主張セシ何トナレバ彼等ハ其院ニ於テ何タル議員ニ依テ代理サレテアラザリシ殖民地ヨリ一議員モ出席シテ居ラ。故ニ代理ナキ課税ニマデハ彼等ガザルヲ以テ課税ノ權ナキナ云リ服従セヌデアラウ

(7) 千七百六十年ニ於テ議院カ惡ムベキ税ヲ徵收スルノタメニ新法ヲ定メシ。殖民地ハ直チニ大ナル激動ニ於テ投ケラレシ激動シダシ。集會タルヲ云リガ催サレシ而シテ人民ハ斯ノ如キ專横ナル權ヲ議院ノ僭越スルニ付テ抗論セシ。激論ガ千七百六十五年ニ於テ有名ナル印紙條例ヲ議院ノ發布スルニ依テ増サレシ。此條例ニ從ハハ總テノ新聞紙及曆、一切ノ契約書、證書、條約書等ガ一錢ヨリ殆ト三十弗マデ順列シル價ニ於テ政府ヨリ買ハル、ベクアリシ所ノ印紙ヲ保ツベク要セラレシ。此税ヲ殖民地ガ若シ止テ得ザレバ腕力ニ依ツテトモ抗スルベク決セシ

第二十七章

革命ノ原由

(1) 殖民地ヲ全通シテノ憤怒 印紙條例ガ發布サレタリシ所ノ報知ガヴァーシニアニ達セシ時ニ都民院ガ會合ニ於テアリシ。議員ノ中ニパトリック、ヘンリート呼バレタル烈シキ能辨及ビ怖レザル氣象ノ若キ法律家ガアリシ。彼ノ國權上ノ此ノ暴戾ニ於テ激怒シテ彼ガ其レノ前ニ總テチ勵セシ所ノ激シタル演說ヲ吐露セシ。大逆々々ノ喚聲ガ王ノ事由ニ左袒セシ所ノ議員ニヨリテ議院ノ所々ニ於テ揚ゲラレシ。然レハ何人モガパトリック、ヘンリートノ能辨ノ猛勢ニ抗敵シ得ザリシ。其レカ各ノ貴キ胸中ニ抵抗ノ思想ヲ惹起セシ

(2) 人民ガ語ニマデ彼等自身ヲ制限シナサトリシ。彼等ガ印紙ヲ賣ルベク命セラレシ處ノ其等ノ肖像ヲ燬キシ。印紙ヲ以テノ船ガ達セシ時ニ彼等ガ鐘ヲ鳴セシ而シテ喪服ヲ着シテ街道ヲ歩ミシ。彼等ガ印紙

●革命ノ原由

●千七百六十八年

百三十七

- (4) go back 返ス
after dark one night 一夜暮後
great crowd 大群集
- (5) have got to pay 拂ハ子バナラメ

(6) **波士頓ニ於テ茶ノ暴動** 千七百七十三年

陸揚セシメヌデアラウ然レモ彼等ヲ英倫ニマデ送り返セシ。波士頓ニ於テ茶ニ付テ充載サレタル三艘ノ船舶ガ到達シタ所デ太守ハ彼等ガ返シテハナラヌト尙又彼等ノ船貨ガ陸上ゲセネバナラヌトテ主張セシ。其故ニ一々暮後、印度人ノ如ク假扮シタル人ノ一組ガ船中ニ行キ而シテ港ニマデ船外ニ茶ヲ放棄セシ。此レガ埠頭ニ於テ集合シタル大群集ノ喝采ノ中ニ成サレシ

(5) 彼ヲノ歸リニ於テ彼等ガ英ノ水師提督ガ夕ヲ費シテアリシ所ノ家ヲ過ギシ。窓ノ外ニ彼ノ頭ヲ置キツ、彼ガ叫ビシ。傭童兒等ヨ否汝ハ汝ノ印度人ノ跳舞ノ爲ニ好夜ヲ得ク然レモ汝ハ提琴手ニ拂ハネバナラヌヲ思ヘト。群集ノ一ガ云ヒシ「オ、決シテ掛念スルナ直チニ汝ガ此ニ出來レ而シテ余輩ガ二分内ニ計算書ヲ定ムルデアラウ」ト。然レモ水師提督ハ誘出シ辭セシ

(6) **グーヴ** 將軍ガ今マサチューセツツノ太守デアリシ。人民ノ朋友トナル

波士頓ニ於テ茶ノ暴動

千七百七十三年

- (2) painters' colors,
- (4) to take off

繪具
廢スルヲ

●波士頓ニ於テ茶ノ暴動 ●千七百七十三年 百三十八

ノ全キ僅チ打毀セシ而シテ彼等ヲ分配セシ或ハ用ユルデアラウ處ノ總テヲ脅セシ。其故ニ議員ガ此ノ條例ヲ廢セシバナラナシ。然レモ其レガ尙課税ノ權利ヲ主張セシ而シテ殖民地ニマデ輸入サレタル總テノ茶、硝子、紙及ビ繪具ニ於テ税ヲ課セシ

(3) 殖民ガ尙又不平デアリシ、而シテ彼等ハ英國ノ兵士ガ彼等ヲ從ハシムルベシ波士頓ニマデ命セラレタリシトテ聞キシ時ニ彼等ガ曾テヨリハ尙多ク忿怒シテアリシ。兵士ガ彼等ノ到着ニ於テ人民ヲ無禮ニ遇セシ然ルニ彼等ノ士官ガ罰ヨリ彼等ヲ庇護セシ。彼等ガ間ナク波士頓ノ市民ト相撞チ得シ其レニ於テ終者ノ三人ガ殺戮サレシ。此レガ波士頓ノ虐殺ト稱セテレシ

(4) **波士頓港埠**ニ於テ茶ヲ投棄スルヲ 議院ガ終ニ茶ノ外各ノ品物ヨリハ税ヲ廢スルヲ允當ト視シ。殖民ガ然ル時何タル茶モ用ヒヌベク決意セシ。此品物ヲ保ツ處ノ船舶ガ渡來セシ時ニ彼等ハ彼等ヲ

(7) Bodies of militia
far and wide
(1) broke out
getting out

民兵隊
縦横ニ
破裂セシ
募集スルヲ

(6) In stead
more and more
(7) agree upon

代リニ
益々
決定スル

●波士頓ニ於テ茶ノ暴動

●千七百七十三年

百四十

ノ代リニ彼が彼ノ兵士ヲシテ益々彼等ヲ發怒セシメシ。童兒ヲサヘモ免レナサ、リシ。赤服ガ彼ノ遊戯ニ干與セシ彼等ノ氷滑ベリスル處ノ池ヲ通シテ破リシ而シテ彼等ガ愁訴セシ時ニ彼等ヲ若キ反逆人ト呼ビシ。終ニ彼等ガ隊ヲ集合セシ而シテゲーシ將軍ニマデ往キシ。彼等ガ大膽ニモ如何ニ彼ノ兵士ガ彼ヲ虚遇シタリシ而シテ彼等ガ最早其レヲ堪ヘ能ハザリシヲ彼ニ告ケシ。將官ガ彼等ヲ嘆賞スルヲ避ケ能ハザリシ。往ケ我勇取ナル童兒等ヨ而シテ若モ我軍兵ガ再ビ汝ヲ煩ハスナラハ彼等ガ罰サル、デアラウヲ確メテアレト彼ガ答ヘシ

(7) 決定サレタル抵抗 議院ガ其レノ要求ニ於テ固執セシ、殖民者ガ彼ヲ拒ミシ。然レ阻與ウルヲ欲セザリシ。無益ニゲーシ將軍ガ重立タル愛國者ニ贈賂スルベク試ミシ。王ガ彼等ヲ買ウベク充分金錢ヲ有セザリシ。處々ノ殖民地ヨリノ代理人ガ抵抗ノ法ヲ一決スル爲ニ千

七百七十四年ニ於テ費拉特費亞ニ於テ會セシ。民兵隊ガ組織セラレシ。士官ガ命セラレシ。彼等ガ稱セラレシニ從ヘ「分人」ガ一瞬間ノ號ニ於テ彼等ノ小銃ヲ荷ウニ一致セシ。パトリック・ヘンリーガ再ビ「ヴァージニアニ於テ彼ノ聲ヲ揚ゲシ。余ニ自由ヲ與ヘヨ否ラザレハ余ニ死ヲ與ヘヨ」ナル彼ノ震ヘル所ノ語ガ殖民地ヲ通シテ縦横ニ響キシ

第二十八章

革命ノ始リ

(1) 千七百七十五年ニ於テ長ク先見サレタル戦争ガ破裂セシ。其レガ革命ノ役トシテ知ラル、其年ニ於テ早ク英ノ議院ハマサチニューセツガ謀反ニ於テアリシヲ布告セシ而シテ尙多クノ軍兵ヲ遣出セシ。ゲ
ーヲ將軍ガ都府ト本土トヲ續ケル所ノ波士頓、ネック
固メタリシ。愛國者ガ波士頓ヨリ彼等ノ軍費ヲ募集スルヲニ於テ或

●革命ノ始

●千七百七十五年

百四十一

波士頓ト本州トヲ連結スル所ノ地峽ナリ

ル困難ヲ持テシ。彼等ガ肥料ノ荷ノ中ニ彼等ノ大砲ヲ隠シ而シテ彼等ノ火薬及ビ銃砲ヲ市箱及ビ蠟燭箱ノ中ニ隠セシ。斯様ニシテ彼等ガ疑ハレズニ番兵ヲ過ギシ

(2) 愛國者ガ波士頓ヨリ數里ナルコンコードニ於テ彼等ノ兵糧ノ多クヲ集メシ。此ニ付テ聞ク所デグーシ將軍ガ一夜彼等ヲ打滅ホスタメニ八百人ノ軍兵ヲ遣リシ。其レガ甚ダ秘密ニナサレシ。然レモ愛國者ガ何ヲ成シツ、アリシカチ發見セシ。彼等ガコンコードノ方ニ進行セシ時ニ英軍ガ接近ノ國ニ於テ鳴ル所ノ鐘及ビ砲發スル所ノ大砲ヲ聞キシ。此等ガ集マルベク「分人」ニ向ツテノ暗號デアリシ

(3) レキシントンノ役 波士頓及ビコンコードトノ中間半途ヨリハ少シヨリ多クニレキシントンノ村ガアリシ。此處ニ英人ガ晨明ノ後間モナク到達セシ。彼等ガ草地ノ上ニ「分人」ノ隊ヲ見出シ「解散セ汝等反逆人ヨ」ト英將ガ彼等ニマデ騎リ進ミツ、云ヒシ。彈丸ガ其時放タ

市箱
蠟燭箱
中途

- (1) markets-baskets
candle-boxes
- (8) half way

レシ。亞米利加人ノ多クカ斃レシ。殘者ガ遁逃セシ。此レガ革命ニ於テ溢サレタル最初ノ血デアリシ

(4) 英軍ガコンコードニマデ進行セシ。此處ニ彼等ノ或ル者ガ橋ヲ支ヘシ其間ニ餘者ガ兵糧ヲ害スルタメニ行キシ。其ノ時ニ若干ノ亞米利加民兵ガ來會セシ而シテ小戦ガ橋ニ於テ生ゼシ。多クガ兩側ニ於テ倒レシ、而シテ彼等ノ同胞ガ歸リ來リシヤ否ヤ英人ハ歸途ノ行軍ヲ始メルベク悦ンデアリシ。彼等ガ二大砲ヲ毀損シタリシ、河及ビ井ニマデ大砲彈藥ノ夥多ヲ投シタリシ而シテ麥粉ノ殆ンド六十「パール」^{「パール」ハ「五斗六升弱ナリ」}ヲ耗クシタリシ

(5) 麥粉ノ大ナル分量ガホーラート呼バレタル磨者ニ依テ救ハレシ。其レガ彼躬ヲノ若干ト共ニ彼ノ小屋ノ中ニ時ヘテアリシ。兵士ガ其場處ヲ探ス爲ニ來リシ時ニホーラーハ彼ガ磨者デアリシ而シテ穀物ヲ磨スルコトニ依リ彼ノ生活ヲナセシコトヲ彼等ニ告ゲシ。然ル時彼自

- (8) gave way 遁逃セシ
- (4) had broken to pieces 砕クナシタリシ

- (7) go strike a blow
- (8) fowling-piece made out gaunger boi dashed away
- (9) only child

往ヲ戰へ
鳥銃ヲラレタル
次男トリ
獨子

- (5) private property went away
- (6) brave man all sides was ready to sink

私有
立去リシ
勇者
方々
將ニ斃レントシテアリシ

身ニマデ屬セシ處ノ桶ノ上ニ彼ノ手ヲ措キテ彼ガ云ヒシ「此ガ余ノ
麥粉デアアル、必ズ汝ガ私有ヲ損ハヌデアラウト」兵士ハ彼ガ云ヒシ處
ノ者ヨリ其ガ全ク彼ノデアアリシコトヲ想ヒシ而シテ何タル傷害ヲナ
スコトナシニ立去リシ

(6) 英人ガ彼等ノ歸途ニ於テ酷シク惱ミシ。警報ガ擴マリタリシ而シテ
近隣ノ國ノ勇者ガ方々ヨリ來リシ。小屋及ビ家、樹木及ビ牆ノ後ロ
彼等躬ヲテ構ヘテ彼等ガ退ク處ノ英人ノ上ニ痛ク砲撃ヲ注ギシ。空
シク終者英人チ承クガ其レニ返報スルマシカメシ。波士頓マデノ全路ニ彼
等ハ斯様ニ困苦セラレシ。彼等ノ列ガ薄ラギツ、續キシ而シテ彼等ガ
勞苦ヲ以テ將ニ斃レントシテアリシ。彼等ハ新軍ガ彼等ノ援助ニマ
デ遣ラレナンダリシナランニハ決シテ市府ニマデ達サナンダデア
ラウ

(7) 國ガ擾亂セシ

レキシントノ戦争ノ報知ガ一般ノ蜂起ニ向ッ

テノ暗號デアリシ。農夫ガ彼ノ鋤ヲ放棄シ而シテ工匠ガ彼ノ工場ヲ
放棄シタリ。老人及ビ童兒デスラモ彼等躬ヲテ用ウベク急ギシ。婦妻
ガ彼女ノ良人ニ劍ヲ帶ハシメシ。母ガ彼女ノ子息ヲ勵マシ而シテ彼
ノ國ノ爲ニ往テ戰ヘト彼ニ命ゼシ

(8) 或ル母ガ鳥銃及ビ彼女ノ錫ノ七ヨリ製セラレタル彈丸ヲ以テ彼女

ノ嫡男ニ與ヘシ。彼女ノ次男ガ唯十六デアリシ。彼ノ爲ニ彼女ガ舊キ
錆タル劍ノ外何物モ有セザリシ。彼レニ此レヲ與ヘテ彼女ガ涙ヲ拭
ヒ取り而シテ彼ノ兄ニ續ケヨト彼ニ命ゼシ。彼女ガ云ヒシ「劍ヲ乞ヘ
或ハ借レ若クハ汝ガ或者ヲ發見スルデアラウ。或ル懦夫ハ遁去シテ
アルデアラウト妾ハ斷言スル。然ラバ彼ノ銃砲ヲ捕リ而シテ前ニ進
メ」ト云ウ意ハ行テ劍ヲ乞フカ又借リルカ將又拾ウコトモアラシ。憶病者ハ逃ゲルダラウト妾
ハ思ヒマスカラ然ラバ其砲ヲ取り出陣ナセト云ウコトニテ人民ノ激怒推スルニ餘リアリ

(9) バーンステールニ於テ農夫ノ獨リ子ガ將サニケムブリッジニマ
デ進行セントシテアリシ處ノ同勢ニ打混リシ。彼ラガ村ヲ去ルコトニ

ミシテ而シテ彼等ハ彼ラノ生命ヲ以テ彼等ノ自由ヲ得ルデアラウ
 兵力ニ訴ヘテモ自ト云ヒシ。此ガ獨立ノ最初ノ布告デアリシ
 由チ欲スト云ウ意
 (2) チヤム プレーン 湖 「ヴァーモント州」ノ西ニアル長キ大湖
 ロガ 全上ノ湖ト「ジョージ」湖ガ中間ノ地峽ニアリ 英兵ニ依テ陣取サレテアリシ。エザン、アレン
 及ビ彼ノ勇マシキ「緑山ノ男兒隊」ガ此陣ヲ奪ウベク決セシ。緑山ハ「ヴ
 ァーモント州」中ニアル而シテ此地方ノ勇敢ナル土工兵ガ彼等自身ヲ「緑
 山ノ男兒隊」ト稱セシ。彼等ハ何タル敵モ近クコアリシヲ備兵ノ疑
 惑スルコトナシニチコンデロガノ向側ナル湖ノ濱ニ於テ集リシ
 (3) 隊ノ一人ガ刺ラル、ベク要メシ所ノ失儀ナル田舎童兒デアアルベク
 伴リテ堡砦ニマデ往キシ。彼ガ此場處ニ就テ能ヒシ總テチ知ルコト
 後彼ガ彼ノ味方ニマデ歸リシ。夜中ニ彼等ガ渡ルコト始マシ然レモ
 其處ニ全キ人ヲ遣リ渡スベク充分船ガアラザリシ。晨明ガ近ツキシ
 故ニアレンガ更ニ多クニ向ツテ埃ツコト肯ンゼヌ所デア堡砦ニマデ

●緑山ノ男兒隊

●千七百七十五年

百四十七

(9) came forth

or else

(1) to take refuge

出來

否ラサレバ

逃レル

於テ彼ノ父ノ家ヲ過ギシ時ニ彼ガ出來リ而シテ云ヒシ「天帝ガ全ク
 汝等ト共ニアル我友ヨ、而シテシヨノ若モ我悻ナル汝ガ戰場ニマデ
 招カル、ナラバ汝ガ男ヲシク行ウコト注意セヨ。否ラザレバ余チシ
 テ再ビ汝ノ顔ヲ見セシメナ」ト 云ウ意ハ天帝汝下等ヲ共ニ保護サレマスヨ悻ノ「シヨ」ト
 暇ニ出ル時ハ男子ヲシク働ク様ニセヨ若シ身法ナルコトナ
 サバ再ビ我ニ顔ヲ向。此ガ各處ニテノ氣風デアリシ。二万ノ愛國者ガ直ニ波
 クルナト云ナリ
 士頓ノ周圍ニ軍裝シテアリシ

第二十九章

チコンデロイガノ略取

エザン、アレン

(1) 抗敵ノ精神ガ新英倫ニマデ限ラレザリシ。ヴァーシニアニ於テ太守ガ
 英船ニ於テ逃レルベク其レヲ聰明ト想ヒシ 逃レルヲ上策ト。北及ビ南ケ
 思ヒシト云意
 ロリナノ太守ガ亦遁ガルベク餘儀ナクサレシ。レキシントノ役ノ
 後恰度一月ニ集會ガ北ケケロリナナルチャーロットニ於テ催サレシ。人民
 ガ其處ニ王英王ヨリ獨立ニ彼等躬ヲ布告スルベク如ク左様ニ多ク進

●緑山ノ男兒隊

●千七百七十五年

百四十六

彼レノ人々ヲ導キ上リシ。彼レガ近接セシ時ニ番兵ガ此隊ニ向ツテ
彼レノ銃砲ヲ彈スチツプキシ。然レモ其レガ發砲ヲ誤リシ。彼ガ然ル時ニ亞米
利加人ニ依テ接シテ逐ハレテ警戒ヲ揚ゲルタメニ堡砦ニマデ走リシ

(4) 驚サレタル兵士ガ彼等ノ寢床ヨリ跳起セシ然レモ其レハ彼等躬ヲ
チ俘囚ト見出ベキノミデアリシ。指揮スル所ノ士官ガ彼ノ妻ニ依テ
從レテ彼レノ寢衣ニ於テ彼レノ陣營ノ入口ニマデ突出セシ。チレンガ
彼ノ人ニ迄指シテ彼レヲシテ降服セシメシ。如何ナル權利ニ由テ汝

ガ其レヲ命ジナスカト彼ガ尋ネシ。天帝及ビ大陸會議ニ代リテガ
アレシノ答デアリシ。其處ニ其レニ向ウターノ助ガアラザリシ。堡砦
ガ其レノ兵糧、火藥及ビ大砲ヲ以テ投降シテアリシ。其レノ多クガ愛
國者ニ依ツテ多ク要セラレシ所ノ者ナリ

(5) エザン、アレシガ其後、間モナク加那陀ノ襲撃ヲ企テシ。モントリール
ヲ取ルヲ試ミテ彼ガ英人ニ依ツテ彼躬ヲ捕ヘラレシ。彼等ガ足械

アイオンズ

() led up 導キ上リシ
drew near 近ヨリシ
closely followed 續シテ

ニ於テ彼ヲ入レ而シテ英倫ニマデ彼ヲ遣リシ。此處ニ彼ガ反逆人ト
シテ縊殺サル、セントラフノ危難ニ於テアリシ。彼ガ放免サレシ前其レガ二
年以上デアリシ。場處ヨリ場處ニマデ俘囚トシテ遣ラレテ彼レガ半
ハ俄サレシ而シテ賤視及ビ殘酷ヲ以テ遇セラレシ

(6) 一ノ英船ニ於テ彼ガ親切ヲ以テ遇セラレシ而シテ彼ガ好ク其レヲ
償ヒナセシ。其處ニ船中ニ米人ノ俘囚ノ群ガアリシ而シテ彼等ノ若
干ガ船長ヲ殺シ而シテ船及ビ其レガ保チシ處ノ金錢ノ大ナル額ヲ
奪ウベク企テ始計ミシ。水夫ノ群ヲ引入レテ彼等ガ彼等ニ加盟スル

ベクアレシヲ得ルベク試ミシ。然レモ彼ガ憤リテ拒辭セシ而シテ彼
ガ左様ニ能ク全ク彼等ヲ待ヒタリシ處ノ船長ノ防禦ニ於テ彼ノ生
命ヲ冒スデアラウト。彼等ニ告ケシ。彼ノ脅迫及ビ説諭ニマデ歸シテ
彼等ガ企テ放棄セシ

(7) エザン、アレシハ彼ガ勇敢デアリシ如ク左様ニ正直デアリシ。彼ハ一

(6) having won over 引入レテ
gave up 放棄セシ

- (8) commander-in-chief
- (1) take possession of

大元帥
占領シ

- (7) to get put off
Rushing up
- (8) in earnest

猶豫セシムルベク
突出シテ
只管

●エザン、アレン

●千七百七十五年

百五十

度彼が負債セシ處ノ人ニマデ百五十弗ニ向ツテ彼レノ證書ヲ與ヘシ。其レガ満期ニナリシ時ニ彼ガ其レヲ拂ヒ能ハザリシ。彼ガ訴出デラレシ而シテ彼ガ錢ヲ工面シ得シマデ此事件ヲ猶豫セシムルベク。代理人ヲ雇ヒシ。彼ハ彼ノ代理人ガ法庭ニ於テ起テ而シテ證書ノ印形ヲ肯ミシ時ニ全ク驚イテアリシ。彼ニマデ。突出シテ彼ガ叫ビシ「君ヨ我ハ此處ニ來リ而シテ詐ル爲メニ汝ヲ備ヒナサ、リシ。其レガ眞實ノ證文デアアル。我ハ其レニ調印セシ而シテ我ハ其レヲ拂ウデアラウ。我ハ一ノ詐計ヲ要セヌ。我が要スル總テハ時デアアル」ト。彼ハ彼ガ要セシ時ヲ得シ而シテ證書ガ拂ハレシ

(8) 其日其レニ於テエザン、アレンガチコンデレガチ捕リシ處ハ其日千七百七十五年五月十日大陸會議ガ費拉特費亞ニ於テ再ビ會合セシ。彼等ガ只管戰爭ノ爲ニ準備セシ。紙幣ノ大額ガ發行サレシ。ジョージ、ワシントン其人ニ付テ余輩ガ以前ニ佛人及ビ印度人ノ戰爭ニ於テ

開キシ所ノ「ジョージ、ワシントン」ガ大元帥ニ撰ハレシ。彼レハ其處ニ集リタル愛國者ノ指揮ヲ取ルベク波士頓ニ近キケラムブリッジニマデ急ギシ。然レモ彼ガ到達セシ前英國ヨリ新キ軍兵ノ大數ガ波士頓ニ達シタリシ而シテ主ナル戰爭ガ戦ハレタリシ

第三十章

バンカー、ヒルノ戦

(1) 波士頓ニ於テノ事件 千七百七十五年六月ニ於テ先ニ華盛頓ガ主要ナル命令ヲ受タリシ一萬ノ英軍ガ波士頓ニ於テアリシ。殆ンド二倍タケ多クノ米人ガ市府ノ周圍ニ集合シタリシ。然レモ彼等ガ貧シク用ウテアリシ而シテ彼等ノ多クハ嘗テ戰爭ニ於テアテナンタリシ。大概ガ是マテ戰爭シタ。英人ガバンカー山「ナヤールレストン」府ノ北ニアリ我「ナキ人々ナリト云意」山ト稱ス者多シ。守衛スルヲ企テシヲ聽キテ米ノ將官ガ彼ヲ先ンシテアルベク決セシ。其故ニ其ノ同夜彼ガバンカー山ヲ占領シ而シテ其レノ防禦ノ爲ニ土ノ

●バンカー、ヒルノ戦

●千七百七十五年

百五十一

胸壁ヲ積上ゲルベク一千人ト共ニプレスコット大佐ヲ遣リシ然レモ近傍ナルブリート山ガ代リニ撰ハレシ

(2) 人々ガ終夜彼等ノ鶴嘴鋤及ビ鍬ヲ以テ靜カニ働キシ。彼等ガ總テ平安デアルト喚ブ波士頓ニ於ケル英ノ番兵ヲ聞キシ。然レモ英人ガ彼等ヲ聞キナサ、リシ而シテ翌朝市府ヲ總覽スル處ノ長キ堡障ヲ見ルベク驚カサレシ。戦争ガ決セラレタ。英軍ノ精銳ガ米人ヲ驅逐スル爲ニ遣ラレシ而シテ港内ノ英艦ガ丘陵ノ上ニ砲撃ヲ始メシ。波士頓及ビ周圍ノ地方ノ家根及ビ寺塔ガ憂悶セル參觀人ヲ以テ充チテアリシ。

- (2) throw up near by 積上ゲル 近傍ナル
- (3) charged up flesh troops was brought up 襲ヒシ 新軍 率ヒ來ラレシ

(3) バンカー山ノ戦 再度英軍ガ丘陵ヲ襲ヒシ。米人ハ彼ヲカ敵ノ眼ノ白睛ヲ見シマデ待ツベク而シテ然ル時低ク砲撃シ且ツ彼等ノ火藥ヲ費消セヌベク命セラレタリシ。彼等ガ命令ニ隨ヒシ而シテ二度英ノ精兵ガ彼等ノ上ニ率ヒ來ラレシ。新軍ガ其時率ヒ來ラレシ而シ

鐘キ

(3) gave out

テ第三攻撃ガナサレシ。不幸ニシテ米人ノ火藥ガ今盡キシ。彼等ガ石及ビ先太棒ニ代ヘテ小銃ヲ以テ英人ヲ激ハシ。然レモ其レガ抵抗スルベク無益デアリシ而シテ退軍ガ命セラレシ。

(4) 彼等ガ城堡ヲ去リツ、アリシ時ニ有名ナル愛國者ノウェレン將軍ガ痛ク傷付ラレテ斃レシ。プレスコットハ朝ニ於テ命令ヲ彼ニ申出タリシ。彼ガ知ルベク來ツタヲ云ヒツ、其レヲ拒ミシ而シテ尋常兵士トシテ隊列ノ中ニ勸メシ。英將ハ其レガ五百ノ尋常ノ兵士ノ其レヲ價シテアリシ。一將五百人ニ敵ヲ云ウテ彼ノ死ニ於テ喜ビシ。

(5) 縦ヒ彼等ノ地ヨリ追出サレシト雖モ米人ガバンカー山ニ於テ大ニ利ヲ得シ。彼等ガ英人ノ半分ヨリダケハ僅少ノ人ヲ失ヒシ而シテ若シモ彼等ノ軍需ガ續キタリシナラハ疑モナク戰場ノ主ニ殘ツタデアテウ。宏大ナル碑ガ其後此戦争ヲ表スル爲ニウァーレンガ死セシ所ノ場所ニ近ク建テラレシ。

- (7) came out 出来リシ
- throw off 脱ギ
- (9) had passed through 經歷シタリシ

- (6) galloped off 疾リシ
- (7) young man 壯者
- pro-aded about 徘徊セシ
- throwing in 投入スル
- brove out 逐出ス

●プトナム氏之傳

●千七百七十五年

百五十四

(6) バンカー山ニ於テ善キ務メヲナセシ所ノ其等ノ中ニ「プトナム」將軍ガアリシ。彼レハ彼ガレキシントノ戰ニ付テ聞キシ時ニ「併ヤシテアリシ。彼ノ衣服ヲ着替ル」ヲ待ツ「スラモナシ」ニ畑ニ於テ彼ノ鐵ヲ投去テ、彼ガ彼ノ馬ニ騎シ而シテ「ケムプリッ」ニ向ツテ去リシ。彼ガ佛人及ビ印度人ノ戰爭ニ於テ從軍シタリシ而シテ殆ンド六十才老テアリシ。然レモ彼ガ前ノ如ク強ク且勇敢ニアリシ。

(7) プットナムノ畑ガコンネチカットニ於テアリシ。此處ニ壯者ノ時ニ彼ハ彼女「狼」ガ能ヒシ處ノ者ヲ害シツ、而シテ常ニ獵者ヲ逃レツ、國ヲ徘徊セシ處ノ狡猾ナル狼ニ依ツテ多ク惱マサレシ。或ル夜中ニ彼女ガ彼ノ「ナベク」羊及ヒ山羊ノ七十匹ヲ殺セシ。プトナム及ビ彼ノ近隣ノ多クガ死ニマデ彼ヲ獵スルベク決セシ。彼等ガ彼ノ穴ニマデ彼女ヲ跡付シ、其レガ深キ洞穴デアリシ而シテ燃ヘタル藁及ビ硫黄ヲ投入スル「」ニ依テ彼女ヲ逐出スベク試ミシ。然レモ益ナカリ

シ。犬ガ然ル時遣リ入レラレシ。彼等ガ間モナク吼ヘテ且ツ痛ク負傷サレテ出來リシ而シテ歸ルベク拒ミシ

(8) 遂ニ「プトナム」ガ彼ノ上衣ヲ脱ギ而シテ彼ノ脚ノ一ニマデ繩ヲ結ビシ而シテ一ノ手ニ於テ炬火ヲ以テ而シテ他ノ者(手)ニ於テ彼ノ裝藥サレタル銃砲ヲ以テ穴ニマデ降りシ。憂慮シテ上ニ聽キツ、アリシ處ノ彼ノ同伴ガ間モナク怒リタル唸聲ト而シテ小銃ノ銃キ爆聲ヲ聞キシ。彼等ガ「プトナム」ヲ曳上ゲシ。再ビ彼ガ降りシ而シテ此度ハ曳上ゲラル、トニ於テ彼ガ死シクル狼ヲ耳ニ依テ携ヘシ

(9) 彼ノ朋友ガ彼ヲ呼ブ如ク「老タル、プト」ガ多クノ震慄スベキ場合ヲ經歷シタリシ。彼ガ曾テ彼ノ生命ノ冒險ニ於テ而シテ或ル恐ロシキ燒傷ナシニハナク燒失サル、トカテ「エドワード」堡ヲ救ヒ而シテ爆裂スル「」ヨリ火藥庫ヲ救ヒシ。他ノ時ニ於テ彼ハ彼ヲ苦シムル「」ヲ準備セシ處ノ印度人ノ一組ニ依テ捕ヘラレシ。彼等ガ樹木ニマデ彼ヲ

●プトナム氏之傳

●千七百七十五年

百五十五

(9) poled up
thunder shower
right and left

積上ケン
雷雨
左右ニ

(1) carrying on
large amount
Before long
a certain time
(2) came near

實行スル
多量
間モナク
一定期
近ヨリタル

●加那陀ノ侵襲

●千七百七十五年

百五十六

縛リシ彼ノ周圍ニ柴ヲ積上ケ而シテ火ニ於テ彼等ヲ置キシ。雷雨ガ
火焰ヲ消セシ。再ビ彼等ガ堆ニ火付シ。望ガプトナムノ胸ニ於テ絶ヘ
タリシ其時佛ノ士官ガ森ヲ通シテ突出テ蠻民ヲ左右ニ投ケ燃ユル
處ノ薪ヲ撤シ而シテ俘囚ヲ救助セシ

(10) 革命ノ少シ前ニゲーシ將軍ハプトナムノ眼前ニ於テ五千ノ英ノ精
兵ガ亞米利加ノ一端ヨリ他ノ(端ニ)マデ害セラレズニ進軍シ能ヒシ
ヲノ説ヲ陳述セシ。プトナムガ答ヘシ「若モ彼等ハ適切ニ彼等自身ヲ
行ヒ而シテ彼等ガ欲セシ所ノ者ニ向テ拂ヒシナラバ、左様ニ彼等ハ得
ン。然レモ彼等ガ敵トシテ其レヲ企ツルデアランニハ 敵トナリテ進行スル
者ナランニハノ欲 米
ノ婦人ハ彼等ノ杓子ヲ以テ頭ニ於テ彼等ヲ擲打スルデアラウ」ト

第三十一章

加那陀ノ侵襲

波士頓ノ攻圍

(1) エザン、アレンガモントリールヲ取ルヲ過リタリシ。此レガ加那陀

ノ侵入ヲ實行スルヲヨリ議會ヲ妨ゲナサトリシ。彼等ハ加那陀人が
革命ニ於テ與ミスルデアラウヲ望ミシ。其他彼等ハクエベックニ於テ蓄ヘ
テレタル糧食ノ多量ヲ獲ルヲ欲セシ。モントゴメリー將軍ハ侵入
スル處ノ軍兵ノ首ニ於テ置カレシ。間モナクニツノ緊要ノ陣ナル聖
ジョンズ及ビモントリールガ降服シタリシ。クエベックハ残りシ。然レモ米
ノ兵士ガ一定期ノ間軍籍ニ入リタリシ。此期ガ充テアリシ。彼等ノ
最多ガ歸ルヲニ於テ主張セシ而シテモントゴメリーガ彼ノ兵ノ只
小部ト共ニ殘サレシ

(2) 恰モ此時ニ於テベネディクト、アーノールドガ加那陀ニ於ケル彼ノ國人
ニ結合スル爲ニ米人ノ一隊ヲ導キツ、アリシ。彼等ガ無徑ノ荒野ナ
ルメインノ北部ヲ通貫シテ彼ノ道ヲ進ミツ、アリシ而シテ寒氣、疾
病並ニ飢餓ヨリ死スルヲ近ヨリシ。或ル時機ニ於テ彼等ガ彼ヲノ
收尾ノ牡牛及ビ彼等ノ收尾ノ犬 收尾トハ此畜ヲ殺シタラバ跡ニハ一匹モナク取
リ仕舞ノ遺ニシテ食物欠乏ノ情弊スルニタレリ 食

●加那陀ノ侵襲

●千七百七十五年

百五十七

立處ニ

(4) on the spot

シタリシ而シテ生活スル爲ニ樹根及ビ彼等ノ糜ノ皮ノ靴ノ外何物モ有セザリシ其時彼等ガ好機會ノ供給ノ到達ニ由リ助命サレシ

(3) 此勇敢ナル隊ニ依テ加ハレテモントゴメリーガクエベックニマデ攻圍ヲ布クニ依テ時ヲ失ハザリシ然レモ彼ノ僅少ナル小銃ガ其ノ堅固ナル胸壁ニ於テ一ノ感觸ヲナシ得ザリシ終ニ此場所ヲ暴ラヌノ其レガ決セラレシ攻撃ガモントゴメリー及ビアイノールドニ依テ方々ノ点ニ於テ爲サレシ唯九百ノ勢力ナル人ヲ以テナスノ其レガ無謀ノ企圖デアリシ

(4) 盲ニスル所ノ雪嵐ニモ拘ラズ米人が勇ンテ攻入ニマデ進ミシ然レモ其レガ無効デアリシモントゴメリーガ彼ノ人々ノ首ニ於テ射殺サレシアイノールドハ脚ニ於テ銃丸ニ依テ負傷サレシ米人ノ許多ノ銃砲ガ雪ノタメニ不用ニナサレシ一隊ガ立處ニ降參スルマシ追テレシ餘者ハ強キ英軍ガ近寄リツ、アリシヲ彼等ガ聞キマデ

同時ニ

(5) In the mean time

to take the field

(6) Early in March

戦争スル

三月上旬

攻圍ヲ續ケン然ル時彼等ガ急ギテ退キシ而シテ直チニ全加那陀ガ

再ビ英人ノ手中ニアリシ

(5) 英人ガ波士頓ヲ退去セシ

王及ビ議院ハ彼等ガ推想シタリシ如ク叛逆人ヲ征服スルノ其レガ左様ニ容易クアラザリシヲ見出セシ其故ニ彼等ガ日耳曼ニマデ遣使セシ而シテ彼等ガ呼ハレシニ從ヘバヘッス入ノ多クテ彼等ノタメニ來リ且ツ戦ウ爲ニ備ヒシ同時ニ

議會ガ糧食ヲ集ムルノ及ビ火藥ヲ購ウニ於テ多端デアリシ彼等ハケアムブリッジニ於テ彼ノ命令ノ下ニ集合サレタル軍兵ト波士頓ニ於ケル英人ヲ攻撃スルベク華盛頓ニ逼リシ然レモ軍備ガ乏シクアリシ人々ハ彼等ガ勇胆ニアリシト雖モ練習ヲ要セシ其故ニ華盛頓ハ千七百七十六年ノ春マデ戦争スルノ其レヲ聰明ト考ヘナサ

(6) ドーナスタール、ハイツガ波士頓ノ市府及ビ港ヲ臨下セシ三月上旬華

●波士頓ノ攻圍

●千七百七十五年

築ク
起ルシ

(6) throw up
set in

盛頓將軍が其處ニ城壘ヲ築クタメニ夜ニ依テ人ノ一隊ヲ遣リシ。其
 レが難キ事業デアリシ何トナレバ地が凍ツテアリシ故ニ。然レ米
 人ハ勉勵シテ彼等ノ鶴嘴鋤ヲ烈シク使用セシ而シテ朝ニ依テ土ノ
 堅キ胸壁ヲ建タリシ。英將ハナサレタリシ處ノ者ヲ見シ時ニ彼レハ
 敵ヲ追ウメシ決定セシ。然レハ暴風ガ起リシ而シテ其レガ止ミシ前
 ニ米人ハ彼ガ企テナスベク恐レテアリシ程左様ニ彼等自身ヲ堅
 マタリシ

(7) ドーチエスター、ハイツニ於ケル大礮ハ波士頓ノ全部ヲ打拂ヒシ故ニ
 英軍が市府ヲ去リ即チ退去セシバナラナシ。彼等が愛國者ノ大ナ
 ル喜悅ニマデ彼レノ船ニ於テ航シ去リシ。攻圍ノ間府中ニ殘リタリ
 シ處ノ其等ノ人が多シ惱苦シダリシ。兵士ニ依テ賤シマレ且ツ虐待
 サル、^トノ他彼等ガ辛ウツテ食ウベキ食料又ハ彼等ヲ温暖ニ保ツ
 ベキ薪ヲ得能ヒシ。最初ニ北ニ航行スル^トノ後英將ハ新約克ヲ攻圍

及バサリシ
投達セシ

(1) did not have to
come up

スル^トノ目的ヲ以テステイツノ島ニ於テ彼ノ人々ヲ上陸サセシ。華盛
 頓ハ既ニ市府ニ達シタリシ而シテ其レノ防備ニ向ツテ準備セシ

第三十二章

チャールレストンノ攻撃 獨立ノ布告

(1) 英人ガチャールレストンヲ拒却セシ 千七百七十六年六月ニ於テ
 南ケアロリナノ人民ハ英軍ガ船中ニ大ナル軍隊ヲ以テ將ニチャールレスト
 ンヲ攻撃セントシテアリシ^トヲ聞シ。彼等ガ速カニ蒲葵樹及ビ土ノ
 堡砦ヲ築キシ而シテモールトリ大佐ノ下ニ勇敢ナル人々ト其レ
 チ備リシ。彼等ガ敵ニ向ツテ久シク待ツニ及バザリシ。一ノ英船ガ他
 者ニ接シテ投達セシ而シテ直ニ猛烈ナル砲撃ガ砦ノ上ニ開カレシ。
 然レハ其レガ僅少ノ害ヲナセシ。蒲葵材ハ柔軟ニアル而シテ砲丸ハ
 其レヲ割リ又ハ裂ク^トノ代リニ何タル傷害ヲモナス^トナシニ其レ
 ニ埋入セシ

●英軍チャールレストンヲ攻圍ス ●千七百七十六年

- (4) drew near
(5) wait for

近ヨリシ
待チタリシ

- (2) having kept up
(8) In the midst
carried away

續ケテ
最中ニ
飛散リシ

●英軍チャールストンヲ攻メス●千七百七十六年

百六十二

(2) 然レハ堡砦ヨリノ砲發ヲ以テハ其レガ左様ニアラザリシ。是レガ英船ニ於テ恐ロシキ成遂ヲナセシ。或ル時ニ於テ水師提督ノ船ノ過甲板ガ水師提督彼自身ノ外各々ノ人ヨリ掃ハレシ。船中ノ軍兵ハ上陸セシ而シテ堡砦ニ達スルベクカメシ然レハ逐返サレシ。終ニ何タル成功モナシニ九時間攻撃ヲ續ケテ英人が退クベク強ヒラレシ。彼等ガ戰ニ於テ多ク惱ミシ。米人ハ唯僅カ惱ミシ。

(3) 戰爭ノ最中ニ於テ英ノ砲丸ガ堡砦ノ旗竿ヲ折リシ。旗ガ飛ビ散リシ而シテ海遊ニ於ケル堡砦ノ前面ニ於テ墮ナシ。其時勇敢ナル精神ガ其ノ勇力ヲ現ハセシ。軍曹、シマスパーハ英船ヨリ雨降りシ處ノ砲丸ノ中ニ壘ヲ跳ビ越エ海遊ヲ沿ウテ走り而シテ旗ヲ保護セシ。其時大砲ノ筒箒ニマデ其レヲ緊結シテ彼ガ再ビ彼ノ味方ノ喝采ノ中ニ堡砦ノ上ニ其レヲ立テシ。戰爭ノ後太守ラトレッヂハ此豪勇ナル所業ニ向ツテ彼躬ヲノ劔ヲ彼ニ贈リシ。

(4) シマスパーハ其後米軍ニマデ大ナル勸務者デアリシ。彼ガ間諜者トナリテ働キシ而シテ英人ニ就テノ報告ヲ彼等ニ携來リシ。彼ガ一度一人ノ味方ト探偵シツ、アリシ其時ニ彼ガサヴァンナーニマデ若干ノ俘囚ヲ送ル處ノ十人ノ英兵ノ隊ヲ見シ。俘囚ガ縊殺サル、ベクアリシ。其レガ云ハレシ而シテマスパーガ彼等ヲ救助スルベク決セシ。或ル時ノ間二人ノ米人が救ヲ企ル。何タル機會ヲモ見ル。ナシニ隊ノ跡ニ續キシ。終ニ彼等ガサヴァンナーニ近寄リシ。市府ヨリ二哩ニ有名ナル泉ガアリシ。而シテ此處デ英人ハ彼ノ俘虜ト共ニ飲料ニ向ツテ留リシ。

(5) 隊ノ二人ガ守衛ニ於テ殘サレシ。然ルニ自餘ハ彼等ノ銃砲ヲ傍ニ置キシ而シテ泉ニマデ降り往キシ。此ガマスパー及ビ彼ノ味方ガ族ヲクリシ時デアリシ。勸ニ於ケル兵士ヲ打斃シ且ツ彼等ノ先太棒ニ代ヘタル小銃ヲ以テ多クノ他者ヲ越テ打チツ、彼等ガ英人ノ裝藥ヲ

●シマスパー軍曹ノ勇行

●千七百七十六年

百六十三

●シアスパー軍曹ノ勇行 ●千七百七十六年 百六十四
レタル鉄砲ノ所有ヲ得シ。終者英人^{英人}チカ二人ノ勇マシキ敵ニマデ從ハ
サルヲ得ザリシ。救ハレタル米人ハ其時解カレ而シテ彼等ノ備兵ノ
小銃ヲ以テ甲ハレシ而シテ^{シヤスパー}及ビ彼ノ人々ガ彼等ノ虜ト共
ニ勝利ニ於テ進ミ去リシ

(6) 七月ノ四日ハ常ニ合衆國ニ於ケル大祭日トシテ祝ハル。汝ハ何故
ニ其レガ祝ハルカ知リナスカ。何トナレバ千七百七十六年七
月ノ四日ニ於テ大陸會議ガ獨立ノ布告ヲ採用セシ故ナリ。此時ニ至
ルマデ彼等ハ王及ビ議院ガ彼等ノ不正ナル請求ヲ放棄スルデアラ
ウイテ望ミタリシ。其ノ場合ニ於テハ彼等ガ彼等ノ武器ヲ投棄テ而
シテ大英國ノ臣民ト殘ツタデアラウ。然レモ今ヤチャーロットノ勇敢ナ
ル人民ニ依テ定メラレタル例ニ從ウテ彼等ガ王ハ最早彼等ノ上ニ
管領シテハナラヌト云ヒシ。彼等ガ大胆ニモ彼等ノ獨立ヲ布告シタ
而シテ其ノ支持ノタメニハ彼ノ生命ヲ供セシ。此後十三ノ殖民地ガ

「亞米利加ノ十三ノ合衆國」ト稱セラレシ

(7) 會議ガ布告ヲ討議シテアリシ時ニ費拉特費亞ノ市街ハ其レガ如何
ニナスデアラウカサ知ルベク憂慮シタル群集ヲ以テ充滿シテアリ
シ。老タル鳴鐘者ハ議案ガ議決シタリシノ合圖トシテ府廳ノ鐘ヲ
鳴ラセシ時ニ彼等ノ喜悅ガ際限ヲ知ラザリシ。祝火ガ点火サレシ而
シテ家々ガ輝テアリシ。新約克ニ於テ人民ガ王ノ大ナル鉛ノ像ヲ引
倒シ而シテ彼ノ兵士ニ對シテ砲撃スルベキ砲丸ニマデ其レヲ鑄ル
トニ依テ彼等ノ喜悅ヲ現セシ。波士頓ニ於テハ布告ガ數千人ノ喝采
ノ中ニ公會所ニ於テ讀マレシ。前ノ頁ニ於テ建物其レニ於テ議會ガ
會シ而シテ獨立ノ布告ガ調印サレシ處ノ建物ナル。費拉特費亞ニ於
ケル「インデペンデント、ハウル」ノ圖ガアル。汝ハ亦新約克ニ於テノ舊
キ市廳及ビ波士頓ニ於テ布告ニ向ツテ喝采スル人民ヲ見得ル

第三十三章

●獨立ノ布告

●千七百七十六年

- (4) in favor 爲ニ
- (5) receive.....back 恢復シ

- (1) Among the rest 中ニ就テ
- to keep.....in check 退防スル
- get behind 押ユル
- (2) advanced detachments 先鋒

● ロング、アイランドノ戰

(1) 千七百七十六年ノ夏ニ於テ新約克ガ戦争ノ中心トナリシ。ハウ將軍ガ今英ノ司令官デアリシ。波士頓ヨリ逐出サレタリシ處ノ人々ノ他彼レガ恰度歐洲ヨリノ多クノ新シキ軍兵ヲ有テシ。中ニ就テ「ヘッズ」人ノ大數ガアリシ。此等ヲ以テ彼カロング、アイランドノ道ニ依テ新約克ニ進行セシ。米人ハブルックリンノ市府ガ今在ル所ノ新約克ニ對シタル島ノ西端ニ於テ堡砦ヲ築キタリシ。九千人ガ英人ヲ防遏スル爲ニ派遣サレシ。

(2) ロング、アイランドノ戰 英軍ガ三岐ニ於テ進ミシ。此等ノ一ガ丘陵ノ上ニ巡回ナシテ米人ニ依テ送り出サレタリシ處ノ先鋒ヲ押ヘルヲ司リシ。愛國者ハ勉メテ前面ニ於ケル敵ト戦ウデアリシ時ニ彼等ハ彼等ノ背部ニ於テ砲發ヲ聞クベク惶カサレシ。彼等ハ直チニ彼等ガ取圍マレテアリシヲ見シ。僅少ガ英人ヲ通シテ彼等ノ道ヲ爭

ヒシ而シテ米人ノ隊線ニ達セシ。多クガ斃レシ。尙大ナル數ガ虜ニナサレシ。ハウハ堡ノ僅カノ距離ノ中ニ進軍シ然レモ彼等ヲ攻撃スルヲチ爲サズシテ達スルベク彼ノ艦隊ヲ待チシ

(3) 戦争ノ間ニ華盛頓ガ新約克ヨリ渡リシ。彼ハ彼等ヲ救ウベキ力ナシニ斃ル、處ノ彼ノ最良ノ兵ヲ見シ。彼ガ好キ時ノ退軍ニ依テ殘リシ處ノ其等ヲ救助スルヲ唯々望ミ得シ。戦争ノ後第三ノ夜ニ於テハウガ尙彼ノ艦隊ヲ待チテアリシ時ニ全米軍ハ船中ニ乘入り而シテ彼等ノ輜重及ビ兵糧ト共ニ新約克ニ送ラレシ。強キ霧ガ彼等ノ運動ヲ蔽ヒシ、小舟ガ包マレタル機ヲ以テ漕ガレシ、而シテ英人ハ米人ガ彼等ノ達シヲ越テアリシマデ行ハレテアリシ處ノ者ニ付テ一ノ考ヲ有タザリシ

(4) 河ニ近ク住ム所ノ婦人ガ乗舟スル米人ヲ見シ而シテ英人ニ報告スル爲ニ黒人ヲ遣リシ。幸ニ彼ハ彼ガ云ヒシ處ノ者ヲ了會シ得ヌ處ノ

- (2) in stead of ナサズシテ
- (3) embarked in boats 船中ニ乗入り

「ヘッス」入ノ手ニマデ落ナシ。其レガ此ニ向ツテアラナシナラバ全軍ハ捕ヘレタナラン。ロング、アイランドノ戦ガ米人ノ味方ニマデ最モ不利デアリシ。數多ガ軍隊ヨリ脱走セシ、而シテ以前ニ何レノ方ニ與ニスルベクカ、疑ニ於テアリシ處ノ數多ガ今王ノ爲ニ決セシ(5) 最初ニ市府ニ近寄ルコトニ於テハウガ米人ヲ撫慰スルコトノ目的ニ向ツテ華盛頓ニマデ書簡ヲ遣リタリシ。華盛頓ハ其レヲ落手スルベク拒ミシ何トナレバハウガ米軍ノ司令官トシテ彼レヲ知ラヌデアラウ故ニ。ロング、アイランドノ戦ノ後ハウガ第二ノ企テナセシ。會議ノ議員ガ彼レニ會セシ。彼等ハ彼ガ彼等ノ獨立ヲ認許スルベキ一ノ權力ヲ有セザリシ然レモ唯マ許容ヲ彼等ニ與ヘ而シテ大英國ノ臣民トシテ彼等ヲ恢復シ得シト見出セシ。彼等ハ一ノ許容ヲ願ハザリシ、而シテ決シテ大英國ノ臣民ガアルベク決意シテアラザリシ。其故ニ何モ成就セザリシ

(6) 華盛頓ノ生命ニ於ケル始計

新約克ノ人民ノ若干ハ革命ニマデ

反對シテアリシ彼等ガ王權黨ト稱セラレシ然ルニ其レヲ賛成セシ處ノ其等ハ民權黨トシテ知ラレシ。此時頃華盛頓ガ新約克ニ於テアリシ間ニ多クノ王權黨ガ彼ヲ毒殺スルベキ企テナセシ。彼等ハ彼ノ午餐ノ爲ニ備ヘラレタル豌豆ノ一皿ニ於テ或ル礮石ヲ入レルベク彼ノ衛兵ノ一人ニ賂ヒセシ。此企ハ其レヲ立聽シタリシ處ノ若キ女兒ヲ經テ華盛頓ニマデ洩ラサレシ

(7) 罪アル徒輩ヲ見出スル爲ニ華盛頓ハ僕ノ如ク假扮シタル眞實ノ兵士ヲ有セシ而シテ豌豆ヲ備ルベク厨房ニマデ彼ヲ遣リシ。彼ハ彼ガ入口ニマデ氣遣ウテ來リ而シテ中ヲ眺ムル彼レノ徒黨ノ一人ヲ見シ前其處ニ久シクアラナシ。直チニ彼ガ入來リシ而シテ恰モ此行ニ於テ震慄スルカ、如ク躊躇シテ鉢其ノ中ニ豌豆ガ調理シテアリシ處ハ鉢ノ中ニ粉藥ヲ洒ギ入レシ。華盛頓ガ直チニ此レニ付テ奮

(9) slow-match

緩火繩

- (7) ordered in
- (8) on the spot
- (9) sloop-of-war

呼ビ
立所ニ
軍艦

●華盛頓暗殺ノ醜計

●千七百七十六年

百七十

ケラレシ。午餐ニ於テ彼ガ彼ノ士官ノ中ニ彼躬ヲ坐シタリシ時ニ彼ハ瞬時ノ間待ツベク彼等ニ請ヒシ而シテ彼ノ衛兵ヲ呼ビシ

(8) 罪アル人ニ於テ彼ノ眼ヲ極メテ彼ガ彼ノ皿ニ於ケル豌豆ノ一杯ヲ置キシ而シテ「余ハ此等ノ者ヲ食スルデアラウカ」ト彼ニ尋ネシ「私ハ知リナサヌ」ト死スル如ク青白クナリテ此人ガ訥言セシ。華盛頓ハ彼ノ小刀ノ上ニ若干ヲ取リシ而シテ再ビ「余ハ此等ノ者ヲ食スルデアラウカ」ト問ヒシ。此人ガ一語モ云ヒ得ザリシ然レモ恰モ其レヲ止ムルカハ如ク、彼手ヲ揚ゲシ。雌雞ガ携ヘ込マレシ而シテ豌豆ノ若干ヲ以テ食ハサレシ、其レガ立所ニ死セシ。此レハ彼等ガ毒殺セラレタリシヲ確證セシ。此人ガ室ヨリ氣絶シテ連去ラレシ而シテ華盛頓ハ殺ハレシ

(9) 此同年ニ英ノ軍艦ガマーサス、ヴァインヤードト稱セラレタル島ニ入リシ。其レハ桅材ノ缺乏ニ於テアリシ而シテ其處ニ用ニ供スルデアラウ處ノ材木ノ無二ノ棒ハ愛國者ニ依テ建ラレタル自由ノ木デア

リシ。此ノ木ヲ船將ハ彼ガ有セヌバナラヌト云ヒシ、然レモ未ダ十六才ノ齡ナラザル勇敢ナル女兒ハ彼ハ其レヲ有シテハナラヌト云ヒシ。其レガ伐倒サル、メクアリシ前夜彼等ガ暗夜ノ中ニ往キ樹木ニ於テ多クノ孔ヲ鑿テ而シテ火薬ヲ以テ彼等ヲ充セシ。其時緩火繩ニ点火シテ彼等ガ片々ニマデ木ヲ消失セシ。其故ニ陛下ノ軍艦ハ桅材ナシニ往カヌバナラナシトナシ

第三十四章

華盛頓ノ退軍

トレントン

プリンスストン

(1) 新約克ヨリ華盛頓ノ退軍 余輩ハ新約克ニ於テ華盛頓ヲ遣セシ。彼ノ軍兵ガロングアイランドニ於テノ敗績ニ依テ勇氣ヲ失ウテアリシ。人々ノ四分一ガ疾病デアリシ。彼ハロングアイランドヲ渡リ而シテ市府ヲ攻撃スルベク準備シテアリシ所ノ英人ヲ逐却クルベク望ミ能ハザリシ。彼ニ殘サレタル一ノ行爲ハ退軍スルデアリシ而

●華盛頓ノ退軍

●千七百七十六年

百七十一

(4) large body

大軍隊

- (1) drew off
- took possession of
- (2) took place
- best men

引退ゲシ
 占領セシ
 起リシ
 良民

●華盛頓ノ退軍

●千七百七十六年

百七十二

シテ其故ニ彼ハ北ニマデ彼ノ人々ヲ引擧ゲシ。英人ハ直ニ市府ヲ占領セシ。彼等ハ此戦争ノ終マデ此ヲ保テシ。ハウガ彼ノ軍隊ノ多クヲ以テ華盛頓ノ追撃ニ於テ續キシ

- (2) 華盛頓ハ辛ウヨテ戦ヲ試ムルベク十分強ク感ゼシ。彼ハ彼ノ敵ガ進ミシダケ退キシ然レハ數々ノ小戦ガ起リシ程左様ニ徐々ニ退キシ。終ニ戦ガ各ノ隊ニマデ何タル明カナル勝利ナシニホワイト平原ニ於テ戦ハレシ。此後華盛頓ハ華盛頓堡ニ於ケル彼ノ良民ノ殆ソド三千人ヲ殘シツ、新ジャージーニマデホドソソ河ヲ渡リテ彼ノ軍隊ヲ取リシ。英人ハ此ノ所ニ於テ勇マシキ攻撃ヲナセシ而シテ守衛兵ガ降ラザルヲ得ザリシ。華盛頓ハ河ノ他ノ側ヨリ彼ハ英人ノ銃鎗ノ下ニ斃レル處ノ彼ノ人々ヲ見シ時ニ涕泣シタメク云ハル、
- (3) 華盛頓堡及ヒ其ノ守兵ノ損失ハ愛國者ガ是迄請取リタリシ最モ酷シキ攻撃デアリシ。ローヤルコリンウオリスガ直チニ今多ク勢ニ於テ減

(4) シタル米軍ノ追撃ニ於テ出發セシ。冷レニ此小隊ガニュージャージーヲ横過シテ退キシ。彼等ノ數多ガ粗服ニテ且ツ跣足ニテ凍リタル地上ニ彼ノ血ノ染ミタル足痕ヲ殘セシ。英兵ハ烈シク追撃ニ於テ迫リシ。然レハ華盛頓ハデラウアー河ニ達シ數里ノ間總テノ小舟ヲ備ヒシ而シテ彼レノ難澁スル人々ヲ以テペンシルヴァニアニ越ヘ往キシ。デラウアー河ヲ渡ルヲ能ハズニコリンウオリスハ其レガ凍氷シテアルデアラウマデ族ツベク決セシ。彼ノ軍隊ヲ別チテ彼ハトレントンブリ

ンストン及ヒ他ノ場所ニ於テ分隊ヲ配置セシ
 トレントンニ於テ華盛頓ノ勝利。華盛頓ハ今彼ガ彼ノ人々ヲ屬
 マヌタメニ或ル事ヲナサヌハナラヌヲ見シ。彼ハデラウアー河ヲ渡
 リ而シテトレントンニ於テ屯駐スルヘツス入ノ大軍隊ヲ襲ウニ決
 セシ。耶蘇降誕祭日ノ夜ハ彼等ガ恐ラク酒宴シ而シテ彼ノ衛戍ヲ怠
 リテアルデアラウ時ノ秋トシテ此企ニ向ツテ撰ハレシ。夜ハ暗ク且

●千七百七十六年

●千七百七十六年

百七十三

- (6) here and there
 (7) gave way

此處彼處ニ
 退キシ

モアラザリシヲ感ゼシ而シテ彼ヲ去ルベシ決セシ。敵ヲ欺クダメニ燃
 ヘル處ノ彼ノ火ヲ殘シ而シテ、此處彼處ニ番兵ヲ置キテ彼ハ靜ニ夜
 中彼ノ人々ヲ引揚ケシ而シテ其處ニ配置サレタル英人ヲ驚カス爲
 ニプリンストンニマデ進ミシ。コーンウォリスガ翌朝目覺シ時ニ彼ガ
 一ノ敵ヲ見ザリシ。彼ハ兵法ニ勝ツテアツタリシ
 (7) 華盛頓ハプリンストンニ於ケル英人ヲ襲ヒナサトリシ何トナレバ
 彼ハコーンウォリスニ連絡スル爲ニ既ニ出陣ニ於テノ彼等ニ會合セ
 シ故ニ。戦争ガ始マリシ。最初ニ米人が銃鎗ヲ持タズニ退キシ。然レモ
 華盛頓ハ進ム處ノ英軍ノ前ニ彼躬ヲ置キシ而シテ彼ノ人々ガ彼
 等ノ信シタル大將ヲ救ウダメニ再ビ集リシ。英人が退ケラレシ。華盛
 頓ハ他ノ勝利ヲ得タリシ。彼ハ彼等ガ食物及ビ睡眠ノ欲乏ニ由テ疲
 勞シテアリシト雖モリスタウンニマデ彼ノ人々ヲ導キシ而シテ
 其處ニ彼ノ冬陣ヲ定メシ

- (4) threw down
 (6) was near at hand
 both parties
 rested on

投棄セシ
 逼リテ
 兩軍
 息メシ

●プリンストン之戰
 ●千七百七十六年
 百七十四
 ツ嚴シク寒クアリシ。デラウェア河ガ氷ニ付テ充テアリシ。然レモ米人
 ノ部分ガ渡リ得ルニ於テ成功セシ。彼等ハ直ニ彼等ノ武器ヲ投棄
 セシ所ノ「ヘッス」ハ充分ニ驚セシ
 (5) 華盛頓ハ敗テトレントンニ於テ止リナサトリシ何トナレバ周
 陣ヨリノ英兵ガ直チニ彼ノ上ニアルデアラウチ知リシ故ニ。其故ニ
 彼ハ直チニ彼ノ虜ヲ以テペンシルヴァニアニマデ渡シ返リシ。此名譽
 アル勝利ヲ得ルニ依テ彼ガ唯四人ヲ失ヒシ其ノ二人ハ死スルベ
 ク凍ラサレシ。革命ガ殆ント終ニ於テアリシト想ヒシ所ノ英人ハ今
 彼等ガ過リテアリシヲ見出セシ
 (6) プリンストンノ戰 此勝利ノ後數日ニ華盛頓ハ再ビトレントン
 ニマデアラウアー河ヲ涉リシ。コーンウォリスガ戦争ニ向ツテ切望シテ直
 ニ彼ノ現出ヲナセシ。夜ハ逼リテアリシ而シテ或ル小戰ノ後、兩軍ガ
 彼等ノ兵器ヲ息メシ。華盛頓ハ彼ガコーンウォリスニ向ツテ一ノ敵對

- (0) went out 出往キシ
no doubt 果シテ
(1) war-feast 饗應
broke down 毀タレ

- (8) broke out 越リシ
in the course 間ニ
(9) fall upon 攻ムル

(8) 華盛頓ノ人々ガ千七百七十七年ノ冬ノ間寒氣及ビ疾病ヨリモリス
ヌウノコ於テ多ク苦ミシ。痘瘡ガ彼ヲノ中ニ起リシ而シテ數多ガ死
セシ。此地ノ人民ハ眞ノ愛國者ヲアリシ而シテ苦ム所ノ兵士ヲ救ウ
ベク彼等ガ能ヒシ總テチナセシ彼等ハ我々ノ國ノ名ニ戰ウ處ノ
其等ニ向ツテ餘リ善クアラヌト云ウテ彼等ガ有テシ最良ナル者ヲ彼
等ニ與ヘシ。華盛頓ハ冬ノ間ニ多クノ遠征ヲ遣出セシ而シテ殆ソト
ニコ、シア、シーノ全部ヲ回復セシ

(9) コーンウォリスノ軍隊ガ華盛頓ノヨリハ多ク尙大クアリシ。其レハ
若モ彼ガ此ヲ知リシナラハ彼ガモリスタウンヲ攻ムルデアラウチ
懼レテアリシ。其故ニ米人ガ彼レヲ欺クベキ計略ニマデ依頼シタリ
シ其處ニ彼等ガ英人ノ間者デアアルトニ就テ疑ヒシ處ノ人が陣中ニ
アリシ。モリスタウンニ於ケル人及ビ軍備ヨリ實ニ彼等ガアリシ
リ多ク尙好ク左様ニ米軍ヲ現ハス所ノ偽リノ書付ガ作ラレシ。恰モ

偶然ニ依テカハ、如ク士官ガ机其ノ側ニ疑ハレタル間者ガ坐リテア
リシ處ハ机ノ上ニ書附ヲ殘セシ而シテ數瞬間出往キシ。彼ノ歸ニ於
テ書附並ビニ間者ガ失ハレテアリシ。彼等ガ果シテコンウォリスニ
マデ彼等ノ道ヲ見出セシ而シテ米軍ノ強キトシテ彼レヲ欺キシ

第三十五章

ブルゴーンノ出陣

(1) ブルゴーンニ依ツテ新約克ノ侵襲 千七百七十七年ニ於テ他ノ
有力ナル英軍ガブルゴーン將軍ノ指揮ノ下ニ戰場ヲ取リシ。加那陀
ヨリ出立シテブルゴーンガ新約克ノ州ヲ侵襲セシ。チャムプレイン湖
ノ堤ニ於テ彼ハ印度人ノ群ニマデ大ナル饗應ヲ與ヘシ其ノ數多ガ
彼ノ軍兵ニ與ミセシ。チコンデロガ及ビエドワード堡ハ引續ニ於テ
捕ラレシ。是等ノ陣ヲ成リタリシ處ノ米人ハブルゴーンガ進ミシダ
ケ退キシ。彼ノ進行ヲ支ヘルタメニ橋梁ガ毀タレ且道路ガ破壊サレシ

(2) 北方ノ米軍ハスキラー將軍ニ依テ指揮サレシ。一夜將軍ガ彼自身ノ家ニ於テ寢所ニマデ往クベク準備シテアリシキニ室ニ入來ル所ノ下婢ガ入口ノ後ロニ隠レタル影ノ閃光ヲ拘ヘシ。其ニ注意セヌ可ク詐リテ彼女ハ彼女ガ見タ處ノ者ヲ微聲ニテ彼女ノ主人ニ告ルベク計ヒシ。驚カ起サレシ。人ガ遁レシ然レハ衛兵ニ依テ追付カレシ。其レハ將軍ヲ殺スベク入口ノ後ロニ彼自身ヲ匿シタリシ處ノ印度人デアリシ

(3) 加那陀ヲ去ルノ前ニブルゴーンガ新約克ノ西部ヲ蹂躪スル爲ニ大ナル分隊ヲ遣リタリシ。此ノ軍勢ガスタンウツス堡ニ於テ勇猛ナル抵抗ニ出逢ヒシ。米ノ將軍ヘルキマーガ此堡ヲ救援スルタメニ若干ノ農兵ト共ニ進ミシ。彼ハ伏兵ニマデ陥リシ而シテ戰爭ニ於テ早ク脛ニ於テ負傷ヲ受ケシ。小丘ノ上ニ坐シテ彼レガ彼ノ命令ヲ與ウルベク續ケシ。敵ノ砲丸ガ彼ノ周圍ニ墮テツ、アリシ時ニ彼ハ靜

カニ彼ノ衣囊ヨリ彼ノ煙管ヲ取出シ其ニ火附ケ而シテ彼ハ彼ノ人々ノ運動ヲ令セシ間ニ喫煙スルヲ始メシ。彼等カ勇マシク戰ヒシ然レハ全ク敗レシ

(4) 堡ガ尙支ヘシ而シテスキラーノ軍隊ヨリノ分隊ヲ以テアーノールドガ其ヲ救ウベク企テシ。英軍ヨリ些カノ距離ノ時ニアアーノールドガ米軍ノ大軍隊ガ彼等ノ陣營ノ二三時ノ進軍ノ内ニアリシヲノ報告ヲ彼等ノ中ニ擴ゲルメシ圖リシ。驚愕ガ彼等ヲ取リシ而シテ常備兵王權黨及ビ印度人が直チニ十分ナル逃走ニ於テアリシ。天幕輜重、兵糧及ビ大砲ガ跡ニ殘サレシ。圍繞スル所ノ軍兵ガ敗ラレシ而シテ堡ガ救ハレシ

(5) 第二ノ分隊ガ其處ニ時ヘラレタル兵糧ヲ奪ウタメニヴァーモント州ノベンコングトンニマデブルゴーンニ依テ遣ラレシ。スターク將軍ハ驟カニ集メラレタル若干ノ勇猛ナル農

兵ヲ以テ彼等ニ會合セシ。彼ハ戰ノ爲ニ備ウル處ノ英兵ヲ見シ。其ニ
 ステークハ斯ノ如ク彼ノ軍隊ニ演説セシ。見ヨ人々ヨ。其處ニ紅衣兵
 ナ云ガアル。余輩ハ今日彼等ヲ破ラネバナラヌ否ラザレバモ一リ
 ステークノ寡婦ヲヨト。而シテ彼等ハ紅衣兵ヲ破リナセシ。英人ノ六
 百人ガ虜ニ捕ラレシ

(6) ステークノ人々ノ中ニ戰ウヲ欲セシ所ノ然レハ彼レハ降ルベク
 敵ヲ誘導シタリシマデ左様ニナスヲ付テ良心ノ憂ヲ持テシ處ノ
 法教師ガアリシ。其故ニ戰ノ前彼等ノ陣營ニ近寄リテ彼ハ彼ヲニ説
 教ヲ始メシ而シテ投降スルベク彼等ヲ促スヲ始メシ。鉄砲ノ連發
 ガ此答デアリシ。今余ニ鉄砲ヲ與ヘヨト彼ニ隨ウヨリシ處ノ味方ニ
 マデ法教師ガ云ヒシ。彼ガ戰ニ於テ彼ノ銃ヲ使用セシ方法ハ彼ガ彼
 ノ良心ノ憂ニ全ク打勝チタリシヲ現セシ

(7) プルゴーンハ此等ノ二遠征ニ於ク多ク屬シテアリシ。彼等ノ失錯ハ
 嚴シキ攻撃デアリシ。印度人ハ怖ラサレテナリシ而シテ退キシ。王權
 黨ガ彼レニ與ニスルヲ恐レテアリシ。兵糧ガ乏シクナリシ。米人ガ
 注意シテ彼等ノ家畜及ビ彼ノ軍勢ニマテ要用ノモノデアラデアラ
 ウ所ノ各物ヲ移セシ。彼女ノ夫ノ命令ニ依テスキーター夫人ハ敵ノ
 手ニマデ彼等ノ陷ルヲ防グタメニ彼女自身ノ穀物畑ニ放火セシ
 其時ニ新約克及ビ新英倫ノ農民ガ米陣ニ湧出シテアリシ

(8) 大ニオウオノ戦 恰度此時ニ於テ議會ガ不正ニモ北方ノ
 軍隊ノ指揮官ヨリススキーターヲ廢セシ而シテ彼ノ代リニグート將
 軍ヲ任ゼシ。彼ハ此ノ不正ナルヲ依リ深ク害サレテアリシト雖モ
 スキーターハ其ヲ憤リナサトリシ。グートハホドソン河ノ西ノ堤ニ
 於テ止リ所ヲ作ルベク決セシ而シテ其處ニ築キ築キシ。ブルゴーン
 ハ戰ヲ與ヘルヲナシニハ尙遠ク往去リ能ハザリシ。是ヲ彼ガナスベ
 ク決セシ。千七百七十七年九月ノ十九日ニ於テスナルウオーターノ第

(2) set fire pouring into 放火シ 湧出シテ

(6) lay down their arms. 降参スル

一戦が戦ハレシ。此戦が最モ烈シクアリシ而シテ夜マデ續キシ。維令ヒ何レノ隊モ明ナル勝利ヲ得ザリシト雖、トリスランド米人が勝利ヲ得シ

(9) プルゴーンハ今以前ヨリ尙大ク危難ニ於テアリシ。彼ガ新約克ニ於ケル英將ニマデ救援ニ向テ遣使シタリシ然レモ一ノ答ヲ落手セナシ。再ビ彼ガ飢餓シ又ハ戦ハネバナラヌ。彼ハ他ノ戦ニ於テ決心セシ而シテ十月ノ七日ニ於テスチルウォーターノ第二戦が起リシ。此時ハ米人カ全ク勝利デアリシ。彼ノ銃手及ビ汝ガ以前ニ聽イタ處ノアーノールドト共ニモルガンガ英兵ノ烈シキ侵入ヲ却ケシ而シテ彼等ノ地ヨリ彼ヲ逐ヒシ。無益ニブルゴーンガ彼ノ人々ヲ再集スルベク務メシ。米人ハ戰場ノ占領ニ於テ殘サレシ

(10) 夜ガ入りシヤ否ヤブルゴーンハサラトガニ退キシ。彼ハ退軍スルヲ能ウテアルベク望ミシ。然レモ其レガ餘リ遅クアリシ。彼ガ總テノ方ニ於テ圍繞サレテアリシ。クリントン將軍ニマデノ彼ノ使者ガ尙

退キ

(10) fall back

投降シ
行ハレテ
解纜シタリシ

(10) laid down
(1) going on
had put to sea

答ヘナクアリシ。降服スルヲヨリ一ノ他ノ途ガ殘サレザリシ。此中彼ガナセシ。數ニ於テ殆ンド六千人ノ總テノ彼ノ人々ガ彼等ノ兵器ヲ投棄シ而シテサラトガニ於ケル彼等ノ輜重大砲及ビ彈藥ヲ棄テシ。其レガ強壓スルマク來リタリシブルゴーンノ大軍ガ「反逆人」ニマデ歸降シタリシ。ノ喜ハシキ新聞ノ上ニ國ヲ全通シテ如何ナル歡喜ガ其處ニアリシカヨ

第三十六章

ブランダイウアイン ギアーマントン ヴァレレー、フホーシ

(1) 費拉特費亞ニ於テ「ハウ」ノ侵入 此等ノ出來事ガ北ニ於テ行ハレテアリシ間ニ華盛頓ガ停止ニ於テハウ將軍ヲ保ツマクカメツ、アリシ。ニュー、シアーシーニ於テ交戦ニマテ華盛頓ヲ持來スベク能ハズニハシ。ウガ一万八千人ヲ以テ解纜シタリシ。彼レガ費拉特費亞ヨリ殆ンド五十哩ナルエルク河ニ於テ上陸セシ而シテ其ノ市府ノ方ニ進ム

●ブランダイウアイン之戰

●千七百七十七年

百八十三

ヲ始メシ。議會ガ費拉特費亞ニ於テ集議ニ於テアリシ而シテ華盛頓ハ若モ彼ガ能ヒシナラバ市府ヲ救ウベク欲セシ。彼ハ唯服役ニ向ツテ定メラレタル八千人ヲ有セシ然レモ此等ト共ニ彼ガブラインヂイウアインニ於テ英軍ニ會セシ。米人ガ敗績サレシ。議會ガ費拉特費亞ヲ去ラザルヲ得ザリシ。ハウガ揚々トシテ市府ニ進入セシ

(2) ブラインヂイウアインニ於テ勇猛ニ闘ヒシ處ノ其等ノ中ニラー、フェットガアリシ。此ノ若年ノ佛ノ貴族ハ彼ノ本國及ビ朋友ヲ殘シタリシ而シテ自由ノ爲ニ米人ノ戰爭ヲ援クルタメニ渡來セシ。彼ノ親族ハ彼ノ來ルヲ拒ヨシ。然レモラー、フェットハ彼等ノ承諾ナシニ船ヲ買ヒシ而シテ彼躬ヲ如キ二三ノ精神アル人々ト共ニ亞米利加ニ到達スルヲニ於テ成効セシ。議會ガ彼レヲ將官ニナセシ而シテ彼ハ華盛頓ノ腹心ノ朋友トナリシ

(3) 日耳曼頓ニ於テ華盛頓ノ敗績

英人ガ今費拉特費亞ノ中及ビ周

揚々トシテ
渡來セシ

(1) in triumph
(2) come over

携去リシ
降り
拾上ケ

(4) carried off
got down
pick up

國ノ愉快ナル營所ニ於テアリシ。大ナル分隊ガ市府ヨリ六哩ナルセルマントンニ於テ配置サレシ。此軍勢ヲ華盛頓ガ千七百七十七年十月四日ニ襲ウベク試ミシ。最初ニ勝利ガ米人ノ方ニ傾キシ。然レモ人ノ若干ガ指揮ニ從ウヲ過リシ而シテ深キ霧ガ起リシ其レガ再集スベキ機會ヲ英軍ニ與ヘシ。米人ガ著シキ損敗ヲ以テ敗ラレシ。寒キ氣候ガ間モナク始リシ而シテ華盛頓ハ費拉特費亞ヨリ大約二十哩ナルヴァレ、フホーシニ於テ冬陣ニマテ彼ノ人々ヲ導キシ。

(4) 愉快ナル偶然ノ事件ガセルマントンノ戰爭ニ起リシ。米人ノ一分隊ヲ指揮セシ處ノグリーン將軍ガ誓ニ於テ彼ノ背ヲ下リテ彼頭髮ヲ保テシ處ハ少佐ヲ彼ノ傍ニ於テ有テシ。發砲ガ其ノ極点ニ於テアリシ時ニ彈丸ガ少佐ノ髻ヲ携ヘ去リシ。グリーンガ云ヒシ「急ギニ於テアリナスナ少佐ヨ恰度下リ而シテ汝ノ髻ヲ拾ヒ上ケヨ」ト。少佐ガ甚ク靜然ト左襟ニナセシ直クニ他ノ彈丸ガ沿ウテ來リ而シテグリーン

(2) advanced division
main force

先鋒
中軍

(7) set out
(8) get along
any longer

由立セシ
成シ就クベク
此上

●モンマウス之戦

●千七百七十八年

百八十八

學ビ得シ¹ノ爲ニハ彼躬ヲ睡眠スヲモ辭スルデアラウ。出版ノ技術
ヲ學ブ¹ノ後彼ハ彼ノ家ヲ去シ而シテ彼ノ幸運ヲ作ルベク。由立セシ
(8) フランクリンハ彼ノ衣囊ノ中ニ一弗金ヲ以テ費拉特費亞ニ於テ彼
自身ヲ見出セシ。一時ノ間彼ハ成シ遂グベキ困難ナル業ヲ持テシ。然
レモ彼ハ甚ダ節儉ニアリシ。彼ハ粥ニ於テ生活セシ。而シテ旅舎ノ女
主ハ彼ガ拂ヒテアリシ價ニ於テ。此上彼ヲ養育スベク給シ能ハザリ
シト彼レニ告ゲシ時ニ彼ハ彼女ガ尙薄ク粥ヲ作ルベシト彼女ニ語
リシ。フランクリンハ大ナル著述者且ツ理學士トナリシ。彼ノ名ガ歐
羅巴ニ於テ尊崇サレシ。而シテ彼自身ノ國ニ於テ彼ハ眞心ノ愛國者
トシテ恭マハレシ

第三十七章

(1) モンマウス之戦
千七百七十八年ノ春ニ於テハウガ英倫ニ歸リ

モンマウス

ヨーミング

南方ニ於テノ舉動

シ而シテクリントン將軍ガ英軍ノ指揮ヲ取リシ。クリントンハ費拉
特費亞ヲ空虛ニシ而シテ新約克ニマデ彼ノ人々ヲ導クベク命令ヲ
持テシ。此ヲナスタメニ彼ガ新ジャーシーヲ經過セザルヲ得ザリシ。
華盛頓ハ直チニ尾撃ニ於テアリシ。彼ノ軍勢ハクリントンノダケ左
様ニ半分多クアラザリシ。而シテ彼ノ士官ノ最多クハ戦争ヲ果敢ス
ル¹ノ其レハ輕卒デアラウテ考ヘシ。華盛頓ハ否ト答ヘシ。而
シテ新ジャーシーナルモンマウスニ於テ彼ガクリントンニマデ戦争
ヲ與ヘシ

(2) リー將軍ハ先鋒ヲ以テ攻撃ヲ始ムルベクアリシ。中軍ヲ以テ來ル¹
ニ於テ彼ガ殿撃ヲ打ツタ¹ナシニ退ク處ノ此分隊ヲ見出ダセシ。片
ニ華盛頓ノ驚キハ如何ニアリシカヨ。彼ハ直チニ彼等ヲ止メシ。而シ
テ英兵ガ止メラレシ¹程箇様ナル方法ニ於テ彼ノ人々ヲ配リ置キ
シ。戦ハ米兵ニマデ利益ヲ以テ夜マデ續キシ。彼等ハ朝ニ於テ戦ヲ更

●モンマウス之戦

●千七百七十八年

百八十九